

国際ロータリー第 2650 地区

社会奉仕委員会

2017 ～ 2018 年度事業報告集

国際ロータリー第 2650 地区

2017 ～ 2018 年度

社会奉仕委員会

ご 挨拶

ロータリーにおける社会奉仕とは、地域に居住する人々の暮らしや生活の質を高めるために行うさまざまな取り組みであると言われています。

2017-18年度の事業報告集を発行するにあたりあらためて地区内96クラブの事業報告に目を通しますと、会員数や予算が市部と郡部で大きく異なるなかにおいても、それぞれのクラブの創立からの歴史や地域の文化や特性、そこに住む人々との関わりが見えてきます。

しかし地域のニーズが複雑多様化する今日、ロータリーが単独で担える奉仕活動は減少し、自治体や各種団体との共催協賛事業が増加しました。

そのような状況下、地区社会奉仕委員会は社会奉仕事業のヒントになる情報提供の場として年2回の委員長会議を開始しています。地域で活躍されている方の講演と、京都・奈良・福井・滋賀からのユニークで優秀な事業の事例を発表して頂いています。

2010-11年度からの「まちづくり基金」を昨年度に終え、今年度その結果を一覧致しました。取り組まれたクラブのご苦労や達成の喜びが伝わるレベルの高い事業内容でありました。

また、お悩みの多い「事業の継続」については、96クラブの実態をアンケートによりお伺い致しました。調査の結果を公表し、委員長会議でのパネルディスカッションにおいて田中誠二ガバナーより「事業の継続」へのアドバイスを頂くことが出来ました。

会員皆さま方からの 2017-18 年度地区社会奉仕委員会へのご協力とご支援に深く感謝申し上げますと共に 96 クラブの今後のご発展をお祈り申し上げます。

国際ロータリー第 2650 地区

2017-18 年度社会奉仕委員会

委員長	北野加代子（栗東 RC）
副委員長	宮倉 靖幸（五條 RC）
副委員長	竹内 順子（福井フェニックス RC）
委員	岩井 美晴（京都南 RC）
委員	岩崎 新（福井 RC）
委員	影近 義之（京都東 RC）
委員	柿木 博幸（長浜東 RC）
委員	久保 和子（京都洛西 RC）
委員	大島 國裕（奈良 RC）
委員	澤村 富哉（大津東 RC）

目 次

京都府

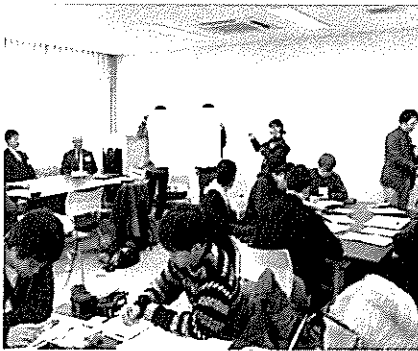
綾部ロータリークラブ	...	宇治ロータリークラブ	...	61	大津西ロータリークラブ	...	111	
福知山ロータリークラブ	...	2	宇治鳳凰ロータリークラブ	...	62	栗東ロータリークラブ	...	112
福知山西南ロータリークラブ	...					高島ロータリークラブ	...	113
亀岡ロータリークラブ	...	3	福井県			野洲ロータリークラブ	...	114
亀岡中央ロータリークラブ	...	4	福井ロータリークラブ	...	65	八日市南ロータリークラブ	...	121
京丹後ロータリークラブ	...	6	福井あじさいロータリークラブ	...	66			
京都ロータリークラブ	...	8	福井フェニックスロータリークラブ	...	67	奈良県		
京都伏見ロータリークラブ	...	9	福井東ロータリークラブ	...	69	あすかロータリークラブ	...	
京都平安ロータリークラブ	...		福井北ロータリークラブ	...	74	五條ロータリークラブ	...	122
京都東ロータリークラブ	...	11	福井南ロータリークラブ	...	75	平城京ロータリークラブ	...	123
京都東山ロータリークラブ	...	12	福井西ロータリークラブ	...	77	生駒ロータリークラブ	...	124
京都北東ロータリークラブ	...		福井水仙ロータリークラブ	...		橿原ロータリークラブ	...	125
京都イブニングロータリークラブ	...	13	勝山ロータリークラブ	...	78	奈良ロータリークラブ	...	127
京都城陽ロータリークラブ	...	14	丸岡ロータリークラブ	...	79	奈良東ロータリークラブ	...	130
京都桂川ロータリークラブ	...	15	三圍ロータリークラブ	...	80	奈良西ロータリークラブ	...	133
京都北ロータリークラブ	...	18	大野ロータリークラブ	...	82	奈良大宮ロータリークラブ	...	136
京都南ロータリークラブ	...	21	鯖江ロータリークラブ	...		桜井ロータリークラブ	...	137
京都モーニングロータリークラブ	...	22	武生ロータリークラブ	...	83	大和郡山ロータリークラブ	...	139
京都紫野ロータリークラブ	...	24	武生府中ロータリークラブ	...	84	やまとまほろばロータリークラブ	...	140
京都中ロータリークラブ	...	25	敦賀ロータリークラブ	...	85	やまと西和ロータリークラブ	...	143
京都西ロータリークラブ	...	26	敦賀西ロータリークラブ	...	86	大和高田ロータリークラブ	...	144
京都乙訓ロータリークラブ	...	27	若狭ロータリークラブ	...	88			
京都洛中ロータリークラブ	...	28				Eクラブ		
京都洛北ロータリークラブ	...	30	滋賀県			日本ロータリーEクラブ2650	...	145
京都洛南ロータリークラブ	...	32	びわ湖八幡ロータリークラブ	...	90			
京都洛西ロータリークラブ	...	35	五箇荘能登川ロータリークラブ	...	92	まちづくり基金のまとめ	...	147
京都洛東ロータリークラブ	...	36	東近江ロータリークラブ	...				
京都嵯峨野ロータリークラブ	...	38	彦根ロータリークラブ	...	95	社会奉仕事業の継続性 についてアンケート結果報告	...	151
京都さくらロータリークラブ	...	39	彦根南ロータリークラブ	...				
京都西北ロータリークラブ	...	40	湖南ロータリークラブ	...	96			
京都西南ロータリークラブ	...	44	草津ロータリークラブ	...	99			
京都紫竹ロータリークラブ	...	45	水口ロータリークラブ	...	100	※報告書は2018年6月8日締切で		
京都朱雀ロータリークラブ	...	46	守山ロータリークラブ	...	101	ご提出頂いたものです。		
京都田辺ロータリークラブ	...	47	長浜ロータリークラブ	...	103			
京都山城ロータリークラブ	...	48	長浜東ロータリークラブ	...	106			
京都八幡ロータリークラブ	...	49	長浜北ロータリークラブ	...				
舞鶴ロータリークラブ	...	50	近江八幡ロータリークラブ	...	107			
舞鶴東ロータリークラブ	...	51	大津ロータリークラブ	...	108			
宮津ロータリークラブ	...	54	大津中央ロータリークラブ	...	109			
園部ロータリークラブ	...	58	大津東ロータリークラブ	...	110			

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 船越 成人

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕・青少年奉仕

事業名	福知山公立大生との新世代のための会議		
実施日	2018年1月11日		
実施場所	福知山公立大学		
協力団体	福知山公立大学 地域経営学部 地域経営学科		
参加人数	会員 18 名 →→ 会員参加率 30.5 % 市民 名 その他 公立大学2年生24名・公立大教員2名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	「なぜ地域のために貢献したいのか? -地元の魅力と福知山の魅力をふまえて-」をテーマに北海道や富山県、宮崎県など14道府県の福知山市外地方都市出身の学生たちが、学生4人と会員3人の全6グループに分かれてフリートーク形式で意見を述べ合った。大学講義時間としての実施なので、進行や記録、意見発表は学生が務めた。 		
事業結果	故郷の話などを交えて自己紹介をし、和やかな雰囲気の中で始まり、学生・会員が地域に貢献する理由、思い等を自由に述べ、対話が進むうちに、福知山の産業や遊ぶ場所の少なさ、就職先、移動手段の不便さなどについての学生の本音を聞くことができた。地方都市で職業を持ち、生きる会員として、いかに若者から見て魅力ある街づくりをすべきかという問題点がわかった。また、学生からは学生目線ではわからない社会人の思っていることを聞くことができ、新鮮であったとの感想や、市外の地方都市で学生生活を送ることによって、住んでいる時には気付かなかった出身地のいいところを発見することができ、卒業し地元に戻ったら、地元社会へ貢献したいという気持ちが更に強まったとの意見もあり、地域貢献について継続的事业として考える良い機会となった。 		
新聞、TV等での報道	京都新聞、地元地方紙の両丹日日新聞に取材記事掲載		
事業予算	0 円		
事業執行額	0 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 松山 茂

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	保津川の自然美化と歴史を学ぼう				
実施日	平成30年 4 月22日 日曜日				
実施場所	亀岡市保津町（保津川河川敷）から嵯峨嵐山				
協力団体	特定非営利活動法人プロジェクト保津川・保津川遊船企業組合				
参加人数	会員	23	名	→→ 会員参加率	71.8 %
	市民	135	名		
	その他	講師	1名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	亀岡には、国の天然記念物「鮎もどき」やコウノトリ等の野鳥が多く飛来する、保津川があります。これら絶滅の危機に有る魚や鳥を、今後も守らなければならない重要性から、子供達や保護者、合計110名(内10名は児童養護施設、青葉学園の子供達)を募集し、ゴミが自然に及ぼす影響、鮎もどき保護の為の活動等について学び、その後、古くより、丹波の豊富で質のよい木材・穀類・薪炭を運び、京都・大阪を支えてきた、「水運」。その流れをそのまま受け継いだ、保津川下りに乗り嵯峨嵐山迄、川下りを体験してもらい、歴史を体感していただきました。				
事業結果	鮎もどき保護の活動を知り、保津川下り(水運)の歴史や重要性を体感していただき、亀岡のまちづくりに貢献できる若い世代の育成「未来の人材育成」の一助となった。				
新聞、TV等での報道	折込チラシ				
事業予算	635,570 円				
事業執行額	862,657 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 :

氏 名 : 山口敦子

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト

事業名	児童養護施設「青葉学園」との交流事業 ボーリング大会・食事会		
実施日	2017年11月12日(日)		
実施場所	亀岡アルプラザボール・菜根香		
協力団体			
参加人数	会員	8 名	→→ 会員参加率 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	社会奉仕を目的として、青葉学園の子供達と職員の方を招待してボーリング大会及び食事会を開催し交流を行いました。ボーリング大会は、会員と青葉学園の方々が5チームに分かれ混合チームを組み、年少の子供達には子供用レーン(柵を設けガーターがないレーン)を設け、皆で楽しめるようなかたちで実施しました。一位から三位までの子供には図書券を商品として渡し、また子供全員におやつ袋を配布しました。		
事業結果	ボーリング大会では、初めてボーリングする子が多く大変盛り上がり、好評を得ました。大人も子供も楽しめる会となり、青葉学園の方々の希望で来年度もボーリング大会を行うことが決まりました。食事会では、青葉学園の職員の方々とも交流する機会を得て、ロータリークラブの活動内容についてご理解頂ける良い機会となりました。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	円		

2017-18年度

亀岡中央

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 :

氏 名 : 山口敦子

担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト

事業名	児童養護施設「青葉学園」との交流事業 節分交流会		
実施日	2018年2月3日(土)		
実施場所	青葉学園		
協力団体	亀岡JC		
参加人数	会員 8 名 →→ 会員参加率 %		
	市民 名		
	その他 16名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	節分交流会は青葉学園の毎年の恒例行事になっており、それに協力参加するかたちで節分会食と豆まき交流会を行いました。(一社)亀岡青年会議所の協力を得て共同事業として実施し、鬼やかめまる(亀岡市観光マスコットの着ぐるみ)に扮した亀岡JCメンバーが中心となり豆まき交流会を盛り上げ、青葉学園の方々やRC会員・JCメンバーら全員で恵方巻きを食べて交流しました。わがクラブよりは、恵方巻きを60本寄付しました。		
事業結果	節分交流会では、子供達と一緒に豆まき行事を行う事で福を呼ぶことが出来るようお願いする、当ロータリー会員にとって大切な恒例行事になっています。亀岡JCの協力も得て、たくさんの方の参加協力を得て盛大な交流事業となりました。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 吉原信夫

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

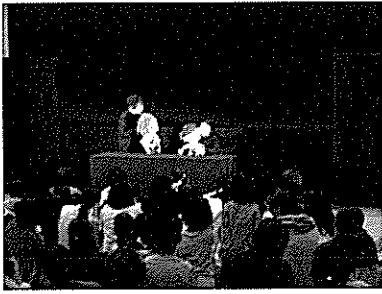
事業名	献血への協力		
実施日	2017年11月23日（木・祝）、2018年3月25日（日）		
実施場所	ショッピングセンター マイン		
協力団体	京丹後ローターアクトクラブ		
参加人数	会員	23 名	→→ 会員参加率 36.49 %
	市民	200 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	献血の推進をする。 献血に来られた方に粗品を渡しました。 		
事業結果	声掛けにより、多くの市民にご協力いただきました。 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 吉原信夫

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	おはなしフェスティバル		
実施日	2018年5月19日（土）		
実施場所	京丹後市峰山総合福祉センター コミュニティーホール		
協力団体	京丹後ローターアクトクラブ		
参加人数	会員 14 名	→ 会員参加率 43.75 %	
	市民 207 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京丹後市内の子どもたちを中心に市民の方を対象として、読み聞かせグループ「みかんの本文庫」による読み聞かせを行いました。子供たちがふるさと京丹後を愛し、豊かな心を持った大人になってもらいたいという願いで行いました。 時間 14:00～15:00 入場無料 後援 京丹後市・京丹後市教育委員会		
事業結果	今回で4回目の継続事業となりますが、年々入場者数が増えており、市民の皆さんには徐々に浸透しているようです。 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	239,000 円		
事業執行額	234,958 円		

2017-18年度

京都

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 関谷 昌人

担当委員会名 : 社会福祉委員会

事業名	スペシャル・オリンピックス日本 京都への寄付				
実施日	2018年4月16日				
実施場所	—				
協力団体	—				
参加人数	会員	名	→→	会員参加率	%
	市民	名			
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	京都RCが毎年参加、協力しております 知的障害者にスポーツを通じて心身の健康を増進する場を提供するスペシャル・オリンピックス日本・京都は、益々の活動拡大に向け尽力されており、その支援として寄付を行った。				
事業結果	各位よりの寄付により、今後の事業継続に向け、まずは次年度活動に向けじゅびを進められる旨、報告があった。				
新聞、TV等での報道	ナシ				
事業予算	30,000 円				
事業執行額	30,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 羽賀 一朗

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	呉竹フェスタ「夏」		
実施日	2017年7月29日		
実施場所	京都市立呉竹総合支援学校		
協力団体	京都伏見ローターアクトクラブ		
参加人数	会員 38 名 →→ 会員参加率 約40 % 市民 約200 名 その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
目的： 地域の障害児教育の現状を理解し、ほかの奉仕団体と協力してその事業を後援する。 ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブが一体となって活動する機会を持つ。 内容： 京都市立呉竹総合養護学校PTA主催同行事の後援 当クラブおよび当クラブ提唱京都伏見ローターアクトクラブ会員と京都聖母学院インターアクト会員とが焼きそばと飲み物を無料提供した。			
事業結果			
会員各位並びに学校側のご協力により大変スムーズに準備も進み、運営できた。支援学校の生徒や父兄にも、RC並びにRAC、IAC会員が触れ合うことができ、社会奉仕の重要性が再認識できたと考える。			
 			
新聞、TV等での報道			
なし			
事業予算	468,000 円		
事業執行額	468,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長

氏 名 : 土井 孝 博

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	青島広志といっしょに！音楽いろいろコンサート ～3世代をつなぐ日本の歌～		
実施日	平成30年 3月10日（土）PM2:00～		
実施場所	京都パルスプラザ（京都府総合見本市会館）稲盛ホール		
協力団体	伏見楽舎		
参加人数	会員	47 名	→→ 会員参加率 50 %
	市民	≒400 名	
	その他	≒60名（京都聖母学院小学校合唱団他）	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	青少年の健全育成と、親・子・孫の3世代の絆を深めることを目的としたプロジェクトで、東京から青島 広志さんという著名なアーティストをお招きしての童謡・唱歌を中心とした音楽コンサートを、「青島広志といっしょに！音楽いろいろコンサート ～3世代をつなぐ日本の歌～」と題して3月10日（土）に伏見区の京都パルスプラザ内、稲盛ホールにて開催致しました。青島広志さんの他に、京都聖母学院小学校合唱団や当クラブのコーラス同好会にも出演していただき、大人から子供まで楽しめる歌をみんなで聴いたり歌ったりして楽しみました。エンディングでは、となりのトトロの主題歌である「さんぽ」という曲を、会場の全員で踊りながら歌いました。その場に居合わせた一般市民や出演者、そして我々も含めた参加者全員が感銘を受けたと感じています。		
事業結果	最後にアンケートを取りましたが、大変好評でした。また開催して欲しいという声が、たくさん寄せられました。青島広志さんのキャラクターが、お年寄りから子供まで受けたのだと思います。 		
新聞、TV等での報道	ありませんでした。		
事業予算	1,150,000 円		
事業執行額	1,203,209 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 小野恭平

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	吉田山の再生と桜の植樹				
実施日	2018年2月25日				
実施場所	京都市東山区吉田山				
協力団体	吉田山の里山を再生する会				
参加人数	会員	18	名	→→	会員参加率 20 %
	市民	約100	名		
	その他	地元ボーイスカウト			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	京都市東山区にある吉田山が荒廃状態にあったものを再生するために、里山の整備と桜の植樹を行っている。今年も会員18名とその家族3名が参加して吉田山の桜の植樹が行われた。「吉田山の里山を再生する会」の皆さんを中心に、ボーイスカウトの皆さんの協力もいただき無事に植樹を終えることができた。この事業は今年度で10年目を迎え、京都東ロータリークラブの継続事業として受け継がれている。				
事業結果	毎年10本程度の桜の苗木を植樹している。また定期的に行われる清掃活動にも会員の参加を呼び掛けて積極的な参加を促している。これまでに100本程度の苗木を植えた事になるが、植樹された桜は順調に育つものもあれば残念ながら根付かずに枯れてしまうものもあり、自然相手に人間が手を加えることの難しさを実感している。これまで執行された予算は苗木の費用はもちろん、間伐作業の専門業者への支払いにも使われており、徐々に里山は明るさを取り戻している。散歩する地元の方も増えており、吉田山の面積からすればまだまだ手付かずのところもたくさんあるが、事業を継続することで里山の再生を進めたい。桜が順調に成長して、その桜の下で花見をしながら社会奉仕フォーラムが開催できることを願うばかりである。以上、本年度の吉田山の桜の植樹事業報告とする。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	400,000 円				
事業執行額	400,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 記念事業部会長

氏 名 : 木村 安輝

担当委員会名 : 創立50周年記念記念事業部会

事業名	京都東山ロータリークラブ創立50周年記念事業 特別記念講演会		
実施日	2017年8月5日 (土)		
実施場所	ロームシアター京都 メインホール		
協力団体			
参加人数	会員 57 名 →→ 会員参加率 89.1 % 市民 2,000 名 その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	クラブ創立50周年記念事業の一環として、特別記念講演会を開催。 i P S細胞の研究が発表されてから10年目の年にあたり、タイムリーな形でノーベル医学・生理学賞を受賞された、京都大学 i P S細胞研究所所長・教授山中伸弥氏を講師にお招きし、i P S細胞研究の進捗状況と将来への期待を、広く京都市民の皆様方と共に考え、願う場の提供と併せて、「京都大学 i P S細胞研究基金」に対し寄付金を贈呈し、新薬の開発や再生医療実現のため支援することを目的としております。		
事業結果	2,000名を超える聴衆者の中、パワーポイントを使って現在までの研究内容を噛み砕いて開設され、参加者全員が話の中に引き込まれる様子を垣間見ることができました。 冒頭山中教授は、父親を肝炎で亡くした自らの経験に触れつつ、アメリカ留学を経て「研究の力で病気を克服する」というビジョンを持ち、それが i P S細胞の発見につながったことなどを紹介されております。 一方で、課題は時間とお金がかかることと指摘して、実現の厳しさを吐露され、寄付文化の広がりにも期待されておりました。 教授が支援と協力を求められると、会場から大きな拍手がわき起こり、i P S研究の早期実現化への期待の大きさを感じることができました。 講演後には、「京都大学 i P S細胞研究基金」に寄付の目録贈呈を行い、山中教授から感謝状を拝受しております。		
新聞、TV等での報道	(ネット広告・京都新聞掲載・ちらし・ポスター作製) 広い地域から参加者を募る目的から、まず始めに「ネット広告」掲載で告知し、幅広い地域からの参加を期待しました。その結果は、西は姫路、東は仙台から応募者があり、反響の大きさに驚いております。 並行して、会員の事業への参画意欲の向上を狙って「ちらし・ポスター」を作製、会員への意識の喚起と盛り上がりにも反映しており、最後の京都新聞掲載で、募集人員の目標達成に至りました。三者三様の特色が出たことが、成功につながったものと強く感じております。		
事業予算	10,000,000 円 (記念講演及び琵琶湖疏水通航)		
事業執行額	5,661,000 円		



社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 萩原 暢子

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	ふくしまとみんなをつなぐひまわりプロジェクト「ひまわり大使ツアー2017in 京都」への支援		
実施日	2017年7月23日（日）～29日（土）		
実施場所	久美浜、京都市内		
協力団体	NPO法人シャローム		
参加人数	会員 3 名 → 会員参加率 30 % 市民 15 名 その他 子供 13人		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	事業目的：東日本大震災で原発事故や複合災害の過酷さを経験した福島県の子どもたちが、地域間で交流を深めながら子どもひまわり大使として、福島での経験を伝える。この直接体験を通じて、震災や原発事故の「教訓」を伝え、子どもたちの健やかな成長と発達に結び付けることを最終目的とする。 事業内容：訪問先での中高生との交流・意見交換会、海水浴などの自然体験、お寺訪問などの文化体験、みかんの摘果作業などの農業体験への支援。		
事業結果	7月24日には、子どもたちが支援のお礼として、久美浜の海岸でゴミ拾いボランティアを行った。また、京都市内に移動してからは、様々な交流や体験をする中で、自身の震災体験を発信することができた。これらのことは、後日子どもたちから送られてきた、自身のひまわり大使体験レポートを読み込むことで理解される。これらの経験が、彼らの成長に大きな影響を及ぼし、大きな心の糧となることを確信している。		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	100,000 円		
事業執行額	100,000 円		



社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 村口 俊市

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

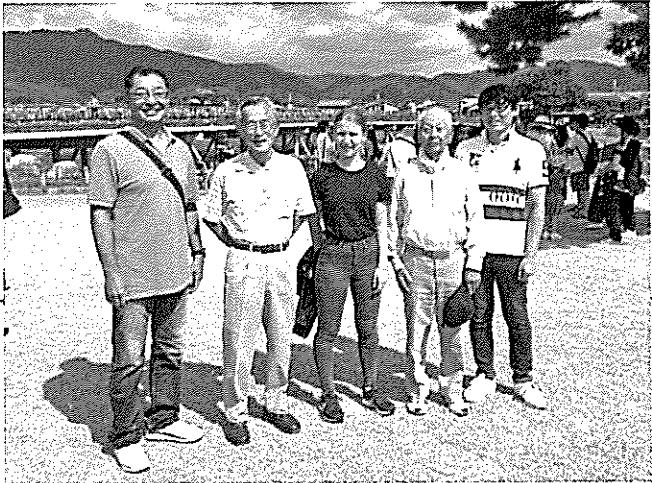
事業名	第1回 チャリティークラシックカーラリー		
実施日	2018. 4. 30		
実施場所	久御山町役場～文化パルク城陽までのパレード及び展示		
協力団体	城陽市、久御山町及び各教育委員会		
参加人数	会員	23 名	→ 会員参加率 66 %
	市民	5426 名	
	その他	車のオーナー51名	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	クラシックカー、スーパーカーのオーナーに参加を呼びかけ京都城陽ロータリークラブのテリトリーである城陽市、久御山町の市民の皆様方にクラシックカー、スーパーカーの走っているところを見て頂き、その後、文化パルク城陽屋外駐車スペースにて車を展示し写真撮影や説明をオーナー様にして頂き、老若男女を問わず色々な年代の方々に興味、関心を持ってもらいながらチャリティーイベントとして募金箱を設置し、声掛け等させていただきながら募金活動を行う。集まった浄財については、城陽市、久御山町の社会福祉協議会への寄付をすることを目標とした。		
事業結果	受付及び出発場所である久御山町役場にも大勢の観客が来て頂けた。沿道から見て頂いている方も大勢居られた。来客者も途切れず来て頂き、京都城陽ロータリークラブの活動を広く市民の方々に知って頂けた。尚募金も寄付をさせて頂きました。		
新聞、TV等での報道	洛南タイムス、京都新聞、NHK、ネットなどで報道されました。		
事業予算	480,000 円		
事業執行額	480,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 末永 寛

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	嵐峡の清流を守る会（河川清掃）				
実施日	2017年9月3日（日）				
実施場所	嵐山渡月橋上流・下流一帯の大堰川、桂川沿い				
協力団体	嵐峡の清流を守る会				
参加人数	会員	4	名	→→	会員参加率 %
	市民	200	名		
	その他 青少年交換留学生				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	嵐峡を流れる保津川、大堰川、桂川を美しく且つ、嵐峡の景観を守るため、美化啓蒙を推進し、地域の人々と共に美しい川を次代に継承する活動を行う。				
事業結果	毎年継続事業として参加していますが、年々散乱ゴミは減少し、環境美化の成果がえられていると思います。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	10,000 円				
事業執行額	10,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 末永 寛

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕

事業名	第11回桂川流域クリーン大作戦				
実施日	2018年3月4日(日)				
実施場所	桂大橋右岸				
協力団体	桂川流域クリーンネットワーク				
参加人数	会員	4	名	→→	会員参加率 %
	市民	3,500	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	「みんなの手で水辺をきれいにしましょう」と桂川、宇治川、木津川、淀川などの淀川水系一斉美化を多くの各種団体、企業、学校、個人が7ヶ所のエリアで連携して、ゴミを捨てないマナーアップと水辺の環境保全に貢献しようとする清掃活動です。				
事業結果	桂川ロータリークラブは第1回目より参加しており、今回会員の参加は少なかったですが、多数の各種団体、ボランティアの方々と一緒にゴミ拾いをしましたが、我々が担当する桂大橋エリアは年々ゴミが少なくなっていると思います。全エリアの回収ゴミ量は約53t、参加団体数は225団体。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	円				
事業執行額	円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 末永 寛

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	障がいのある人と家族のためのレクリエーション				
実施日	2018年4月22日(日)				
実施場所	体験型観光農園 ローザンベリー多和田				
協力団体	西京社会福祉協議会				
参加人数	会員	5	名	→→ 会員参加率	%
	市民	77	名		
	その他	IAC	2名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	障がいのある子供、大人やその家族が、普段余り体験できない事を、見たり、楽しんだり、又、同じ悩みを持つ家族同士が情報交換や親睦を深め、多くの人達との交流を通じて楽しく、有意義な一日を過ごしていただく事を目的としています。				
事業結果	朝から暑く初夏を感じる素晴らしいお天気に恵まれ、バス2台で西京区役所と境谷大橋より一路米原方面へ。到着とすぐ体験工房で木のねんどの物づくりとマイ箸づくりに分かれてクラフト体験をしていただきました。その後昼食は各家族ごとに分かれて美味しいバーバキューを頂き、皆様満足そうな笑顔をされていました。ここは元採石場跡の広大な敷地にあり、園内を周遊するSL列車や羊のふれあい広場、山野草の庭、ローズガーデン、キッチンガーデン等、各種の花が各エリアに植えられている自然豊かな場所で皆様充実した一日を過ごされたと思います。				
新					
事業予算	391,920 円				
事業執行額	391,920 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 松宮 嘉孝

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕

事業名	第51回白杖安全デー「視覚障害者の交通安全を考える府・市民のつどい」		
実施日	2017年10月8日（日）		
実施場所	京都府立盲学校 花の坊校地		
協力団体	主催：京都ライトハウス・京都視覚障害者支援センター・関西盲導犬協会・ 京都府立視覚障害者福祉センター・京都府立盲学校・京都府立視覚障害者協会		
参加人数	会員	1 名	→→ 会員参加率 1 %
	市民	240 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	・集会テーマは、「誰もが安心して歩ける道・KY0から未来へ、～白い杖や盲導犬を使っている人に声をかけてください～」京都市交通局職員の日ごろの取組や、当事者からの経験の発表があり一般府市民含め約240名が参加。啓発活動ではちらしの入ったポケットティッシュを6000個配布され多くの方に理解して頂く事業に協力した。		
事業結果	集会に会長が参加、資金援助をしました。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000 円		
事業執行額	50,000 円		

2017-18年度

京都北

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 松宮 嘉孝

担当委員会名 : 社会奉仕

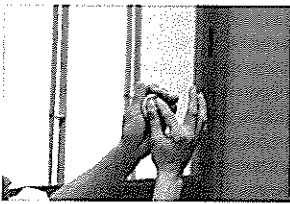
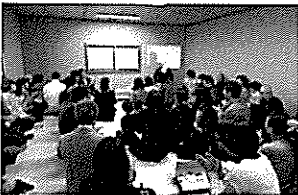
事業名	台湾東部地震義捐金				
実施日	例会日2/22、3/1				
実施場所	例会場				
協力団体					
参加人数	会員	68	名	→→	会員参加率 100 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	台湾東部で発生した地震に対して義捐金を送金する為、例会場に募金箱を設置した。				
事業結果	例会場にて2回募金活動をし計64,000円とクラブからの30万円を合せ計364,000円を姉妹クラブの台北北RCを通し送金しました。				
新聞、TV等での報道	なし				
事業予算	300,000 円				
事業執行額	300,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 松宮 嘉孝

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕

事業名	京の菓子文化体験イベント				
実施日	2018年3月3日(土)				
実施場所	上七軒「老松」、北野天満宮文堂会館大ホール				
協力団体					
参加人数	会員	19	名	→→	会員参加率 30 %
	市民	30	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	職業奉仕委員会と共催事業。各々が奉仕する職業を理解し、尊重することから地域社会に寄与する活動として開催。				
事業結果	ロータリー関係者19名、一般30名参加。第1部では、和菓子の「老松」で当主の和菓子文化の講話と職人による和菓子作の実演。第2部では、会場を北野天満宮文道会館大ホールに移動し、花街上七軒芸妓のお点前を体験。会場では「花街と茶の湯」の歴史や文化を学ぶ傍ら、会員各々が積極的にロータリー活動における職業性や地域性を紹介するなど話が弾み、会員と一般者双方が意見を交換し合い理解を深める良い機会となった。   				
新聞、TV等での報道	なし				
事業予算	51,500 円				
事業執行額	51,500 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 第一奉仕プロジェクト委員長
 氏 名 : 高橋 拓児
 担当委員会名 : 黒竹 節人

事業名	京都迎賓館体験型参観「菊花彩る重陽のおもてなし」		
実施日	2017年9月4日、5日		
実施場所	京都迎賓館		
協力団体	京都迎賓館主催、京都コンベンションビューロー共催		
参加人数	会員	100 名	→→ 会員参加率 %
	市民	500 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都迎賓館では9月4日（月）、5日（火）の2日間限定で、「菊花彩る重陽のおもてなし」と題して重陽の節句に合わせ、体験型参観が初めて実施され、我が京都南ロータリークラブもこの事業に協力致しました。現在、京都迎賓館は通年で一般の方々に公開されておりますが、京都迎賓館を通して日本の素晴らしい文化の魅力を知って頂くため今回は特別に体験型の参観が実施されました。9月9日は五節句の一つであり菊の節句ともいわれています。華道や能楽など古来からの伝統行事に深く関わりがある日です。その重陽の節句に合わせ、菊に因んだ能楽「枕草子」（金剛永護御宗家）、呈茶席でのお菓子「着せ綿」（茶道裏千家）、特別なしつらえの生け花（京都いけばな協会）がなされ、王朝文化の香りが今も残る京都御苑内にある、初秋の京都迎賓館に彩りを添えました。今回、我がクラブはこの企画に賛同し、京都コンベンションビューロー（事業共催）が担う重陽の節句のしつらえに寄付をしたほか、当日の運営に関しボランティアで約100名の会員が参加協力を致しました。		
事業結果	また、今回の企画には全国各地から500名を超える方が参加されました。事業後のアンケートでは95%の来場者が満足されたという良い結果となり、大変多くの方に喜んで頂きました。 この様に、京都迎賓館初めての事業に参画し、京都のみならず全国からお越しになられた方々にこの様なおもてなしをご体験頂けたことは、イアン・ライズリー国際ロータリー会長の「ロータリー：変化をもたらす」、RI第2560地区田中誠二ガバナーの「愛着と誇り」、そして当クラブ千振和雄会長の「凛として和やかに～共に南の風となる～」といった本年度のテーマやスローガンに即した事業（地域や人々に良いことをしよう！）になったのではないかと考えております。 我が京都南ロータリークラブは今後も京都のみならず、日本のために更に貢献して参ります。		
新聞、TV等での報道	京都新聞、北海道新聞、長崎新聞、琉球新報、神戸新聞掲載、DiscoverJapan（樫出版）、KBS京都「おやかまっさん」出演、TJapan（WEB掲載）		
事業予算	1,500,000 円		
事業執行額	1,579,883 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 山本 諒司

担当委員会名 : 奉仕P《社会・職奉》

事業名	京都市内（京都マザーグースの会）絵本コンサート活動の支援		
実施日	2016年7月～2017年3月 計7回について（下記詳細参照）		
実施場所	京都子育て支援総合センター 子どもみらい館		
協力団体	特定営利活動法人音楽のまちづくり		
参加人数	会員 4 名 → 会員参加率 8 % 市民 100 名 その他 施設関係者・協力団体参加者 20名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都市こどもみらい館・京都マザーグースの会と共催で子どもの情操の為の絵本コンサート行う。年間4回～5回程度の予定で、上期には7月（本年初回は6月26日となった）と9、11月実施。10月15日は音楽コンサート。 下期は1・3月は読み聞かせで、2月4日は音楽コンサートの催しとしている。（上期11月にも音楽コンサートを1回実施）楽器の紹介や楽器体験ワークショップも行う。毎回演奏者の交通費や演奏費を助成することにより、できるだけ高い技術と志を持った音楽家の生演奏に子供たちを触れさせる機会を増やしていくようにしている。子どもだけでなくその保護者も対象とすることで「子育てを音楽で支援する」という狙いも含んでいる。 ※毎回、朗読と演奏の前には前方スクリーンに「協賛：京都モーニングロータリークラブ」と映し出されることにより、父兄の方々に広くクラブの存在を広報する。		
事業結果	第1回 6月25日（日）『うみにしずんだうす』演奏：ピアノ 大人57名 乳幼児64名【121名】 第2回 9月24日（日）『ふしぎなたいこ』バイオリン・ピアノ/大人（52）乳幼児（45）【103名】 第3回11月26日（日）『アレクサンダとぜんまいねずみ』バイオリン・ピアノ/大人（44）乳幼児（37）【81名】 第4回 1月28日（日）『かいじゅうたちのいるところ』バイオリン・フルート/大人（46）乳幼児（40）【86名】 第5回 3月26日（日）『おたまじゃくしの101ちゃん』チェロ / 大人（48）乳幼児（47）【95名】 【事業部実施のミニコンサート】 2017年10月15日（日）『ほっこりシアター』演奏（ヴァイオリン・ピアノ）大人45名 乳幼児44名【89名】 2017年 2月4日（日）『ほっこりシアター』トリオ演奏（ヴァイオリン・フルート・ピアノ）大人55名 乳幼児58名【113名】 年々、参加者が増えており、地域に定着した事業になったことを実感するとともに、協賛としてのクラブ名称の提示だけではなく、開始前にポリオ撲滅に関する広報活動等、委員会が参加者の皆様にロータリーの活動を知っていただけるような広報活動も今後の取り組みの課題として挙げられる。		
新聞、TV等での報道	本事業に関する特別な報道はないが「NPO法人音楽のまちづくり」の取り組みは数多くの新聞等にその活動内容が取り上げられております。		
事業予算	160,000 円		
事業執行額	160,000 円		



社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 山本 謙司

担当委員会名 : 奉仕P《社会・職奉》

事業名	16-17年度社会奉仕実施事業 継続支援団体（2団体）への支援		
実施日	たんぽぽハウス（2017年4月30日）/和敬学園（2017年4月30日）		
実施場所	たんぽぽハウス 京都市西京区 / 和敬学園（京都市上京区）		
協力団体			
参加人数	会員 36 名 → 会員参加率 %		
	市民 名		
	その他 ※フォーラム出席会員：36名 2017年10月19日		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	継続支援団体（2団体）において、当年度も支援を致しました ※各事業所へ40万円づつ 【たんぽぽハウスへの支援内容】 行事旅費一部支援 ※バス旅行（バスチャーター費）の費用支援 ***** 【児童福祉施設和敬学園への支援内容】 施設備品等の支援/ 支援品 備品 一式 （43型TV、TVボード、空気清浄機、座卓、ソファ、衣類乾の一部支援） ※本年バザー売り出し品の提供が行われなかったが、予算を使用せずに会員一人ひとりの支援が学園に提供され、より良い形の「奉仕」が行えるので、次年度は実施の報告でいきたい。		
事業結果	上記の2団体は、長年クラブがかかわりを持ち支援し続けてきた団体であり、各々も、堅実な活動を続ける福祉施設団体である。よって、自立した活動の中でも、とくに不足しがちな、活動資金の一部を補助することで、活動環境を整えることも支援の一環と考え、継続支援事業として取り組んでいる。 【写真は10月フォーラム時の様子】 「施設が求める支援の形」をより反映した奉仕事業にする為、10月の部門フォーラム開催で『たんぽぽハウス』平野元子様、「和敬学園」施設長 樋口文昭 氏に本年もご例会に訪頂き、両施設の活動状況や施設の現状をそれぞれ15分ずつお話しいただいた。例会終了後には委員会とのディスカッションで、双方のご事情などを更にヒアリングし、より具体的な支援のご希望をまとめた。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	800,000 円		
事業執行額	800,000 円		

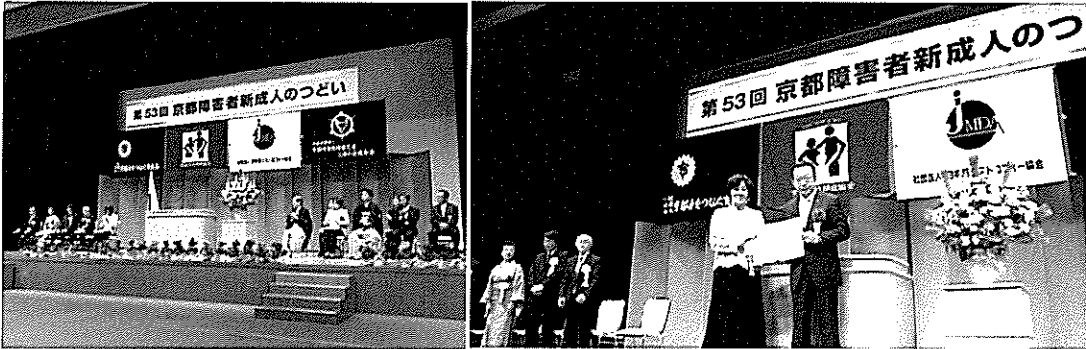


社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 加藤炳秀

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

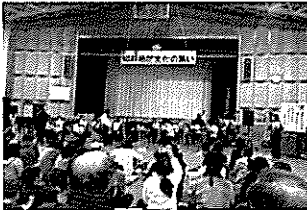
事業名	京都障がい者新成人のつどい記念品寄贈と成人式参列		
実施日	2018年1月8日		
実施場所	京都テルサ		
協力団体	京都市障がい児者親の会協議会		
参加人数	会員 22 名 → 会員参加率 42.3 % 市民 32 名 その他 京都紫野RAC 2名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	当クラブは、毎年京都市障がい児者親の会協議会主催の「京都障がい者新成人のつどい」への協賛、また当日式典に参列をしています。障害を持って成人する若者、またそのご家族にとって、少しでも励みになれるよう、記念品を贈呈し、当クラブ会長より新成人の方々へ祝辞をお伝えてしております。		
事業結果	今年の新成人は32名。当日新成人の方々へ会長はじめ会員から記念品（置時計・シクラメン）を贈呈。新成人への祝辞をクラブを代表して会長から述べました。		
			
新聞、TV等での報道	1月9日の京都新聞、朝刊で写真付きで紹介されております。		
事業予算	200,000 円		
事業執行額	169,020 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 青少年奉仕リーダー

氏 名 : 岡本靖之

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	「里山に響け 子どもたちのオーケストラ」				
実施日	2017年11月26日（日）10：00～15：00				
実施場所	京都府南丹市美山町中 知井地区				
協力団体	南丹市美山町知井地区振興会・さくらジュニアオーケストラ				
参加人数	会員	25	名	→→	会員参加率 %
	市民	200	名		
	その他 会員家族10名・青少年30名				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	滋賀県栗東市を拠点として活動している子供たちのアマチュアオーケストラである「さくらジュニアオーケストラ」のメンバーを京都府南丹市知井地区へ招へいして、里山が広がる自然豊かな場所で演奏会を開催することにより、都会の子供たちには自然の豊かさを体験してもらうとともにその美しさが徐々に失われてゆくことへの危機感をもってもらう。また美山町の子供たちには都会で懸命に音楽活動に万進している仲間たちの姿を見ることで、芸術活動の素晴らしさとそれに取り組む真摯な営みを実感してもらう。				
事業結果	南丹市美山町の「知井地区文化の集い」に参加し、滋賀県栗東市の「さくらジュニアオーケストラ」の子どもたちと地元の子どもたちが音楽を通して交流しました。午前中は中ロータリーのメンバーと子どもたちが一緒にツツジの植樹を行い午後からは地元の皆さんとオーケストラの演奏を楽しみ、その後は「かやぶきの里」の見学や、ソーセージ作りを体験した充実した一日となりました。   				
新聞、TV等での報道					
事業予算	753,000 円				
事業執行額	756,487 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 地域発展委員長

氏 名 : 中村 辰靖

担当委員会名 : 地域発展委員会・
環境保全委員会合同

事業名	ピカピカ大作戦 清掃活動		
実施日	2018年2月18日(日)		
実施場所	京都市立西京高校・附属中学校正門前から西大路四条まで行き、四条通りを西に京都外国語大学までの両歩道の清掃		
協力団体	なし		
参加人数	会員 13 名 → 会員参加率 11.4 % 市民 名 その他 京都外大アクト2名 京都西ローター7名1名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	清掃活動を通じて環境問題への関心を高めるのと、問題提議を促すこと。		
事業結果	日中の気温が4度と気温が上がらない中、ピカピカ大作戦はスタートしました。西京高校・附属中学校正門前からスタートし、西大路通りの両方の歩道を2班に分かれて清掃活動を行いました。道端にはごみがほとんど無いように思っていたのですが、歩いて清掃活動をしていると、タバコの吸殻は、よく落ちていました。あと見えにくい植木の中に使い捨ての傘や空き缶 ペットボトルもよく捨ててありました。2班に分かれてスタートしましたが、西大路通り東チームは、西チームよりすこし距離が長いのと、阪急西院駅前を通過することもあり、西チームより、清掃に時間がかかっていました。やはり人が集まる駅前周辺は、ごみも多いのが実感できました。最後に気温が上がらない寒い中、清掃活動をしていただいた皆さんに京都外国語大学 横山さんから、場所と長机を提供してもらい、環境保全委員長 宇佐美さんからの温かいおぜんざいが振舞われて皆さん笑顔の中解散となりました。  		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	319,837 円		
事業執行額	756 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 高間 信和

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	防災かまどベンチの寄贈				
実施日	2018年2月25日				
実施場所	長岡京市立長岡第八小学校				
協力団体	長岡京市・長岡京市教育委員会				
参加人数	会員	15	名	→→	会員参加率 38 %
	市民	500	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	災害に備え、住民の避難場所である小学校に、かまどベンチを寄贈しました。				
事業結果	2月25日の地域のお祭りの開会式において、長岡京市長をはじめ多くの来賓と住民・児童の前で、学校長に目録を渡しました。防災かまどベンチは、2月23日に設置しました。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	244,500 円				
事業執行額	266,868 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 河内 義之

担当委員会名: 奉仕プロジェクト

事業名	ホテルが飛ぶ街づくり「ホ、ホ、ホテル来い事業」継続3年目 Part I		
実施日	2018年3月24日（土）		
実施場所	高瀬川（木屋町二条～木屋町御池）		
協力団体	銅駝自治連合会、高瀬川保勝会、春日学区自治連合会、京都市立御所東小学校		
参加人数	会員	19 名	→→ 会員参加率 21.1 %
	市民	50 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
地域コミュニティの交流における奉仕活動及び環境保全。今年度の会長テーマである「限りない友情と奉仕の心」～地域を育む奉仕活動～に則り、今年で3年目を迎えた、高瀬川にホテルを生息させるプロジェクト。銅駝自治連合会、高瀬川保勝会のご協力のもと御所東小学校の子供たちとカワナと幼虫の放流を行い、自然保護の大切さ、そしてロータリーの精神であるボランティアする喜びを次世代を担う子供たちと一緒に共有します。			
事業結果			
参加人数は総勢69名、内19名の会員は12時30分から、カワナ、幼虫の仕分け作業、受付及びお土産の準備も手際よく進められました。御所東小学校の児童、父兄、銅駝、春日両自治連合会、京都市教育委員会の皆様、そして高瀬川保勝会の皆様全員が開始時刻5分前にはお揃いになり、山野会長のご挨拶の後、幼虫が成虫になり6月に観賞できることを願いながら子供たちが幼虫の放流を行いました。学年、クラスも違う子供たちがあつという間に打ち解け、仲良く、楽しく参加いただけました。また、その様子を見守る大人たちも皆さん笑顔一杯で本当に心温まる時間が過ごせたことで、この事業が地域に密着した素晴らしい奉仕活動であることを改めて実感いたしました。			
新聞、TV等での報道			
報道なし。			
事業予算	187,900 円		
事業執行額	115,983 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 河内 義之

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト

事業名	ホタルが飛ぶ街づくり「ホ、ホ、ホタル来い事業」継続3年目 Part II		
実施日	2018年6月9日（土）		
実施場所	高瀬川（木屋町二条～木屋町御池）		
協力団体	銅駝自治連合会、高瀬川保勝会、春日学区自治連合会、京都市立御所東小学校		
参加人数	会員 20 名 →→ 会員参加率 22.2 % 市民 110 名 その他 ※上記、参加人数は例年並みを見込んでおります。		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	3月24日に実施した「ホ、ホ、ホタル来い事業」Part Iに続き、Part IIを開催。地域交流、環境保護を主旨に自然環境の象徴であるホタルを高瀬川で育てる取り組みを継続しており、Part Iに参加いただいた御所東小学校では、そのときの幼虫を持帰り学校でホタルを育ててきました。Part IIではそのホタルの成虫を観賞する夕べを実施します。 （6月8日現在、本事業については予定のご報告とさせていただきます。）		
事業結果			
新聞、TV等での報道			
事業予算	165,600 円		
事業執行額	円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 理事/委員長

氏 名 : 浅井政則

担当委員会名: 社会奉仕

事業名	岡崎わいわい文化祭		
実施日	2018年2月3日(土)		
実施場所	京都市国際交流会館		
協力団体	左京区岡崎自治連合会		
参加人数	会員 6 名 →→ 会員参加率 8 % 市民 多数 名 その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	・文化観光スポットの多い岡崎地域は、京都の中でも注目の地域であるが、その岡崎の住民と交流を行い、より一層活気ある地域づくりに寄与する。 ・地域の障害者も多数参加するので、障害者人権を考えるきっかけとなる。		
事業結果	・岡崎地域にある支援学校などの障害者が参加しており、地域の人たちの障害者への理解をより深めることに役立った。 ・踊り、歌、吹奏楽、コーラス、箏演奏など多岐に亘る催しがあり、地域の婦人、学生などが出演し、盛況であった。 ・クラブ会員も出演者として参加し、会場を盛り上げた。 ・自治連のスタッフが中心となり活動いただき、共に事業を行ったことで、地域との交流がより深まり、今後の地域活動の礎となった。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	100,000 円		
事業執行額	100,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 理事/委員長

氏 名 : 浅井政則

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	第14回京都さくらよさこい				
実施日	2018年3月31日(土)～4月1日(日)				
実施場所	京都市内(岡崎公園、二条城ほか数ヶ所)				
協力団体	京都さくらよさこい実行委員会				
参加人数	会員	未確認	名	→→	会員参加率 %
	市民	20余万	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	・京都の春のビッグイベントとして定着した「京都さくらよさこい」は、『参加、見物を併せ、多くの人が入浴する(地域発展)』、『京都の物産の紹介販売(地域発展)』、『多くの人が参加することによりゴミに対し、J.Tのひろえば街が好きになる運動に協力しゴミ拾いを行う(環境保全)』など、数多くの事業分野を含んだイベントである。また、運営は学生が中心となっており、マスコミへの露出も多いので、広報、青少年育成にも大いに貢献している。 このイベントが成功することにより、いろいろな奉仕分野に寄与でき、有意義な事業となる。				
事業結果	・毎年、延べ20万～30万人の動員数を誇るイベントに協賛することにより、京都洛北ロータリークラブの広報活動また京都の地域の発展に寄与した。 ・この様な大きなイベントを企画・実行したことは、学生にとっては大きな経験となり、青少年育成の見地からも大変有意義であった。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	100,000 円				
事業執行額	100,000 円				

2017-18年度

京都洛南

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 西田 賢央

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

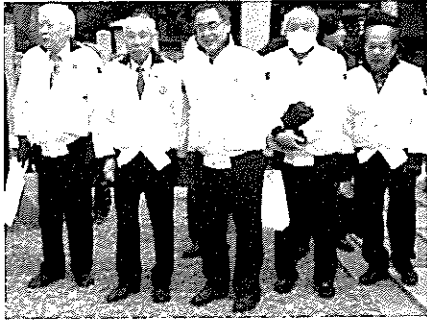
事業名	「社会を明るくする運動」伏見大会に協賛				
実施日	2017年7月23日(日)				
実施場所	京都市呉竹文化センター				
協力団体	伏見地区保護司会				
参加人数	会員	1	名	→→	会員参加率 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	毎年の事業であるが伏見地区保護司会「社会を明るくする運動」に今年度から社会奉仕委員会として協賛した。毎年会長が参加している。これは、更生社会人を送り出す保護司会への支援活動の一環である。				
事業結果	報告なし				
新聞、TV等での報道					
事業予算	50,000 円				
事業執行額	50,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 西田 賢央

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	伏見大手筋年末防火パレード		
実施日	2017年12月14日(木)		
実施場所			
協力団体	伏見消防署 他		
参加人数	会員 10 名 →→ 会員参加率 33 % 市民 名 その他 伏見消防署、伏見地区消防軍団、伏見地区各種団体、伏見幼児園児 200名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	月桂冠昭和蔵ホールにて、伏見消防署長主催の記念式典が行われ、その後西大手筋商店街から御香宮神社まで歳末の放火防止や火災撲滅を呼び掛けてパレードを開催し、火災減少となる一助とする。		
事業結果	参加会員はロータリーマークの入った御揃いのクラブジャンパーを着てパレードに参加し、防火や火災撲滅を呼び掛けながら、ロータリー活動を広く知って頂ける場となった。		
 			
新聞、TV等での報道			
事業予算	0 円		
事業執行額	0 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 西田 賢央

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

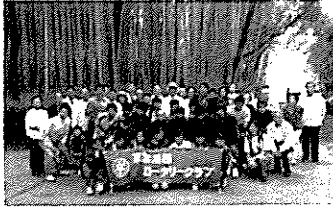
事業名	留学生寮へ各種器具寄贈支援事業				
実施日	2018年6月16日(土)				
実施場所	きょうと留学生オリエンテーションセンター みずき寮				
協力団体					
参加人数	会員	12	名	→→ 会員参加率	40 %
	市民	名			
	その他	みずき寮、さつき寮、きょうと留学生ハウスの留学生 50～60名			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	京都府国際課の留学生寮において、留学生達が快適な生活を過ごせるように揃っていない家電製品や生活備品等を寄贈し、留学生達の生活向上に向けて手助けする。今年度で3年目で最終年度となるが、京都府国際課の留学生寮（みずき寮、さつき寮、きょうと留学生ハウス）で学生同士及び周辺住民が交流を深める為の器具を寄贈。6月16日に当クラブ職業奉仕委員会と社会奉仕委員会共催で、みずき寮に於いて寄贈式を行い、クラブ会員に講師をお願いし寄贈した家電製品を利用して「和食料理教室」を開催し、留学生に和食づくりを体験してもらいます。				
事業結果	寄贈した家電製品や備品をととても喜んで頂いている。京都府国際課の寮は、現在使用していない建物の再利用であり、学生たちが生活していく上で不足している家電製品等が沢山あり、毎年希望家電等を寄贈して、留学生達が生活しやすいように手助けできていると思う。またその返礼として昼食交流会を開催して頂き、留学生の実体を知るとともに、会員メンバーとの交流会がはかれています。留学生達が作ってくれた母国料理でおもてなし頂いている。今年は3ヶ年継続事業の最終年度となり社会奉仕と職業奉仕共催で、寄贈した家電製品を使って「和食料理教室」を開催し、留学生達に簡単な和食を味わってもらい、作り方も伝授し、和食に興味を持って広く世界へ広めていって頂ければと期待しております。				
新聞、TV等での報道	新聞社より取材に来られる予定です。				
事業予算	寄贈品30万+料理教室10万 円				
事業執行額	400,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 桐木 孝和

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

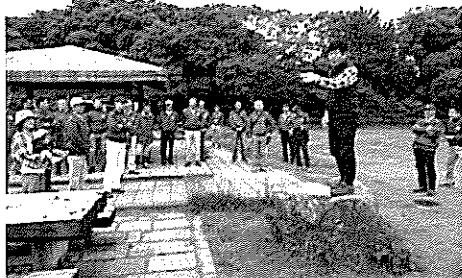
事業名	小倉山特別保存地区竹林補修事業		
実施日	2017年9月30日		
実施場所	小倉山特別保存地区・大河内山荘周辺		
協力団体	京都市立嵯峨中学校・大河内山荘・京都洛西RAC、米山奨学生		
参加人数	会員 35 名 →→ 会員参加率 71.42 % 市民 5 名 その他 嵯峨中学校引率教諭・生徒 約40名 京都洛西RAC、米山奨学生 総数90名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	小倉山特別保存地区竹穂垣補修事業 小倉山及び嵐山地区の景観保存と地域との連携、青少年の地域愛の育成を目的。  		
事業結果	今年度も90名近い参加を頂き大河内山荘周辺の竹穂垣補修事業を無事行う事が出来ました。事業終了後は大河内山荘様のお取り計らいにより、中学生の皆様には御抹茶を体験していただき、日本の伝統文化にも触れていただき思い出に残る1日であったことと確信しております。   		
新聞、TV等での報道	今年度の取材はありませんでした。例年は、京都新聞や朝日新聞、J:com京都みやびじょんさん等に来て頂いております。		
事業予算	300,000 円		
事業執行額	268,829 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 理事

氏 名 : 木ノ下 善正

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都洛東RC植樹事業(東山を守り、森づくりをしよう)		
実施日	2018年5月19日		
実施場所	東山区高台寺山国有林		
協力団体	京都市・京都市森林文化協会		
参加人数	会員 29 名 → 会員参加率 59 % 市民 名 その他 家族とその子供 15名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	当クラブテリトリーでの地域密着の奉仕活動として、山の大切さ、森の大切さ、そして何よりも人としての自然との振れあいにより人間性を高め、荒れた山に植樹をして改めて、自然の大切さを考える事業をしました 		
事業結果	参加人数は約50人でロータリークラブの提案されている会員一人1本の木を植樹しました。家族とその子供たちが楽しそうに苗木を植え、指導の先生に耳を傾け、参加者全員に本事業の目的が達せられました。会員から来年も事業をしようといった声も聞こえてきて、今度は一般市民や青少年育成の為にロータリーアクトも参加してもらおう企画を考えようとの結果となりました  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	150,000 円		
事業執行額	170,540 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長

氏 名 : 田 中 雅 一

担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト委員会

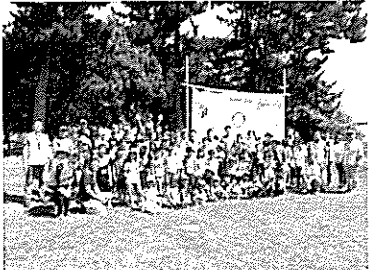
事業名	母子生活支援施設野菊荘の母子と過ごす秋の実りの収穫祭				
実施日	2017年9月18日				
実施場所	母子生活支援施設野菊荘・みどり農園				
協力団体	社会福祉法人宏量福祉会 母子生活支援施設野菊荘				
参加人数	会員	12	名	→→ 会員参加率	50 %
	市民	93	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	表だって支援が届きにくかった組織の、地域での重要性を再考すると共に、会員と子供たちの交流を通して、より明るい街づくりの一助とする。 母子生活支援施設・野菊荘に様々な事情で入所されている方々に、秋の一日をみどり農園のブドウ狩りとバーベキューにて、外出することの少ない母子に楽しいひと時と思い出作りをしてもらう。				
事業結果	台風の影響を心配され、警報発令時の対応策を練りながらの準備でしたが、おかげさまで快晴に恵まれた一日を過ごせました。 施設からクラブメンバーが同乗してバスでみどり農園に向かいました。 農園ではブドウ狩り・バーベキュー・ビンゴゲームと、施設の皆さん共々楽しんでいただきました。一番の盛り上がりは皆さん全身びしょ濡れでの金魚つかみからの水遊びでは無かったかと思います。また、当クラブのメンバーと野菊荘職員との意見交換の場を持ち、施設の現状をお聞きして今後私たちが取り組む奉仕事業の参考意見になりました。もこの事業を通じて、施設で共に生活しているご家庭間の親睦と、遠征して野外活動での楽しい思い出を残していただけたと思います。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	1,054,000 円				
事業執行額	1,022,333 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 内藤 克敏

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

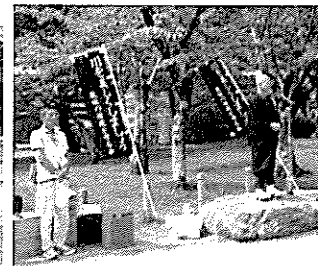
事業名	日帰りバーベキュー体験旅行		
実施日	2017年9月9日（土）		
実施場所	滋賀県立びわ湖子どもの国		
協力団体	京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部子ども家庭支援課		
参加人数	会員 13 名 →→ 会員参加率 48.1 % 市民 88 名 その他 【内訳：児童64名：引率20名：京都市1名：家族会員2名：米山奨学生1名】		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都市内の児童福祉施設8園と、毎年懇談会を重ねております。次世代を担う子供たちに健全な遊びの提供と、子供たちの健康を増進し情操を豊かにすることを目的に今回の事業もその懇談会内にて要望のありました事業の一つの企画であります。児童及び引率者と共にバスにて滋賀県立こどもの国（児童厚生施設）に出かけて児童と会員とのより親睦を図りながら秋の1日を楽しむ事業です。お昼には、児童と会員とで、手作りバーベキューパーティを開催。		
事業結果	総勢101名で、観光バス2台にわかれ「びわ湖こどもの国」へ出発！今回は手作りバーベキューパーティを行いました。「児童と共に」を今年も合言葉に、ひらがなで書いた名札を胸に名前を呼びあい友愛の握手でスタート！バーベキュー体験はもちろんの事、施設には広場やからだを使って遊ぶ遊具などもあり、集合時間いっぱいまで会員と児童が親睦できました。当日は天候にも恵まれ、素晴らしい体験ができたように思います。帰りのバスの中は疲れたのかみんな夢の中でした。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	600,000 円		
事業執行額	517,910 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 担当リーダー

氏 名 : 近藤光敏

担当委員会名 : 社会奉仕

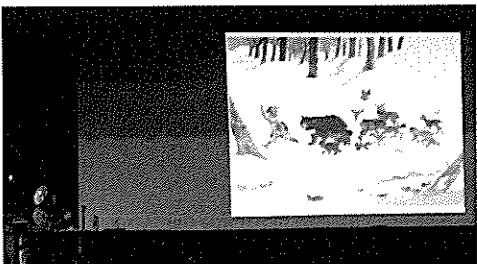
事業名	第38回大堰川幼魚放流行事・大堰川清掃奉仕		
実施日	2017年9月3日・2017年11月8日		
実施場所	渡月橋上・下流一帯の大堰川、桂川沿いの河川		
協力団体	京都西南・西北・桂川・嵯峨野R C、ライオンズクラブ、近隣幼稚園・銀行、嵐山保勝会、他		
参加人数	会員	16 名	→→ 会員参加率 40 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	嵐峡の清流を守る会主催の行事「清掃奉仕」と「幼魚放流」を行いました。 山田京都府知事にもご参加頂き、京都府をはじめ各種団体、地域の幼稚園の参加により、環境保全と河川美化を祈念し、幼魚放流と河川美化啓蒙活動を行う。		
事業結果	観光客の増えた嵐山は、ゴミの問題もあり、例会場でもある嵐山の保全に協力をした。 また、幼魚放流は雨の中大勢の参加者と共に、幼稚園児の放流に協力。生きた魚を見て触れて、その魚を放流して、すみかである川の美化の大切さを幼稚園児達に体験してもらい、また、観光客にも環境への関心も深めてもらった。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	20,000 円		
事業執行額	20,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 担当リーダー

氏 名 : 近藤光敏

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	京都西北ロータリー文庫・永田萌講演と読み聞かせ		
実施日	2018年1月22日		
実施場所	京都市嵯峨小学校		
協力団体			
参加人数	会員 6 名 → 会員参加率 15 % 市民 名 その他 生徒320名と保護者・先生 合計350名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	・毎年子ども達、学校から要望のあった本の寄贈を続けております。今年度は本の寄贈だけでなく、絵本作家である「永田 萌」先生の講演と読み聞かせを行いました。子どもの心の教育にはやはり本との出会いが大切です。子ども達の興味のある本、その年に注目を集めた本を通して、心の教育の一端の担えればと思っております。		
事業結果	・本の寄贈にとどまらず、3年生以上の生徒と保護者対象に行った「永田 萌先生の講演会と読み聞かせ」は、子ども達が楽しみにしており、お迎えの準備をされ、大変暖かくお迎え下さいました。永田先生の本の寄贈も行いましたが、図書館には永田先生のコーナーを設けられ、永田先生のお手紙を書かれておられました。美しい絵に感動したり興味を持ったり、子ども達の本へ関心を深めることができました。子どもの心の成長に本は大切な役割をしていることを改めて思いました。   		
新聞、TV等での報道			
事業予算	300,000 円		
事業執行額	300,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 担当リーダー

氏 名 : 近藤光敏

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	「私たち日本の食文化を知る」		
実施日	2018年1月27日		
実施場所	ハートピア京都		
協力団体			
参加人数	会員 27 名 →→ 会員参加率 67.5 % 市民 170 名 その他 ロータリアン10名、アクト8人		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	この事業は財団補助金を活用して行いました。 3年前の40周年事業で行った食文化への市民の関心が高く、本年度も形を変えて「京の食文化について」事業を行いました。事業内容は、門川大作京都市長、村田吉弘氏、大原千鶴氏、中東久人氏、門上武司氏、によるパネルディスカッション。		
事業結果	多くの市民より食に対する関心の高さを感じました。事業は移動例会とし、クラブ旗を掲げ、点鐘を行い、市民の皆様にもロータリーのPRも行いました。大変好評を得た事業でした。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	650,000 円		
事業執行額	794,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 担当リーダー

氏 名 : 近藤光敏

担当委員会名: 社会奉仕

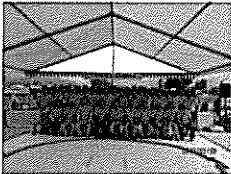
事業名	右京少年消防クラブへの寄贈		
実施日	2018年3月7日、2018年4月15日		
実施場所	翠嵐（例会場）、右京消防署		
協力団体	右京消防署		
参加人数	会員	25 名	→→ 会員参加率 42 %
	市民	70 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	・ 幼少期から団体活動、奉仕活動を学び、消防についての理解を深めてもらうため結成されている少年消防クラブへ本年度は、“デイバックと靴下” を 右京少年消防団” に寄贈する。 寄贈品を生かして、大いに活動をして頂きたい。		
事業結果			
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000 円		
事業執行額	50,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 伊藤友紀

担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	第7回嵐山こども相撲大会		
実施日	2017年7月29日		
実施場所	京都市右京区嵯峨中之島町 嵐山中之島公園 渡月橋右岸		
協力団体	講演：京都府、京都市、京都市教育委員会、嵐山保勝会 協力：京都府相撲連盟、嵯峨美術大学・短期大学、鳴滝総合支援学校		
参加人数	会員	35 名	→ 会員参加率 78 %
	市民	213 名	
	その他 選手父兄、各後援・協力団体来賓		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	小学生を対象としたこども相撲大会を実施する。日本伝統の相撲を通じて、子どもたち、保護者の皆様、地域の方々との交流を図り、。子どもたちの成長に寄与することを目的とする。   		
事業結果	小学生力士213名のほか、その父兄その他、多数の方々の参加がありました。白熱した戦いで、保護者のもとより、会員の応援にも熱が入り、大きな盛り上がりを見せました。来賓として京都府文化スポーツ部スポーツ振興課長、京都市教育委員会体育健康教育室長、京都市右京区長・西京区長、京都市教育長、嵐山保勝会会長、京都府相撲連盟会長ほか多数を迎え、取組や運営についても見聞いただき、本事業による地域貢献の実際についてもご理解いただき、継続事業としての期待も頂戴しました。事前準備として、各行政機関との調整、広報、校長会への説明、各学校への動員活動、チラシ配布、当日運営、終了後の清掃その他後仕舞に至るまですべて会員の手弁当で行い、チラシや土俵等の機材、設営費用等の費用の一切をクラブ会計から支出しています。自主事業としての価値向上を目指してこうした取組を行っており、結果として広く地域の方々との交流を深めるとともに、子どもたちの健全な育成にも寄与することができました。同時に、ロータリー活動について市民の認知・ご理解をいただくとともに、今後の当クラブの種々事業の足がかりとすることにも繋がりました。総じて、社会奉仕事業として意義深いものとする事ができたと考えています。		
新聞、TV等での報道	2017年/7/29(土) 京都新聞 夕刊		
事業予算	1,710,000 円		
事業執行額	1,673,452 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト理事

氏 名 : 林 一樹

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員長

事業名	第21回京都紫竹ロータリークラブ杯 パットゴルフ大会		
実施日	2018年5月27日 (日)		
実施場所	京都市障害者スポーツセンター		
協力団体			
参加人数	会員 12 名 → 会員参加率 35.3 %		
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	【目的】 1. 障害者スポーツの発展と施設両者の健康促進と生きがいの提供。 2. ロータリアン自らが参加する事により、障害者への理解及び障害者との親睦を図る。 【内容】 1. 障害者とロータリアンがペアを組み、前後半各9ホールをラウンド 2. 前後半各1ホールずつの特殊ホール (前半:車いすに乗っての競技、後半:目隠しをして全盲状態での競技) 3. 前半終了後に障害者スポーツ「円形ボッチャ」を全員で体験 4. 最後にボランティアの方々も交えてニアピンコンテストを開催		
事業結果	今年はクラブから、主催である京都市障害者スポーツセンターへ、「障害者の方々ともう少しふれあえる企画を」と要望したところ、前後半の間に全員で楽しめる「円形ボッチャ」を体験させてもらえた。また、恒例の特殊ホールでは、車いすで目隠しでの競技を体験。特に車いすは、その操作すらままならず、貴重な経験が出来た。このような体験を通じて、ペアを組んだ障害者の方とはよい連帯感も生まれ事業目的も達成できたと言っていると思う。今後も可能な限り、この活動を行って行きたいと感じた。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	50,000 円		
事業執行額	50,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 友金宏之

担当委員会名 : 青少年・社会・国際・職業

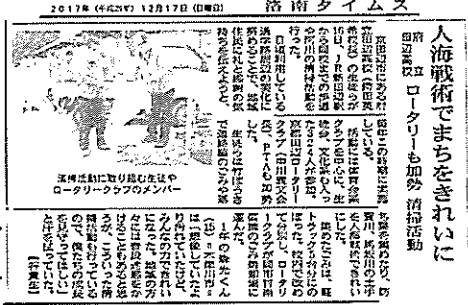
事業名	短期交換学生				
実施日	3月23日～4月3日				
実施場所	香港				
協力団体	京都市教育委員会、RC香港フィナンシャルセンター				
参加人数	会員	4	名	→→	会員参加率 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	日本における若者が海外に関心が薄くなっている昨今、2週間程度の短期ではあるが地域の学生を抜擢し、友好クラブである香港フィナンシャルRCの会員宅にホームステイを実行しながら学生に海外体験をしてもらい海外に目を向けるきっかけ作りを試みた。選考学生においては、やる気・向上心のある学生また経済的に海外に行きたくても行けない学生を厳選の上抜擢した。				
事業結果	帰国後の3名の学生の感想は、非常に貴重で素晴らしい体験をすることができたと感謝をしていたが、我々は香港に出発するまでに数回程度のガイダンスやオリエンテーションを開催し、学生達に目的・目標を明確にさせようといった事にトライをしたいか等、チャレンジ内容をはっきりさせた。これにより、学生達もより有意義な体験をすることができたと思う。朱雀RCは本年25周年を迎えましたが、25周年の式典において、学生達に体験に関するショートスピーチを行ってもらいましたが、参列者の方々から非常に良かった・感激した等のお言葉を頂きました。そして何よりも学生達の将来の夢と希望・明確なビジョンに対して貴重なプラス材料になりえた事が一番のやりがいを感じたところであります。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	円				
事業執行額	454,032 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕担当

氏 名 : 中坂 進

担当委員会名: 奉仕プロジェクト委員会

事業名	京都府立田辺高等学校との共同地域清掃活動		
実施日	2017年(平成29年)12月16日(土)		
実施場所	JR田辺駅から田辺高校までの主要道路の歩道、幹線道路、河川の土手など		
協力団体	京都府立田辺高等学校・同PTA		
参加人数	会員 12 名 → 会員参加率 60 % 市民 名 その他 田辺高等学校生徒約324人、教職員約10人、田辺高校PTA役員約10人		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	目的: 当クラブの社会奉仕事業と位置付け、京都府立田辺高校との共同事業で青少年交流の場、環境教育、地域貢献等の目的で実施をする。 事業内容: クラブ員を動員し、高校生と共に清掃活動を行った。また、ごみ焼却場の休日開場依頼及び手続き、ごみ運搬用トラックの提供、ごみ袋や軍手の支給を行った。		
事業結果	天候にも恵まれ、生徒達と共に竹ぼうきや挟み火箸で道路わきのごみや落ち葉を集めたり、2つの河川の土手を人海戦術できれいにした。 集めたごみは、一旦、田辺高校に集め、分別して軽トラック5台分をごみ焼却場に運んだ。また、共同作業を通して、高校生との交流を持つことができた。   		
新聞、TV等での報道	地元紙の洛南タイムスに掲載された。 		
事業予算	0 円		
事業執行額	0 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕担当

氏 名 : 森岡 喜美雄

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	浄瑠璃寺、岩船寺及び周辺ハイキングコースの観光活性化に向けた清掃活動と案内板の設置事業		
実施日	2018年3月14日		
実施場所	岩船寺から浄瑠璃寺		
協力団体	木津川市・観光協会・岩船寺住職・浄瑠璃寺住職		
参加人数	会員 20 名 → 会員参加率 86 %		
	市民 名		
	その他 市長、市関係者		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	岩船寺植村住職から、岩船寺の歴史及び法話ののち現地で除幕式、記念撮影 岩船寺側から、浄瑠璃寺側への清掃活動 浄瑠璃寺前、案内看板の除幕式。市長挨拶の後、目録の贈呈		
事業結果	案内看板が新しくなり、詳細で分かりやすく、見やすくなりました。観光シーズンには、多くの 方々に喜ばれています。  		
新聞、TV等での報道	京都新聞に取り上げられました。木津川市の広報へ掲載されました。		
事業予算	920,000 円		
事業執行額	920,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 福井 仁司

担当委員会名 : 社会奉仕
青少年奉仕委員会

事業名	お茶の教室		
実施日	平成30年2月8日(木曜日)		
実施場所	八幡市立八幡小学校		
協力団体	対象三年生2クラス62名		
参加人数	会員 10 名 →→ 会員参加率 35 % 市民 名 その他 父兄16名 教師7名 講師1名 京都新聞記者1名 市広報1名 教育委員会1名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都八幡ロータリークラブ奥村会長のクラブテーマ「青少年に夢と希望を」のもと子供たちに八幡の特産てん茶(特に抹茶)について親しんでもらうことを目的とする、又お茶の京都イヤーとして南部地域が盛り上がっている中、京都八幡ロータリークラブ40周年記念事業の一環として事業を展開していきたいと考えています。 内容 会長の挨拶から始まり、当日の講師宇治茶伝道師の小山茂樹様のお茶についてのお話をお聞きした後、休憩をはさんで後半抹茶の点て方のDVDを見た後、実際に抹茶を点てて和菓子を頂きながら、楽しい雰囲気の中、小学生に抹茶を体験してもらいました。		
事業結果	子供たちから楽しかったとの感想文がクラブに届きました。 		
新聞、TV等での報道	翌日京都新聞山城版に掲載		
事業予算	120,000 円		
事業執行額	60,000 円		

2017-18年度

舞鶴

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 副委員長 社会奉仕担当

氏 名 : 足立清治

担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト

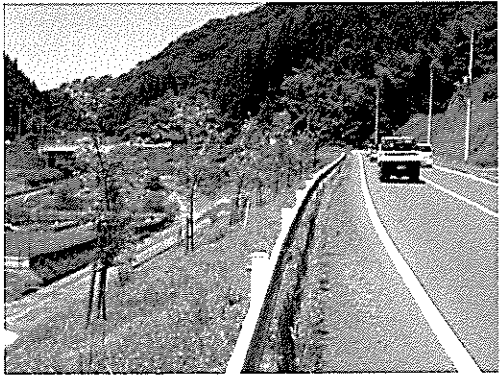
事業名	第33回 五老ヶ岳ロータリーの道 登ろう会				
実施日	平成30年5月13日 (日)				
実施場所					
協力団体					
参加人数	会員	名	→→	会員参加率	%
	市民	名			
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容					
事業結果	本年度は悪天候のため残念ながら中止になりました。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	円				
事業執行額	円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 川勝 邦夫

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

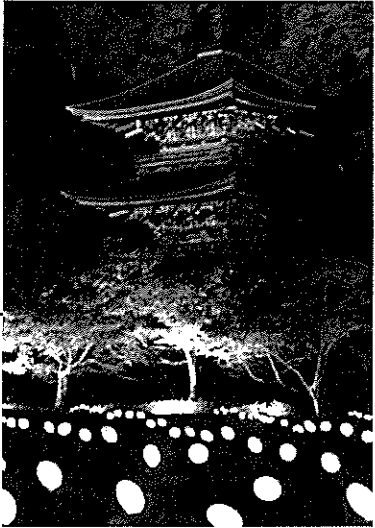
事業名	白鳥街道の桜並木整備活動		
実施日	2ヶ月毎		
実施場所	舞鶴市内 白鳥街道		
協力団体			
参加人数	会員	10 名	→→ 会員参加率 28 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	舞鶴市を東西に結ぶ幹線道路にバイパスが出来た。この斜面の環境保全と新たな景観を醸し出す目的で、排気ガスに強い山桜の植樹活動に取り組んできた。昨年で植樹は終了したので、本年度からは育成管理を継続して取り組んできた。		
事業結果	順調に生育しており、早く桜並木になることを願う 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	0 円		
事業執行額	0 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 川勝 邦夫

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	金剛院紅葉と竹灯りのとばり				
実施日	2017年11月10日～12日				
実施場所	金剛院（舞鶴市鹿原）				
協力団体	まいづる竹林整備・竹活用ネットワーク協議会				
参加人数	会員	10	名	→→	会員参加率 30 %
	市民	20	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	金剛院（真言宗東寺派の寺院）は、三島由紀夫の小説「金閣寺」の舞台である。秋には、江戸時代に細川幽斎が鶴亀の庭とともに植樹された楓が有名で多くの参拝者が訪れている。近年寺院の周辺に竹林が蔓延り、景観を乱してきた。そこで竹林整備に伴って出てくる伐採された竹の有効活用と、市民にとって新たな憩いの場づくりを目的として取り組んだ。具体的には、金剛院の三重塔と紅葉を背景にして、前庭に500本の竹灯籠を放射状に配置し夜間に点灯した。				
事業結果	「金剛院の紅葉と竹灯りのとばり」の事業は、当クラブの同好会「竹を愛でる会」が3年前より取り組んできた実績もあり、本年度からクラブの事業として取り組むことになった。近隣市民の関心の高まりもあり3日間に、昼夜延べで千名余りの方々が訪れた。今後も癒しの場として訪れてみたい名所となるよう、取り組みを継続していきたい。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	30,000 円				
事業執行額	30,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 川勝 邦夫

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	舞鶴の道ハイキング（親子で楽しむハイキング&バーベキュー）		
実施日	2018年5月20日		
実施場所	青葉山ろく公園		
協力団体	舞鶴トレイル倶楽部、まいづる肉じゃが実行委員会、BBQ協会、プラスバンドグループ		
参加人数	会員 21 名	→ 会員参加率 60 %	
	市民 61 名		
	その他 みずなぎ学園10名・舞鶴学園8名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	当クラブが開拓した舞鶴の古道や楽しい道また名所・旧跡を会員と家族、友人・知人と一緒にハイキングをして、健康維持と交流を深めることを目的としたクラブ恒例の事業である。 本年度は、ハイキング終了後バーベキュー大会を開催した。バーベキュー協会公認の正式なバーベキューの提供やプラスバンド演奏、まいづる肉じゃが実行委員会さんからは東郷元帥が食したレシピに拠る肉じゃがの提供等、いに盛り上がったひと時を過ごした。		
事業結果	クラブ員とその家族、みずなぎ学園の園生さんと先生、舞鶴学園の生徒さんと先生方、市民の方々等総勢97名の賑やかな取り組みとなった。 誰も事故もなく無事に終了できたことが、何よりの成果であった。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	30,000 円		
事業執行額	30,000 円		

2017-18年度

宮津

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 担当責任者

氏 名 : 大谷新一

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕

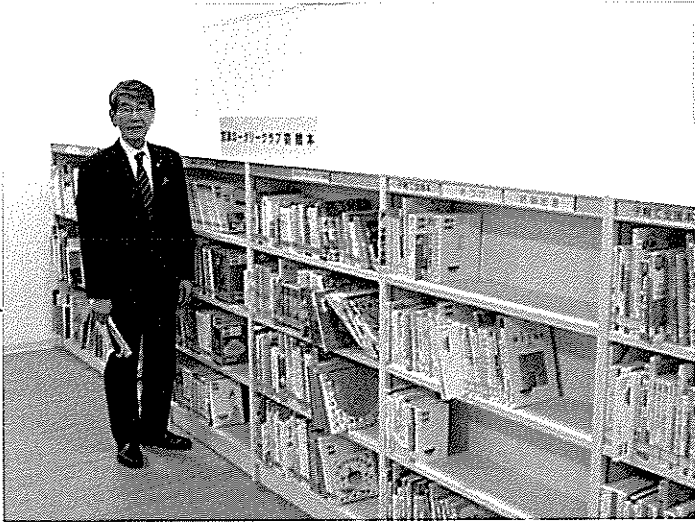
事業名	過去の植樹点検				
実施日	平成29.9.23(土)				
実施場所	与謝町「リフレかやの里」、伊根町太鼓山、他				
協力団体	なし				
参加人数	会員	2	名	→→	会員参加率 5 %
	市民		名		
	その他	元会員家族2名			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	社会奉仕委員会で、過去60数年間に植樹した樹木の点検。				
事業結果	奉仕プロジェクト委員長と2人で、6カ所を点検しました。 中でも、京都府与謝郡伊根町と京丹後市にまたがってある「太鼓山風力発電所」の植樹は失敗でした。				
新聞、TV等での報道	なし				
事業予算	0 円				
事業執行額	0 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 担当責任者

氏 名 : 大谷新一

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕

事業名	宮津市立図書館に本を寄贈する。		
実施日	平成29.11.7(火)		
実施場所	天橋立ホテル		
協力団体	宮津市、宮津市教育委員会		
参加人数	会員	26 名	→→ 会員参加率 76 %
	市民	0 名	
	その他 2名(宮津市長、宮津市教育委員会教育長)		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	宮津市立図書館は京都府内で3番目に古く、現在の建物は築45年が経過し老朽化が著しいうえ、建物も狭いため(約532㎡)、商業施設3階に移動。4000㎡の図書館として開業する。この機会に、地元ロータリークラブとして幼児や小学生向け図書を充実させ、また観光客にも広く活用いただき、地域の活性化に貢献したい。		
事業結果	平成29.11.7(火)例会に宮津市長、宮津市教育委員長をお招きし、目録を贈呈した。ロータリー財団地区補助金を利用し、幼児・小学生用図書402冊を寄贈することが出来た。平成29.11.27にオープンし、翌日に図書館見学を兼ねた例会を行った。会員26名出席。 補助金 251,439円 クラブ資金 257,079円 計508,518円 		
新聞、TV等での報道	京都新聞、産経新聞		
事業予算	251,000 円		
事業執行額	257,079 円		

2017-18年度

宮津

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 担当責任者

氏 名 : 大谷新一

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕

事業名	忘年親睦家族会での慈善鍋				
実施日	平成29. 12. 19 (火)				
実施場所	天橋立宮津ロイヤルホテル				
協力団体	なし				
参加人数	会員	30	名	→→	会員参加率 88.24 %
	市民	0	名		
	その他 会員家族46名				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	例年「忘年親睦家族会」のプログラムの中で行う。 もともとは「歳末助け合い募金」に寄付されていたが、現在は「緊急的な災害の義援金(義捐金)」支払いに充てている。				
事業結果	51,000円集まった。 九州北部豪雨災害義捐金に34,000円支出した。				
新聞、TV等での報道	なし				
事業予算	0 円				
事業執行額	0 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 担当責任者

氏 名 : 大谷新一

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕

事業名	クリーン作戦				
実施日	平成30. 4. 15 (日)				
実施場所	天橋立公園内				
協力団体	宮津市・与謝野町、京都府丹後土木事務所、宮津商工会議所、各事業所、野球教室・サークル等の団体、学生・市民、観光客、等				
参加人数	会員	5	名	→→	会員参加率 15 %
	市民	800	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	毎年春に開催の「第43回クリーンはしだて一人一坪大作戦」に参加する。				
事業結果	市民800名、会員5名参加。 松葉等約30トン等を回収。その後、回収業者により農業用肥料となります。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	0 円				
事業執行額	0 円				

2017-18年度

園部

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕

氏 名 : 柴田 勝

担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト

事業名	巣箱作り				
実施日	2017年12月16日				
実施場所	南丹市美山町				
協力団体	美山みどりの少年団				
参加人数	会員	18	名	→→ 会員参加率	86 %
	市民	27	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	青少年の育成と環境保全。巣箱を子供達との共同作業で作製、城山の頂上まで登り、巣箱を木に取付け、寒い中子供達と一緒に弁当を食べ、美山の豊かな自然環境を学びました。				
事業結果					
新聞、TV等での報道	南丹市のケーブルテレビで放映されました。				
事業予算	円				
事業執行額	49,808 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕

氏 名 : 柴田 勝

担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト

事業名	献血活動				
実施日	2017年10月26日と2018年3月7日の2回開催				
実施場所	京丹波町と瑞穂町				
協力団体	京丹波町と瑞穂町、京都府赤十字血液センター				
参加人数	会員	40	名	→→ 会員参加率	86 %
	市民	99	名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	年2回献血活動をして34年経ちましたが、高齢化で献血者が減少しています。				
事業結果					
新聞、TV等での報道	京丹波町のケーブルで放映されました。				
事業予算	円				
事業執行額	30,976 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕

氏 名 : 柴田 勝

担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト

事業名	花植替え				
実施日	2017年7月14日と2017年12月20日の2回開催				
実施場所	南丹市JR園部駅西口の広場				
協力団体	京都府立農芸高校				
参加人数	会員	18	名	→→ 会員参加率	86 %
	市民	16	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	年に2回農芸高校の生徒さんが種から育てた花の植替えを共同作業しています。				
事業結果					
新聞、TV等での報道	南丹市のケーブルテレビで放映されました。				
事業予算	円				
事業執行額	34,800 円				

2017-18年度

宇治

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 新井 和久

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	中国帰国者との交流会		
実施日	2018.5.27 (日)		
実施場所	宇治市立南宇治中学校柔剣道場		
協力団体	朋友館中国帰国子女日本語教室		
参加人数	会員 13 名	→→ 会員参加率 30 %	
	市民 70 名		
	その他 朋友館スタッフ		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	趣 旨：社会奉仕事業の一環として中国帰国子女家族との交流会 内 容：南宇治中「中文拳」演武と武術体験の披露と体験、クラブ会員によるバルーンアート、浴衣の試着体験披露、その他全員によるゲームや軽スポーツ 他		
事業結果	昼食を一緒に食べ、浴衣を着用して頂くこと等非常に喜んで頂いた。またロータリアンと仲良く遊べる事に感謝された。		
新聞、TV等での報道	地元の洛南タイムス・城南新報		
事業予算	30万円	円	
事業執行額	30万円	円	

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 高橋尚男

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	宇治福祉まつり				
実施日	2017年11月5日				
実施場所	宇治市総合福祉会館				
協力団体	宇治市社会福祉協議会				
参加人数	会員	18	名	→→	会員参加率 41 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	出店スペース1区画を確保し「茶団子」の販売をしました。会場の舞台上では会長が当クラブの30秒PRを行いました。				
事業結果	茶団子の収益金35,000円を宇治市社会福祉委員会に寄付させていただきました。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	2,000 円				
事業執行額	2,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 高橋尚男

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	ウッティー写真コンテスト		
実施日	2017年12月10日		
実施場所	宇治市観光センター		
協力団体	宇治市観光協会		
参加人数	会員 44 名 → 会員参加率 100 %		
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	3年前に人口孵化に成功したウミウのウッティーを支援し、宇治の鶴飼いの振興の一助に繋がればとの趣旨で3年度計画でウッティー支援事業をスタートさせ平成27年度事業より取り組みを始め「ウッティーを描こう」絵画コンクールを2年間実施した。そこで29年度は最後の年として企画を変え、絵画コンクールから写真コンテストに変更し、また対象者を高校生(宇治市在住・在学)にして 高校生の皆さんに写真コンテストを通じ、宇治には古来より伝統漁法の鶴飼いがあることを理解していただき、また人口孵化で誕生したウミウのウッティーへの興味も深めて頂いた。		
事業結果	応募総数80点が集まり、厳正なる審査の結果 最優秀賞1点 優秀賞2点 入選5点が選ばれ、宇治市観光センターにて表彰式を行った。尚 最優秀賞の作品は 宇治市観光協会のポスターに採用されました。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	400,000 円		
事業執行額	444,880 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 高橋尚男

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都府立宇治支援学校にお茶の苗木植栽プロジェクト				
実施日	2018年2月15日				
実施場所	京都府立宇治支援学校				
協力団体					
参加人数	会員	44	名	→→	会員参加率 100 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重	☒ 2.地域発展	☐ 3.環境保全	☐ 4.共同奉仕	☐ 5.その他
事業目的及び事業内容	宇治鳳凰ロータリークラブで以前「鳳凰茶園」を有しておりましたが、諸般の事情で3年前に閉園となりました。そこで今般 京都府のテーマ「お茶の京都」と言うことで当クラブとしても何か呼応できないかと僅かな知識経験と当クラブ会員にも茶業を営んでおられるか方々の知恵を借り、京都府立宇治支援学校の同意のもと、本校内敷地にお茶の苗木を生徒達と共に植栽する計画を立てました。茶園の土壌改良を施しお茶の苗木を植栽するに至りました。				
事業結果	支援学校の体育館において苗木贈呈の式典と校庭にて生徒の皆さんとクラブメンバーで135本の茶の苗木を植栽することが出来ました。式典では宇治市教育委員会教育長さんをはじめ7名の御来賓をお迎えし盛大に式典を終えることが出来ました。この苗木の育成の管理は、学校生徒の皆さんに依頼し、宇治市では宇治学という教科がありますように教材目的に生徒さんの役に立てれば幸いで当クラブとしては助言協力は惜しまないと考えています。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	200,000 円				
事業執行額	211,891 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕担当理事

氏 名 : 藤本潤一

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	おもてなし事業 福井駅前ガム取り大作戦		
実施日	2018年4月21日		
実施場所	福井駅前周辺		
協力団体	福井市内ロータリークラブ、福井RAC、啓新高校IAC、福井商工会議所、福井駅前商店街、旅館業組合		
参加人数	会員 53 名	→→ 会員参加率 38 %	
	市民 212 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	県外から来られる人たちに福井を美しい街と感じて頂くため、福井の玄関口である福井駅前の広場や歩道に黒くこびりついたガムを取り除くことで、街の美化を進める事業である。 特に今年は福井国体の開催が予定されており、県外からの訪問者が増えることが予想される。ロータリークラブの会員だけではなく、地域の市民団体と共に事業を行うことによって、街の美化意識とおもてなしへの意識を高めることにも貢献できる。		
事業結果	当日は晴天に恵まれたこともあり、多くの市民の参加を得られることができた。 職域単位での参加も多く、今年度で3回目を迎えるこの事業も、その目的が多く市民の賛同を得られているものと思われ、また、事業の継続を望む声も大きい。 継続的なガム取り清掃によって、主要な施設周辺や大通りのガムは目立たなくなっている。しかし、一本通りを入ると、ガムの跡が目立つ状況であり、今後は事業実施前の状況把握と、当日の人員配置が重要であると再認識した。 この事業は、市民や他の団体との交流を図る良い機会となっており、今後も眷属事業として検討して行きたい。		
新聞、TV等での報道	福井新聞、県民福井に記事掲載 NHK福井放送局、福井放送、福井テレビにてニュースとして放送		
事業予算	100,000 円		
事業執行額	171,228 円		



2017-18年度

福井あじさい

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 幹事

氏 名 : 廣瀬 充

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

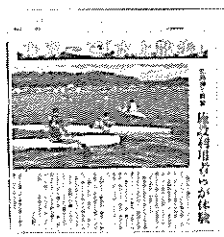
事業名	あじさいロータリークラブ杯卓球バレー大会		
実施日	2017年10月14日		
実施場所	福井市ちもり体育館		
協力団体	福井卓球バレー協会		
参加人数	会員	名	→→ 会員参加率 56 %
	市民	192 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	障がい者も健常者も大人も子供も分け隔てなく皆が楽しめるイベントを開催しようという趣旨で、ユニバーサルスポーツである卓球バレーの大会を、県内20チームを招きまたクラブから2チームが参加して開催しました。成績上位チームにはトロフィー授与等表彰を行い、参加全チームに卓球バレー用具一式を参加賞としてプレゼントし、卓球バレーの普及活動をお願いしました。		
事業結果	障がい者だけのチーム、また年配の方たちで構成されているチームなど多様なチームが出場していて、年齢や身体の障がいの有る無しに関わらず交流が生まれていました。この大会をきっかけにこれからも試合等を通じて交流が続いていくと思います。		
新聞、TV等での報道	NHKはじめ、民放2局のニュースにも取り上げてもらえたので、まだ認知度の低い卓球バレーを福井で広めるPRに多少なりとも貢献したと思われます。		
事業予算	942,184 円		
事業執行額	970,308 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 壬生照泰

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

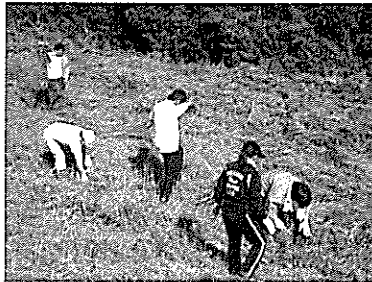
事業名	カヌーを通して心からの相互交流を促す体験教室		
実施日	2017年9月3日(日)		
実施場所	福井県あわら市北潟湖 カヌーボロコート		
協力団体	福井県カヌー協会 福井工大カヌー部 福井大学カヌー部		
参加人数	会員 16 名	→ 会員参加率 27 %	
	市民 109 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	ロータリーの原点は職業奉仕を基本とする奉仕の理想の具現化であります。屋外でのスポーツ等の機会が少ない人たちにカヌー体験教室を通じて体を動かすことの楽しさ、チャレンジ精神や判断力を養ってもらうこと。日常なかなかできないカヌー体験教室にて世代や性別の違う人との交流と深めること。		
事業結果	足羽支援センター、さくらハウス、悠々福祉会、あいの里等の入所者がふれあいを通してお互いの親睦・交流を深めました。カヌー教室後は昼食会、希望者は入浴をして頂き楽しい一日を過ごして頂きました。又、来年もやって欲しいとの声を多数頂きました。   		
新聞、TV等での報道	9月4日 日刊福井新聞掲載 		
事業予算	200,000 円		
事業執行額	297,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 壬生照泰

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

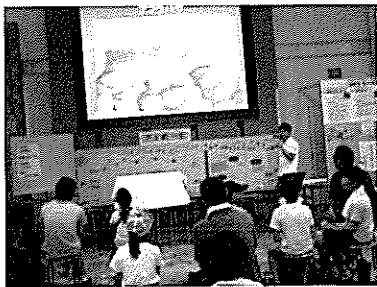
事業名	セイタカアワダチソウ駆除ボランティア		
実施日	2017年9月10日(日)		
実施場所	福井県福井市足羽川堤防左岸(花月橋駐車場周辺)		
協力団体	特定非営利活動法人 ドラゴンリバー交流会主催 市民団体・企業(15団体)約150名		
参加人数	会員	14 名	→→ 会員参加率 24 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	足羽川の水辺環境を守るため市街地を流れている足羽川の緑地などに生い茂っているセイタカアワダチソウ(在来植物をおしのけて拡大している要注意外来植物)の一斉駆除作業。		
事業結果	足羽川河原にはびこるセイタカアワダチソウはかなり伸びて、草の根が固いので草刈機やカマで刈取りました。根が固く、植物の背も高くなっていて大変でした。でも汗をかいてするのが真の奉仕活動です。皆と汗を流すことによって連帯感も生まれ、河原もきれいになるといった大変意義のある活動であると思います。今後も、継続的にやっていこうと思っています。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	3,000 円		
事業執行額	0 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 三田村 欣昭

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	九頭竜川に親しむ会				
実施日	2017年8月6日（日）				
実施場所	九頭竜川防災センター・永平寺川				
協力団体	NPO法人ドラゴンリバー交流会				
参加人数	会員	13	名	→→	会員参加率 26.5 %
	市民	35	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	<目的> 九頭竜川水系環境全の普及啓蒙 小学生までの子どもを対象に物づくり等を通し、河川に親しむとともに、河川環境について考える。 <内容> 1時間目 紙芝居とものづくり 「山からの贈り物」を見よう！ 「木で鳥の巣箱」を作ろう 2時間目 お話と永平寺川探検 「九頭竜川のサクラマス」 「永平寺川の」				
事業結果	毎年夏休みに開催している継続事業の1つです。天候にも恵まれ、家族で川の環境の大切さや生き物についても興味深く学ぶことができました。 自然の中での学びは、こどもたちも生き生きとしていました。  				
新聞、TV等での報道					
事業予算	13,000 円				
事業執行額	13,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 三田村 欣昭

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	福祉車両寄贈				
実施日	2017年8月17日 (木)				
実施場所	福井パレスホテル				
協力団体					
参加人数	会員	40	名	→→ 会員参加率	81.6 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	大きな社会問題となっている認知症介護支援の分野においては、施設への通いや自宅訪問などの「地域密着サービス」がより充実することが重要であるとの考えのもとに、奉仕の精神に基づく社会奉仕プロジェクトとして、所属会員の使用しなくなった車両を修理改造し、介護事業者に介護車両として寄贈。				
事業結果	会員が使っていた福祉車両を改装し、認知症対応のグループホームや通所介護などの事業を展開する「すのうどろっぷ」さんに寄贈しました。  				
新聞、TV等での報道	福井新聞、日刊県民福井				
事業予算	350,000 円				
事業執行額	350,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 三田村欣昭

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	福井県立盲学校付近奉仕事業				
実施日	2017年9月2日（日）				
実施場所	福井県立盲学校グラウンドと学校付近				
協力団体	福井県立盲学校				
参加人数	会員	16	名	→→	会員参加率 32 %
	市民		名		
	その他	福井県立盲学校職員			
事業分野	☐ 1.人間尊重	☒ 2.地域発展	☐ 3.環境保全	☐ 4.共同奉仕	☐ 5.その他
事業目的及び事業内容	9月16日の文化祭にあわせ、学校グラウンドと学校周辺の除草作業を実施。				
事業結果	文化祭を迎えるにあたり、福井県立盲学校の教職員の方々と学校周辺の除草作業を実施しました。この事業も継続事業であり、作業も草刈機なども活用し、効率よく作業ができ、綺麗になりました。  				
新聞、TV等での報道					
事業予算	円				
事業執行額	1,321 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 三田村欣昭
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	セイタカアワダチソウ駆除作業		
実施日	2017年9月10日（日）		
実施場所	福井市足羽川左岸 花月橋駐車場付近		
協力団体	NPO法人ドラゴンリバー交流会		
参加人数	会員 12 名 → 会員参加率 24 % 市民 約200 名 その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	外来種のセイタカアワダチソウの駆除作業		
事業結果	継続事業の一つでもあるこの事業、背丈ほど伸びている外来種のセイタカアワダチソウの駆除作業。 暑い日ですが、長袖、長ズボンで作業をし汗を流しました。 他の16団体の皆さんと、協力し作業活動に励みました。 今後も河川環境保全のために継続して活動していきたいと考えております。 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	819 円		

2017-18年度

福井東

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 三田村欣昭

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

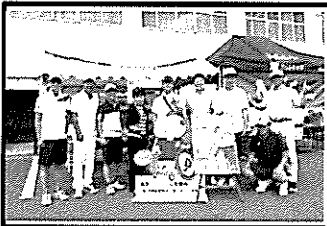
事業名	ナツメロ歌謡ショー				
実施日	2018年4月22日（日）				
実施場所	アオッサ8階県民ホール				
協力団体	福井ナツメロ愛好会				
参加人数	会員	10	名	→→	会員参加率 20 %
	市民	28	名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	地域の老人施設の方や障がいの方をご招待し、娯楽を楽しんでいただき、心身の健康維持				
事業結果	3施設より28名の施設入居者の方に参加いただきました。毎年行っており、この歌謡ショーを大変心待ちにしておられ大変嬉しいです。 				
新聞、TV等での報道					
事業予算	円				
事業執行額	37,800 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 大内聖一郎

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	車椅子テニスボランティア		
実施日	平成29年9月9日(土) 10日(日)		
実施場所	福井県鯖江市広域西番スポーツセンター 室内 室外 テニスコート		
協力団体	福井県テニス協会 (株)ネットヨタ福井 私立仁愛高校女子テニス部		
参加人数	会員 22 名 →→ 会員参加率 20 % 市民 名 その他 車椅子テニス参加者 家族 協力団体 行政関係者 他 2日間 100名余り		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	松宮会長年度の事業方針：「障害を持つ人達に対し、ロータリアンとしてどんな支援ができるか」 福井県では、2018年10月に 福井県開催で、国体・障がい者スポーツ大会が行なわれます。 そこで、当クラブの会員企業が後援、協賛されています「車椅子テニス福井オープン2017 ネットヨタ・ウエルキャブカップ」が、国体プレ競技大会となったことで、ボランティア並びに観戦応援を、最初は、当クラブテニス同好会で応援しようという流れから、「せっかくだからクラブ全員で、社会奉仕委員会…」と、声が高まりひとつの事業として実施しました。 ボランティア内容は、関係団体と協議して、大会期間(二日間)に冷たい清涼飲料水・ペットボトルの無料配布と、テニス競技中のボール拾い、車椅子テニス競技者の練習相手・テニスプレーをさせていただくことになりました。		
事業結果	2日間とも晴天に恵まれ、車椅子テニス参加者と、テニスプレーでの交流、車椅子の介助、競技中のボール拾い、飲料ペットボトル無料配布などを通じ、障害を持つ方とは思えない前向きな姿に、最後は、普通にふれあい、会話しながら、過ごせた二日間でした。 ボランティア参加者との反省会では、「ボランティアという上から目線で無く、ふれあい交流という題目に、代えないといけない」「年長いて、いつ車椅子生活になるかと思えば、車椅子生活が、普通に受けとめられる社会、習慣が大切で、例えば、トイレなども、障害のある方も、健常者も、一緒にバリアフリーとか、男性、女性を分けたバリアフリートイレ、女性に優しいパウダールーム付きなど、もっと改めて考えないと・・・」 「車椅子の方と、一緒に働いたり生活したり、汗をかくのが普通な社会と受けとめて行動できる世代である仁愛高校テニス部女性プレーヤー・ボランティアの方々をみて、素敵だなど、頼もしく感じさせていただきました」等の貴重な意見を頂戴しました。元気と、素敵な未来、社会を語る時間をいただいた二日間でした。		
新聞、TV等での報道	  地元、福井新聞 日刊福井新聞に掲載されました		
事業予算	70,000 円		
事業執行額	56,639 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 渡邊徹也

担当委員会名 : 社会奉仕

事業名	植樹 桜メンテナンス		
実施日	2018年3月11日		
実施場所	福井工業大学あわらキャンパス		
協力団体	福井県ミニバスケット連盟		
参加人数	会員 18 名 →→ 会員参加率 %		
	市民 名		
	その他 25名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	・ R財団地区補助金を活用し 昨年度R財団100周年を記念して植樹した桜の苗木100本の補修・メンテナンス作業を、福井工業大学 あわらキャンパス構内にて行いました。		
事業結果	・ 春の嵐かと思うような寒空の中 本事業に参加したミニバスケット連盟に所属するバスケットボールチームの子供・及び福井南RC会員で苗木に支柱の取り付け作業・この冬の豪雪で折れた枝の有無の確認えお行いました。 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	550,000 円		
事業執行額	550,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

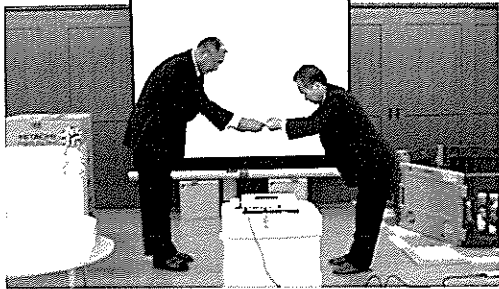
氏 名 : 渡邊徹也

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕

事業名	足羽山あじさい植樹		
実施日	2018年5月13日		
実施場所	福井市足羽山		
協力団体	福井高校IAC・福井県ミニバスケット連盟		
参加人数	会員 21 名 →→ 会員参加率 60 % 市民 名 その他 IAC8名・ミニバスケット30名 行政 6名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	・本年9月に開催される、福井国体のおもてなし事業の一環としての「花一杯運動」への協力。福井市の中央に位置し市民の憩いの場となる「足羽山」において福井市の花であるあじさい250株植樹を行いました。		
事業結果	・福井市足羽山にて あじさい250株の植樹を行いました。当日は、豪雨の中での作業となりましたが、ミニバスケット連盟に所属するバスケットボールチームの子供・福井高校IACの生徒さん・福井南RC会員・福井市行政の方々が本事業に参加して皆さん楽しんでの作業となりました。今回は土壌の関係もあり「クレナイ」と云う種類の花を多めに植樹しました。来年以降、どのようにきれいな花を咲かせてくれるかが楽しみです。 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	630,000 円		
事業執行額	600,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 委員長
氏 名 : 藤野拓三
担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕

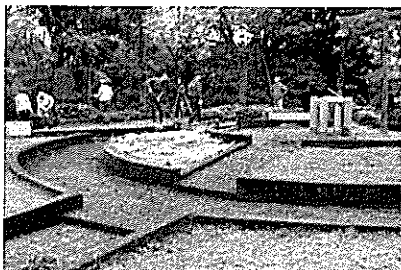
事業名	児童養護施設の児童との”心のふるさと”支援事業				
実施日	2017年11月25日(土) 13:00~15:30				
実施場所	社会福祉法人 越前市立支援協会 児童養護施設「一陽」				
協力団体	児童相談所・越前市こども子育て総合相談室				
参加人数	会員	18	名	→→	会員参加率 56 %
	市民		名		
	その他	15	名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	1) 衣食住の確保や就学などの当然の権利を守り、社会での自立を支援する。2) 子供たちが就学するのに不足している備品を贈る。3) ケアワーカー、相談員、心理職員、福井県立大学看護福祉学部の生徒、ロータリアンが参加して、パネルディスカッションを行う。				
事業結果	1) 施設職員とロータリアンが意見交換会を実施した(虐待、貧困に苦しむ子供たちへの支援体制など活発に質問、議論し、現状を理解することができた。) 2) 衣食住の確保や就学などの権利を守り、不足している備品を贈った。  				
新聞、TV等での報道	地元報道機関への周知				
事業予算	865,000 円				
事業執行額	865,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト

氏 名 : 幅田正実

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕担当

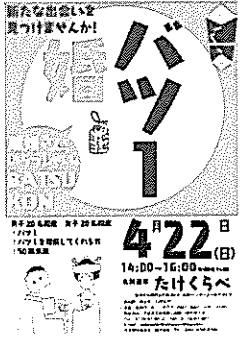
事業名	長山ロータリー公園清掃作業（早朝例会）				
実施日	2018年5月8日				
実施場所	勝山市長山公園内				
協力団体					
参加人数	会員	21	名	→→	会員参加率 77.78 %
	市民	0	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	長山ロータリー公園は勝山ロータリークラブ創立10周年を記念して整備された施設です。平成26年5月に桜の植樹や、芝桜の植栽を施し改良しました。毎年、除草、肥料やりなどの作業を行っています。本年も草刈り機や剪定機を持参し清掃作業を実施しました。				
事業結果	21名のメンバーが1時間ほど汗を流し、公園はきれいにしました。  				
新聞、TV等での報道					
事業予算	3,000 円				
事業執行額	3,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 道木 宏昌

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

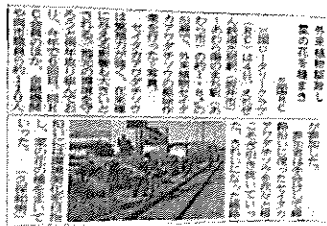
事業名	バツ1 婚活事業		
実施日	2018年4月22日		
実施場所	丸岡 たけくらべ温泉		
協力団体	なし		
参加人数	会員 12 名	→→ 会員参加率 40 %	
	市民 45 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	近年、婚活パーティー、婚活相談所、婚活サイトなど、婚活についてよく耳にしますが、離婚経験者のみを対象とした婚活パーティなどは、聞いたことがありません。そこで、離婚経験者対象に、出会いの場を提供することを目的とします。参加対象者は、50歳未満としました。チラシに加え、福井新聞の記事・福井県総合政策部が運営している結婚応援ポータルサイト「婚活かふえ」・坂井市広報・無料宅配情報雑誌・丸岡RCのホームページで、イベントの広報および参加者募集をしたところ、60名以上の募集がありました 		
事業結果	男性25名・女性20名の参加者があり、1対1の自己紹介（2分間ずつ）その後、軽食をとりながら、気になる相手とお話するフリータイムを設けました。その間、第一印象カードや、アプローチカードに相手の番号を記入してもらい、ロータリアンがそのカードを仲介する役目をしました。最終的に「お付き合いお願いカード」を提出してもらい、カップルのマッチングをしました。カップル成立は6組でした。参加者からは、年を重ねてからの婚活イベント、また離婚経験者向けのイベントが他にはなく、大変好評でした。アンケートではまた機会があれば参加したい、バツ1婚というネーミングがよくないとの指摘もありました。次年度につなげていければと思います。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	190,000 円		
事業執行額	247,871 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 森岡 正巳

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

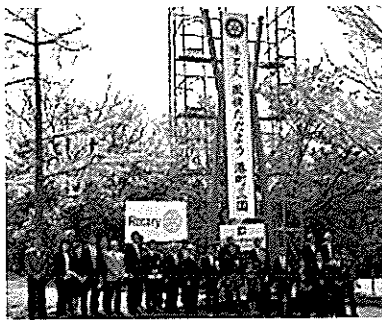
事業名	第6回セイタカアワダチソウ駆除事業		
実施日	2017年10月15日		
実施場所	えちぜん鉄道沿線（あわら湯のまち駅→水居駅）		
協力団体	坂井市役所、あわら市役所、三国・芦原・金津青年会議所、三国町スポーツ協会、えち鉄利用促進会、福井銀行、北陸銀行、福井信用金庫、福邦銀行他		
参加人数	会員	21 名	→→ 会員参加率 72.4 %
	市民	100 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	北アメリカ原産の外来種「セイタカアワダチソウ」は繁殖力が強く根から他の植物の発育を妨げる物質を分泌するため、生息域内の在来植物は破壊的打撃を受けてしまい、そのままの状態にしておくことは、環境の悪化に拍車をかける事になる。環境美化活動を推進する当クラブでは、ボランティアの協力をいただき、えちぜん鉄道沿線の「セイタカアワダチソウ」の駆除事業を継続的に実施する。		
事業結果	10月15日 日曜日の早朝より当クラブ会員と多数のボランティア参加のもと、えちぜん鉄道沿線のセイタカアワダチソウの駆除作業を行った。例年、参加団体ごとに区域を定めて作業を割り当てて実施してきたが、今年からは 各団体の交流を深めることも目的とし、全員で取り組んだ。作業中は、他の団体員との交流も随所に見受けられ有意義な活動になった。  		
新聞、TV等での報道	福井新聞、日刊県民福井新聞		
事業予算	45,000 円		
事業執行額	42,648 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 森岡 正巳

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	観光標語塔完成と除幕式				
実施日	2018年4月22日				
実施場所	坂井市三国町米ヶ脇地籍 交差点				
協力団体	坂井市役所 三国町観光協会				
参加人数	会員	16	名	→→	会員参加率 55.2 %
	市民	9	名		
	その他	1			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容 昭和55年、同所に設置された「交通安全広告塔」は38年経過して損傷もひどくなったことから、強風で倒壊する恐れもあり、補修する必要から事業化として取り組んだ。塔は「交通安全標語塔」であったが、新たに「観光標語塔」として補修することとなり、2月、3月に一般から募集した標語から厳選し、最優秀作品「味と人 風情ただよ 港町三国」を掲げ、観光広告塔として観光地東尋坊の近くに建設す津ことができた。					
事業結果 県内随一の観光地東尋坊に通ずる観光道路に設置された「観光標語塔」は観光地東尋坊を表わす、素晴らしい標語「味と人 風情ただよ 港町三国」で道行く観光客の注目を引くことは確実であり、今年本県で開催される国民体育大会や2年後の東京オリンピックで三国町東尋坊を訪ねる観光客に注目される広告塔となること必至である。					
 					
新聞、TV等での報道 福井新聞、日刊県民福井新聞					
事業予算	1,000,000 円				
事業執行額	970,154 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 長谷川敦俊

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕・環境保全

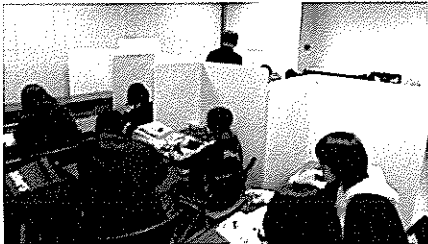
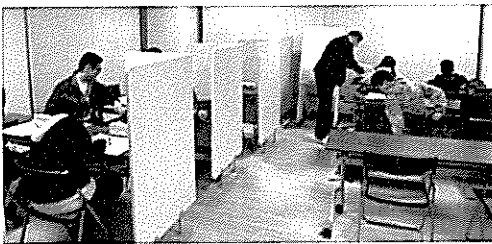
事業名	第9回正津・大野ロータリーカップ				
実施日	平成29年10月14日(土)・15日(日)				
実施場所	大野市 奥越ふれあい公園野球場				
協力団体	主管: 大野市軟式野球連盟				
参加人数	会員	12	名	→→ 会員参加率	30 %
	市民	100	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	ロータリーの精神の一つである社会に貢献する奉仕活動として、次代を担う子供達に少年野球を通じて、大野市出身の元プロ野球選手「正津英志 投手」の功績を称え、「目標を持って努力する大切さ」を知ってもらうために、第9回「正津・大野ロータリーカップ」を開催する。				
事業結果	参加6チームによるトーナメント戦(全7試合)にて行われました。今年度優勝は「上庄野球スポーツ少年団」でした。今回は、正津英志さんご本人が、開会式に、バッターとして始球式に登場されました。出場する選手たちは皆、あこがれの選手を目の前で見て、話を聞いて、目をキラキラとさせていました。優勝、準優勝、3位、敢闘賞には、大野ロータリークラブから、表彰状と盾が、最優秀選手賞(MVP)には、正津英志さんから記念品としてバットとバットケースが贈られました。あわせて、参加賞として、全チームに公式ボールが1ダースが、贈られました。				
新聞、TV等での報道	福井新聞に掲載(10/17付)				
事業予算	200,000 円				
事業執行額	121,850 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 田中 大成

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「B to F(Before to Future)」支援を求める子供たちのための無料支援塾開設事業				
実施日	2017年11月～				
実施場所	越前市内にある野尻医院内「みんなの食堂」				
協力団体	みんなの食堂実行委員会				
参加人数	会員	40	名	→→ 会員参加率	70 %
	市民	20	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容					
◆一人親世帯や非正規労働者の増加といった社会状況が続き、経済格差が底辺で広がる中、様々な形で子供の貧困が大きな社会問題となり、これに伴う教育格差の在り方も課題となっている。併せて不登校や精神面で課題のある子供も、地域社会で多く見受けられるようになってきている。 ◆こうした子供たちへの支援の一環として越前市内で平成28年4月より取り組まれている、様々な困難を抱えた子供やお年寄りの居場所づくりである『みんなの食堂』事業と連携し、参加してくる子供たちを対象として、教員経験者等による『無料学習支援塾』を開設し、将来への成長を促し地域社会の安定をめざす。					
事業結果					
貧困や障害・不登校など、こども期における生活環境の悪化の改善を目的に平成28年4月より越前市内で取り組まれている『みんなの食堂』事業において、教員経験者等による「無料学習支援塾」を開設し、支援を求めるこどもへの教育支援を実施することで、子供たちの将来への成長を促すため、不登校や精神面で課題のある子供たちへの支援を市内野尻医院内にある「みんなの食堂」で事業を実施した。					
 					
新聞、TV等での報道					
平成29年12月23日の福井新聞に掲載					
事業予算	1,216,248 円				
事業執行額	1,075,947 円				

2017-18年度

武生府中

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 村上 宗和

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

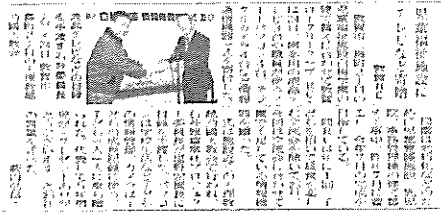
事業名	しくら賞授与式・児童養護施設「一陽」への寄贈		
実施日	11月18日（土）	11月2日（木）	3月22日（木）
実施場所	武生商工会館	南越特別支援学校にて	農協会館にて
協力団体	紫式部顕彰会・武生R C・武生L C・武生セントラルL C		
参加人数	会員 20 名 →→ 会員参加率 77 % 市民 名 その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	・しくら賞 5団体が開催するしくら賞授与式に参加 武生府中ロータリークラブ賞を設けてある ・児童養護施設一陽の各ホームに必需品を寄贈した		
事業結果	しくら賞授与式に関しては、小学校・中学校の最高学年の優秀な人を表彰しています。また、児童養護施設への寄贈品は、それぞれ学校が必要としている品物を寄贈し、非常に喜ばれた。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	4,000,000 円		
事業執行額	323,243 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長

氏 名 : 石井雅章

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕担当

事業名	社会福祉法人「白梅学園」への情報機器類の贈呈と交流会		
実施日	2018年2月24日		
実施場所	敦賀市内 社会福祉法人「白梅学園」		
協力団体			
参加人数	会員 8 名	→→ 会員参加率 27 %	
	市民 47 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	社会福祉法人「白梅学園」は、さまざまな事情で親と一緒に暮らせない用事、児童などの子供たちを養育しています。今年度、白梅学園は老朽化した施設の建て替えで棟数が4つに増え、ひとつのファミリーのような形で生活を送っています。このため、地区補助金を活用して、各棟にテレビ及びDVD機器等の情報機器を贈呈することとし、その贈呈式と子供たちとの交流会を実施しました。		
事業結果	贈呈した機器は、各部屋にテレビ、DVD、パソコン、プリンター等です。当日は、子供たちの他、学園の園長さんはじめ職員さん等併せて47名の皆さんと、子供たち一人ひとりに小さなプレゼントを渡したり、お昼に8つのテーブルに分かれて昼食（すき焼き）を食べ、子供たちと楽しく過ごしました。子供たちは、プレゼントやすき焼きなどに笑顔を見せ、はしゃぎまわる子供もたくさんおり、実施してよかったと思える活動になりました。		
	 		
新聞、TV等での報道	当日は、福井新聞の取材を受け、翌日の新聞に贈呈式の様子などが掲載されました。 		
事業予算	899,000 円		
事業執行額	905,109 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 多田伸一郎

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

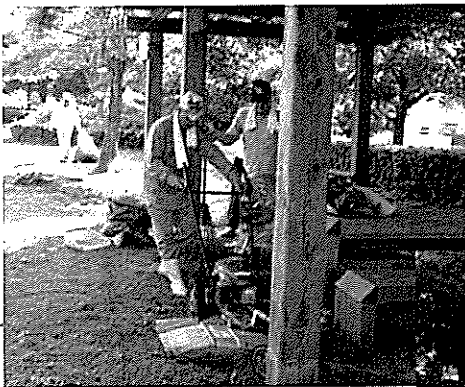
事業名	障害者支援施設「やまびこ園」へ備品の寄贈と、同施設の行事開催支援事業を行う。		
実施日	平成29年8月26日(土)		
実施場所	敦賀市社会福祉事業団「やまびこ園」パティオ(屋外)		
協力団体	なし		
参加人数	会員 15 名 → 会員参加率 83.33 % 市民 41 名 その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
地区財団補助金を活用。 ア)入所者(年齢23歳～70歳)の各テーブルに、ロータリアンが焼きあげた肉等をその都度配る。 イ)障害者の対応等については事前に園長から教示をいただき、話しかけ対応する。 ウ)カラオケ好きな人も多いとの事で、会場にて弾き語り(約70分間)を行う。皆が口ずさめる楽しい時間にする。 エ)備品贈呈(スポットクーラー、プロジェクタースクリーン)、施設内での作業説明・受託作業の効率向上。			
			
事業結果			
日常、入所障害者は家族からも見放されがちであり、又一般社会にも馴染めない障害者とロータリアンとのBBQによるふれあいにより、ファミリー的な会話が少しでもできれば、その日だけでも楽しい1日になった。 最後には、入所者からロータリークラブに対して感謝の意を表す言葉もあり、明日に向け活力も養われた。			
			
新聞、TV等での報道			
・ 福井新聞 (2017/8/27)			
事業予算	533,211 円		
事業執行額	533,211 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 多田伸一郎

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	櫛川河川公園清掃奉仕作業		
実施日	平成30年5月27日(日)		
実施場所	櫛川河川公園		
協力団体	井の口川を美しくする会		
参加人数	会員 10 名	→→ 会員参加率 55.56 %	
	市民 10 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	清掃活動を通じて、地域の方々にRCを認知して頂き、積極的に参加して、汗をかいて親睦を深めることで、より一層奉仕の心を磨き充実させていこうと思います。  		
事業結果	継続事業である井ノ口川河川公園清掃作業を「井ノ口川を美しくする会」の皆さんと実施しました。天候にも恵まれ、公園及び河川敷の雑草撤去、ごみ等の清掃、全員汗をかき充実した作業ができたように思います。 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	20,000 円		
事業執行額	13,440 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会・職業奉仕委員長

氏 名 : 中嶋雄三

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	歳末防犯・防火に対する慰労と激励会				
実施日	平成29年年12月12日（火）午後2時から各30分				
実施場所	小浜警察署 若狭消防署				
協力団体	単独事業				
参加人数	会員	3	名	→→	会員参加率 12 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	○警察署……署長に目録進呈、幹部数名と面談 ・歳末の防犯活動に対し、慰労の意を込めて夜間食100人分を寄贈 ・年末の特別警戒に対して注力していただきたい旨をお願い ○消防署……署長に目録進呈、署員25名に対して激励会 ・歳末の防火・防災活動に対し、慰労の意を込めて夜間食100人分を寄贈 ・消防本部講堂において全員整列の上、激励会を実施。会長激励挨拶、署長謝辞等				
事業結果					
新聞、TV等での報道	○地域のケーブルテレビ（チャンネル0）により消防署での寄贈、激励の様子が放映された。何回も放映されたことにより、クラブの社会奉仕活動内容の広報周知を図ることができた。				
事業予算	40,000 円				
事業執行額	37,662 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会・職業奉仕委員長

氏 名 : 中嶋雄三

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	クリーンアップ大作戦		
実施日	平成30年6月3日（日）		
実施場所	小浜白鳥海岸付近		
協力団体	小浜市観光協会		
参加人数	会員	6 名	→→ 会員参加率 24 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	福井県下また小浜市がおこなう「クリーンアップ大作戦」に、クラブとして今年も参加しました。空き缶、ペットボトルのキャップ、使い捨てライター等のゴミを拾い、清掃作業を実施しました。例年に比べてゴミが少なくなっているように思いました。今年度も若狭小浜の海水浴を楽しむきっかけになったと思います。		
事業結果	 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	円		
事業執行額	円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 坪谷 康宏

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	八幡祭り出店（射的）		
実施日	2017年 8月 5、6日		
実施場所	近江八幡警察署跡地		
協力団体	青年会議所OB「八幡青年経営者会」		
参加人数	会員 19 名 → 会員参加率 44 % 市民 不明 名 その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
今年度から地域振興を目的とした「八幡祭り」を青年会議所OBが主催。協力要請により出店を計画。地域の伝統芸能や総踊り最近の子供が経験の無い「射的」を行い収益を地域の「こども食堂」に寄付することを目的に事業を実施した。好天と懐かしさも手伝って子供のみならず大人のお客様も多く、RCブース前は長蛇の列がで2日目の祭り終了1時間前には準備した景品も無くなり大盛況に終わった。			
事業結果			
600人強の集客があり総売上は122,450円となり後日「はちまん食堂」「スエばあちゃん食堂」（NPO法人主催のこども食堂）の2件にそれぞれ61,225円ずつ寄付致しました。			
			
新聞、TV等での報道			
八幡祭り実行委員会の要請で地元ケーブルTV「ZTV」にて放映されました。			
事業予算	120,000 円		
事業執行額	112,390 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 坪谷 康宏

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	希望の光「光のキャンバス」設置事業		
実施日	2017年11月25日		
実施場所	JR近江八幡駅北口駅前		
協力団体	滋賀県立八幡工業高校・ヴォーリズ学園インターアクトクラブ・障害者支援施設きぬがさ作業所		
参加人数	会員	39 名	→→ 会員参加率 85 %
	市民	不明 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	希望の光「光のキャンバス」のテーマの下、駅前に光のモニュメントやイルミネーションを設置し近江八幡市への貢献、ロータリークラブと協力団体のPRを兼ねた「希望の光」として市民ないし観光客に「癒し」の場を提供することを目的に事業を実施した。事業内容としては、モニュメントの作成、太陽光、再生エネルギーを活用することにより工業高校の学生の実習成果の発表の場であり、きぬがさ作業所の障害者の方にはモニュメントに電飾を装飾して頂きました。当日は学生達とRCメンバーの共同作業により駅前にモニュメント、太陽光パネル、バイオエネルギーの発電機の設置、イルミネーションによる装飾を実施し、夕刻よりインターアクトクラブ吹奏楽部による演奏と併せ、多数の観衆、聴衆のもと、盛大に点灯式を実施しました。		
事業結果	事業の楽しさと当事者であった事も理由でしょうが次年度はヴォーリズ学園インターアクトクラブで主催し当クラブは後援、後方支援（申請等）を実施する運びとなりました。地元ケーブルテレビ、新聞報道も功を奏し次年度以降も継続を要望するご意見を多数、伺っております。次年度も沢山の団体と共同作業できるよう協力して参ります。		
			
新聞、TV等での報道	地元ケーブルテレビ「ZTV」にて放映、複数の新聞社にて取材、掲載されました。  中日新聞 (2017. 11. 28)		
事業予算	1,050,000 円		
事業執行額	1,032,141 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 武藤久

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

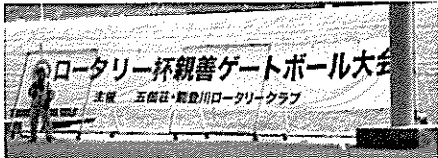
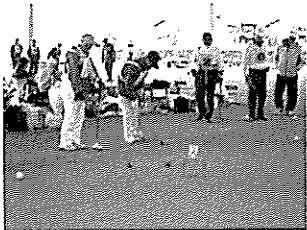
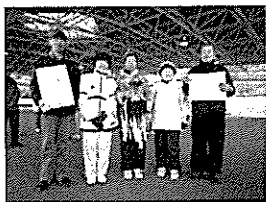
事業名	びわ湖清掃				
実施日	2017年7月4日				
実施場所	琵琶湖岸（東近江市栗見新田・栗見出在家地先）				
協力団体					
参加人数	会員	13	名	→→	会員参加率 65 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	環境保全運動として東近江市が主催の「びわ湖を美しくする運動」に参加しています。各種団体の皆さん、ボランティアの皆さんと共に、身近な環境の保全活動として、琵琶湖岸のゴミ拾いをしました。				
事業結果	ゴミ拾いを通して、ゴミの多さに驚き、反省と自然の大切さを痛感した。 				
新聞、TV等での報道					
事業予算	0 円				
事業執行額	0 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 武藤久

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

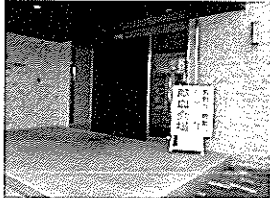
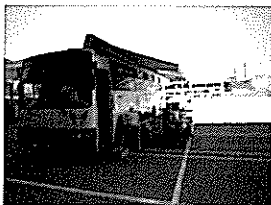
事業名	ポリオ撲滅キャンペーン ローター杯親善ゲートボール大会				
実施日	2018年3月20日				
実施場所	東近江市やわらぎの郷公園屋根付コート				
協力団体	東近江市能登川ゲートボール連盟				
参加人数	会員	12	名	→→	会員参加率 60 %
	市民	71	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	東近江市五個荘地区・能登川地区のゲートボール愛好家に集まっていただき、ゲートボールを通じて健康維持と交流を深めていただくために開催しています。 参加者には、ポリオ撲滅のために募金をしていただきました。				
事業結果	寒い一日でしたが、元気いっぱい熱戦が繰り広げられました。 参加者から頂いたポリオ撲滅への寄付金は、ポリオ・プラスへ送金しました。（寄付金額 16,120 円）   				
新聞、TV等での報道					
事業予算	50,000 円				
事業執行額	50,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 武藤久

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血運動		
実施日	2018年6月4日		
実施場所	ホテルアズイン東近江能登川駅前		
協力団体	ホテルアズイン東近江能登川駅前		
参加人数	会員	15 名	→→ 会員参加率 71 %
	市民	65 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	創立当初からの継続事業です。 輸血を必要とする人は、高齢化社会が進みますますます増えています。そんな中、少しでもお役にたてるように献血運動を続けています。 400ml限定の献血を開催しました。 献血に来ていただいた方には、粗品を渡しました。		
事業結果	新聞広告のお陰なのか、午前の部には大変多くの方に来ていただき、一時は献血車の前に列が出来ました。お待たせした方には大変申し訳なく感じました。 受付総数 65名 ≪ 400ml献血 54名 ・ 不採血者数 11名 ≫   		
新聞、TV等での報道	五個荘・能登川地区の自治会にチラシの回覧をお願いした。また、新聞取扱店にチラシの折り込みを依頼し、昨年よりもチラシの量を増やしました。		
事業予算	20,000 円		
事業執行額	まだ確定していません 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト理事

氏 名 : 今村 康博

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	希望の光110プロジェクト		
実施日	2017年11月10日		
実施場所	滋賀県立盲学校		
協力団体	滋賀県立盲学校PTA、滋賀県立盲学校OB会、彦根市立城南小学校、ひこね文化デザインフォーラム、彦根エコーオーケストラ		
参加人数	会員 42 名	→→ 会員参加率 67 %	
	市民 238 名		
	その他 報道陣 8名(7社) 出演者 5名 外部スタッフ 12名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	創立110周年を迎える滋賀県立盲学校の歴史と業績を称え、視覚障害者に対しまだまだ低い社会の理解度・認知度を高める。 1. 創立110周年を迎える滋賀県立盲学校の歴史と業績を称え、年度を通して支援する。 2. 同校出身者でパラリンピック3大会出場し見事メダリストに輝いた木村敬一選手(水泳)の障害を克服し希望に満ち溢れた講演会を開く。 3. 視覚障害を抱えながらも研ぎ澄まされた聴覚を持った生徒とプロ演奏者との生演奏競演を行う。 4. 生徒とロータリアンによる盲導犬の体験交流会を開く。 5. 記念式典において記念品贈呈と記念植樹を行う。		
事業結果	①: 記念品(拡大読書器)の贈呈を行う。 ②: 同校出身でパラリンピック・メダリストの木村敬一選手(水泳)に「パラリンピックから学んだもの」と題した記念講演をしていただき、自身の生い立ちからロンドン・リオでのメダル獲得まで、そして次の東京への抱負を通して「やりきること」の大切さを語っていただく。 ③: 関西盲導犬協会の岡本講師とブライト号に活動支援金を贈呈し、活動のご紹介をしていただく。 ④: 盲学校音楽部と彦根エコーオーケストラによる演奏会を行う。 ⑤: 創立110周年の記念として「ハナミズキ」を植樹する。      		
新聞、TV等での報道	TV: 11月10日 びわ湖放送「キラりん滋賀」 新聞: 11月11日 近江同盟新聞・毎日新聞・京都新聞・朝日新聞 11月12日 中日新聞 11月15日 滋賀彦根新聞		
事業予算	1,000,000 円		
事業執行額	920,000 円		

2017-18年度

湖南

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 星 清美

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	湖南省夏まつり				
実施日	平成29年8月5日（土）				
実施場所	野洲川親水公園				
協力団体	湖南省 他 90 団体				
参加人数	会員 27 名 →→ 会員参加率 66 % 市民 約5000 名 その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	湖南省夏まつりにおいてロータリークラブとして参加し、ロータリー活動への理解の場とします。ポリオに対する理解と募金活動を行いました。物品販売（生ビール、コロッケ、ヨーヨー釣り）を行いました。				
事業結果	今年の会長テーマ「ほんまもんの奉仕をしよう！」に合う奉仕活動で会員一丸となりました。				
新聞、TV等での報道	ありません				
事業予算	409,000 円				
事業執行額	247,278 円				

2017-18年度

湖南

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 星 清美

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	じゅらくの里梅木改修				
実施日	平成30年2月5日 (月)				
実施場所	じゅらくの里				
協力団体	松花園				
参加人数	会員	1	名	→→	会員参加率 %
	市民	0	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	公園の環境整備。姉妹ロータリークラブ台北より寄贈していただいた、梅木の剪定をおこないました。				
事業結果	梅木2本は枯れていましたので処分しました。あと4本は剪定しました。				
新聞、TV等での報道	ありません				
事業予算	98,280 円				
事業執行額	88,560 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 星 清美

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

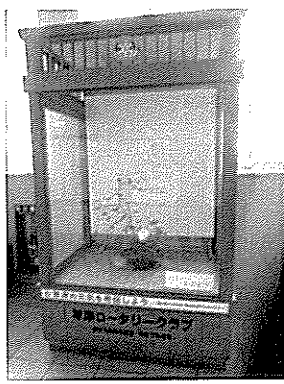
事業名	三雲駅前時計塔寄贈				
実施日	平成30年5月24日（木）				
実施場所	JR三雲駅前				
協力団体	湖南市				
参加人数	会員	19	名	→→	会員参加率 45 %
	市民	0	名		
	その他	70名			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	湖南市の玄関になるJR三雲駅南口新設に伴い29期伊地知会長の「時間を大切にしてほしい」思いを込めて時計塔を寄贈しました。				
事業結果	平成30年5月24日木曜日 時計塔除幕式実施しました。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	1,244,160 円				
事業執行額	1,192,140 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 高瀬 照雄

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	フラワーボックスの生花提供事業		
実施日	通年		
実施場所	J R 草津駅・J R 南草津駅		
協力団体	草津市花道協会 光泉中学・高等学校		
参加人数	会員 名 →→ 会員参加率 %		
	市民 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	J R 駅利用者に対して、季節感や憩いの場を提供することを目的として、草津駅、南草津駅のコンコースにフラワーボックスを設置。草津市花道協会及び光泉中学・高等学校の協力のもと、生花の展示を行う。		
事業結果	混雑する駅の中で、オアシス的な存在として利用していただいています。  JR草津駅  JR南草津駅		
新聞、TV等での報道			
事業予算	100,000 円		
事業執行額	100,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
氏 名 : 黒 田 軒 史
担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	甲賀の歴史出前授業		
実施日	2018年（平成30年）3月13日（火） 13:55～14:40		
実施場所	甲賀市立伴谷小学校		
協力団体	甲賀市観光協会 甲賀市立伴谷小学校 県立水口東高校演劇部		
参加人数	会員 24 名 → 会員参加率 71 % 市民 名 その他 伴谷小学校6年生児童74名 教師5名 甲賀市観光協会2名 報道関係者2名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	甲賀市の歴史には「甲賀流忍者発祥の地」「東海道50番目の宿場町（水口宿）」と言う歴史的背景がある。甲賀流忍者・水口宿に着目し、地元高校の演劇部とコラボした「甲賀歴史演劇プロジェクト」を設立し、演劇のシナリオは地元忍者村の有識者に依頼した。甲賀流忍者の活躍と水口宿の歴史に基づいてシナリオ化したいろんなイベントで演劇で披露したり、DVD化して甲賀市内の小中学校で出前授業を行った。		
事業結果	2017～2018年度ロータリー財団補助金事業の一環として甲賀市立伴谷小学校の6年生児童74名を対象に「甲賀の歴史出前授業」を実施した。進行役はロータリアンと甲賀市観光協会PR大使が務め、ゆるキャラのにんじゃえもんも登場した。クイズやビデオ鑑賞を通して甲賀忍者についてわかりやすく学習を進めた。ビデオは当クラブと県立水口東高校演劇部が制作したもので、本能寺の変で織田信長が討たれた後、徳川家康が甲賀忍者の助けを得て堺から岡崎に逃げ帰った「神君伊賀越え」などを学んだ。甲賀忍者の故郷、甲賀の歴史を学んでもらういい授業になった。		
新聞、TV等での報道	ロータリーの友6月号 ロータリーアットワークのコーナーに掲載された。 中日新聞に掲載された。 ケーブルテレビで放映された。		
事業予算	1,000,000 円		
事業執行額	1,076,676 円		

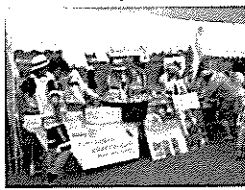


社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 岩 崎 元 英

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

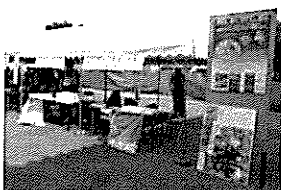
事業名	第36回野洲川冒険大会～いかだくんだり～		
実施日	2017年7月2日		
実施場所	新庄大橋上流から幸浜大橋上流まで		
協力団体	野洲川冒険大会実行委員会他		
参加人数	会員	17 名	→→ 会員参加率 49 %
	市民	380 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	野洲川冒険大会は、野洲川冒険大会実行委員会が主催し、守山市の社会教育事業の一環として、下記のことを目的として開催しています。 (1)地域社会における大人と子どもの協働の機会、親子のふれあいの機会を創出する。 (2)ものをつくる喜びや仲間とともにやり遂げる喜びを感じる機会とする。 (3)野洲川に親しみ、河川愛護の気持ちや環境について考えるきっかけとする。 (4)郷土守山の自然のすばらしさについて学ぶ機会とする。 		
事業結果	去る7月2日（日）に実施しました第36回野洲川冒険大会～いかだくんだり～は、「みんなでつくろう・みんなでくたろう・さぁ体験だ！」をテーマに、野洲川中洲親水公園を閉会式場に、新庄大橋上流から幸浜大橋上流まで、76艇、約380人の参加者が約2.1キロのいかだくんだりを楽しむことができました。ゴール地点では、カヌー体験・水鉄砲づくり・プールなどのイベントや多くの模擬店を開催しました。守山ロータリークラブは、社会奉仕委員会と青少年奉仕委員会の共同事業と位置付け、かき氷の模擬店の他、エコキャップ回収時にRIのポリオ撲滅のパンフレットと共に記念品として蛍光ペンを配布し、また、子供たちを対象にアンケートも行いました。本年は、13kg（211円）のエコキャップを回収することができました。   		
新聞、TV等での報道	NHK、びわこ放送、京都新聞他多くの報道機関が協賛し来場しました。 びわこ放送：事業報告 		
事業予算	40,000 円		
事業執行額	19,500 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 岩 崎 元 英

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	第14回もりやま環境フェア2017		
実施日	2017年10月1日		
実施場所	守山環境センター		
協力団体	守山市環境フェア実行委員会 守山市 他39団体		
参加人数	会員	18 名	→→ 会員参加率 47 %
	市民	7,000 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	守山市では運転開始後33年目を迎え、老朽化が著しい環境センターの更新を喫緊かつ最重要の課題として取り組む中で、環境センターの重要性と状況を市民の皆様に認識して頂く場として今年14回目となる「もりやま環境フェア2017」を開催しました。今年度は『はちめよう私から CO2CO2 (コツコツ)削減 ゴミ減量!』をテーマに掲げ、安全・安心・住み良いまちづくりを目指し、一人がゴミ問題や様々な環境問題に対しての理解を深め、日頃の生活様式を見直し、新たな行動に移す機会となることを願い、関係団体が協力して開催しました。また、守山ロータリークラブは、「ポリオ撲滅への挑戦!」と題し、ペットボトルキャップを集めるとともに、エコキャップ860個でワクチン1人分になることをRIのポリオ撲滅パンフレットと記念品と一緒に配布し、啓蒙に努めました。		
事業結果	環境関連団体・企業等による出展ブースでは、展示コーナー19団体・体験コーナー11団体・模擬店コーナー9団体がイベントを最後まで盛り上げました。また、そっぽさんによるリサイクルエコマジックショーやストラックアウト、市内中学校による吹奏楽演奏などもあり、約7,000人という多くの市民が参加しました。 守山ロータリークラブは、記念品として蛍光ペンを用意し、エコキャップ回収時にRIのポリオ撲滅のパンフレットと共に配布し、広く啓蒙に努めた結果、回収したエコキャップは70kg (1,134円)と年を追うごとに市民に認知されてきていると実感しました。   		
新聞、TV等での報道	開催予告：毎日新聞 エフエム滋賀 市広報 市フェイスブック 開催報告：守山市民新聞		
事業予算	60,000 円		
事業執行額	60,377 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 国友 隆房

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「湖北長浜1000人献血運動」事業協賛		
実施日	2017年8月27日		
実施場所	西友長浜楽市店駐車場		
協力団体			
参加人数	会員	名	→→ 会員参加率 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	平成元年発足以来、20年以上献血・啓発活動を行っている運動に長浜ロータリークラブとして支援・協力する。		
事業結果	本年29回目となる献血運動に協賛。全献血受付173名（採決139名）より協力があつた。飲食模擬店や体験ブースなどのイベントにも多くの方が来場され、献血思想の普及に有意義な催しとなった。		
新聞、TV等での報道	地元新聞に掲載される。		
事業予算	50,000 円		
事業執行額	50,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 国友 隆房

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	第69回長浜市美術展覧会後援		
実施日	平成29年9月2日(土)～9月17日(日)		
実施場所	長浜市文化芸術会館 展示室		
協力団体			
参加人数	会員	名	→→ 会員参加率 %
	市民	名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団より、地域社会に於ける文化事業発展の後援依頼を受け、美術展覧会に長浜ロータリークラブとして受賞者に盾を贈呈し、文化事業発展の一助とします。		
事業結果	特選入選者に長浜ロータリークラブ賞として、賞状と盾を贈呈した。 表彰式 平成29年9月16日(土) (長浜文化芸術会館) 表彰者 写真の部 作品名 「フェイス」 小杉 末男様		
新聞、TV等での報道	地元新聞に掲載される。		
事業予算	5,000 円		
事業執行額	2,370 円		

2017-18年度

長浜

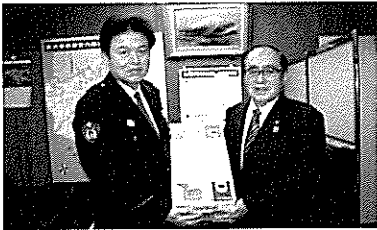
ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 国友 隆房

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

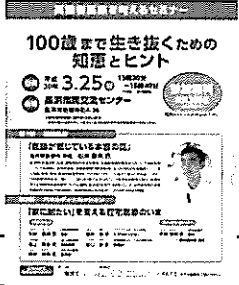
事業名	長浜警察署年末特別警戒慰問				
実施日	2017年12月5日				
実施場所	長浜警察署				
協力団体					
参加人数	会員	名	→→	会員参加率	%
	市民	名			
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	年末特別警戒中の長浜警察署を訪問し、慰問品を渡し寒中見舞いを行った。あわせてロータリークラブの公共イメージの向上をはかる。				
事業結果	会長、幹事、社会奉仕委員長、公共イメージ委員長、会報・記録委員長が参加。慰問品は携帯用カイロ、栄養ドリンク。  				
新聞、TV等での報道	地元新聞に写真入りで掲載される。				
事業予算	20,000 円				
事業執行額	19,156 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 大依 和義

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

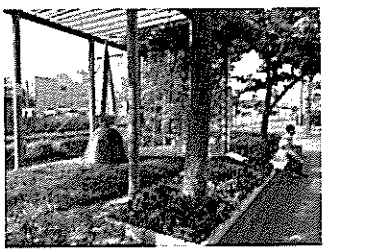
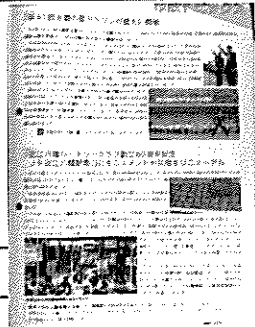
事業名	高齢者医療を考えるセミナー「100歳まで生き抜くための知恵とヒント」		
実施日	平成30年3月25日(日) 13時30分～15時40分		
実施場所	長浜市民交流センター		
協力団体	共催/長浜市 後援/湖北医師会、湖北歯科医師会、湖北薬剤師会、市立長浜病院、長浜赤十字病院、長浜市立湖北病院、長浜市社会福祉協議会ほか		
参加人数	会員 25 名	→→ 会員参加率 41.6 %	
	市民 148 名		
	その他 長浜市役所職員(スタッフ) 5名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	高齢者が最後まで自分らしく生き抜くために、医療体制の現状を知り、これからの生き方に活かしてもらうことを目的として、一部では、地域医療に精通した地元診療所の医師を迎え、医師が感じる本音の話として講演をしていただきました。二部では、さらに歯科医や薬剤師、看護師にケアマネも交えて、各分野の考え方や連携についてパネルディスカッションを行ない、会場から質問を受け付けるなどして、トータル約二時間にわたり高齢者医療について、より身近な問題として真剣に考えていただきました。		
事業結果	高齢者の方々の老後の、主に医療面に関する不安や悩みは多く、特に長浜のような地方では、施設の不足に加え、地域との繋がりを失う不安感から、慣れ親しんだ自宅で最後まで過ごす事を希望される方も多くおられます。そんな在宅ケアにも注目される中で企画した今回のセミナーは、用意した席が全て埋まるほどの盛況ぶり、熱心にメモを取ったり、真剣な様子で聞き入る来場者の姿が印象的で、その関心度の高さがうかがえる結果となりました。アンケートからも定期の開催を希望する意見も多く、我がクラブでは、今後も地域社会に役立つセミナーの開催を続けていきたいと考えています。  		
新聞、TV等での報道	滋賀夕刊 ＜長浜・東浅井共通版＞  市内各所 ポスター掲示 		
事業予算	258,000 円		
事業執行額	284,725 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 松村 務

担当委員会名 : 社会奉仕・青少年奉仕・
職業奉仕合同

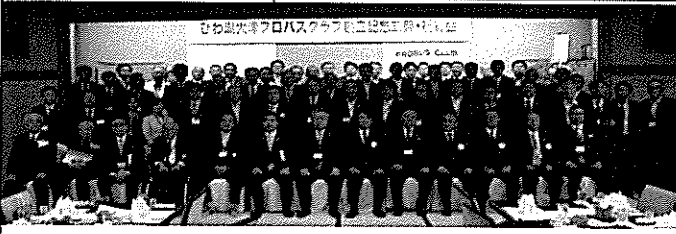
事業名	むべなるかな大地の恵みプロジェクト		
実施日	2017年11月11日		
実施場所	J R 近江八幡駅南口花壇、前出農園、奥津嶋神社		
協力団体	近江八幡市緑の少年団、近江八幡子ども観光大使、むさっこ食堂、近江八幡市		
参加人数	会員	35 名	→→ 会員参加率 81.4 %
	市民	68 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	「近江八幡緑の少年団」は25年前から近江八幡RCが活動支援してきている。J R 近江八幡駅南口のムベ棚花壇は緑の少年団と近江八幡RCが管理作業を毎年行ってきた。徐々に整備してきたため公共の場にある花壇としては統一性と存在感が乏しいものになっていた。近江八幡RCが先導し、「緑の少年団」と「子ども観光大使」が近江八幡市の玄関口にふさわしい花壇とモニュメントを整備し、「むべ」を観光資源としてPRし、来訪者、利用者に先人の歴史と文化の香りを届ける。①J R 近江八幡駅利用者の憩いの場所提供 ②バスを待つ人たちにベンチの提供 ③近江八幡市緑の少年団の活動支援と緑化推進 ④ムベをきっかけにした地域おこし活動の支援		
事業結果	彫刻家深田充夫氏(滋賀県在住)に制作依頼した「むべなるかな大地の恵みオブジェ」が設置でき、その周囲を、緑の少年団とロータリアンが花壇整備や花植えに汗を流した。オブジェの前に設置された木製ベンチはバスを待つ人に好評で、緑と文化の薫る近江八幡市の玄関にふさわしい花壇にリニューアルできた。除幕式の後、花壇のムベだんで収穫したムベを携え、ムベを栽培されている前出農園やムベを皇室献上されている奥津嶋神社を訪れ、学習したことの発表を子供たちにしてもらった。   		
新聞、TV等での報道	近江八幡市広報12月号の表紙と2ページ目に事業が大きく取り上げられた。他、読売新聞、滋賀報知新聞等で紹介される。  		
事業予算	2,230,000 円		
事業執行額	2,454,081 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 理事

氏 名 : 藤井節治

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	びわ湖大津プロバスクラブ創立																										
実施日	2017年7月1日～2018年6月2日																										
実施場所	例会場及び事務局は大津市 会員対象は主に滋賀県全域																										
協力団体	全日本プロバス協議会、奈良プロバスクラブ、京都プロバスクラブ																										
参加人数	会員 33 名 → 会員参加率 29 % 市民 名 その他 県内RC23名、地区RC5名、びわ湖大津PC26名、その他PC15名、県知事1名																										
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他																										
事業目的及び事業内容	国民4人に1人が高齢者という現状の上に目前には国民3人に1人の割合で65歳以上の方々が存在するという我々が今までに経験したことのない社会を迎えようとしております。 一線で活躍された方々が今後社会の中で、いかに生活し、どのように社会と関わりをもっていくかということを考えることは、大へん有意義なことだと思います。趣味や現役時代の知識、経験、技能といった専門分野を生かしたり、仲間との楽しい会話、社会への奉仕活動など、我々自身の手で実践してみたいと思います。このような現状を鑑み2017-18年度、社会奉仕事業の一環として、びわ湖大津プロバスクラブ設立を提唱し、健康な身体で奉仕活動を実践することにより社会の負担にならないよう公助、共助、自助の自助にあたる部分を社会奉仕活動の中で体験するフィールドづくりをプロバスクラブに求め、「びわ湖大津プロバスクラブ」の設立を実現する。																										
事業結果	クラブ名称 びわ湖大津プロバスクラブ 提唱クラブ 大津ロータリークラブ（国際ロータリー第2650地区） 準備会設立 平成30年3月17日（土） 創立総会 平成30年6月2日（土） 例会日 毎月1回（第3木曜日）17:00～18:00（18:00～食事の時間） 例会場 ホテルテトラ大津、京都（プエルタ大津会議室） 滋賀県大津市逢坂1-1-1 電話 077-527-6711 事務局 大津市堂1丁目12-15 会 計 西村かずみ 宅 電話/FAX 077-549-0546 入会金 10,000円 年会費 10,000円 例会費 2,500円（食事無しの場合1,000円）会則 有り <table border="0"> <tr> <td>会 長（理事・役員）</td> <td>笹田 昌孝</td> <td>プログラム委員会（理事）</td> <td>芦田 重信（兼務）</td> </tr> <tr> <td>副会長（理事・役員）</td> <td>橋本 俊和</td> <td>親睦交流委員会（理事）</td> <td>佐藤 良治</td> </tr> <tr> <td>副会長（理事・役員）</td> <td>小田 修</td> <td>知的研修委員会（理事）</td> <td>北原 達正</td> </tr> <tr> <td>幹 事（理事・役員）</td> <td>香川 晃一</td> <td>社会奉仕委員会（理事）</td> <td>山田 実</td> </tr> <tr> <td>会 計（理事・役員）</td> <td>西村 かずみ</td> <td>会報・広報委員会（理事）</td> <td>香川 晃一（兼務）</td> </tr> <tr> <td>会場監督（理事・役員）</td> <td>芦田 重信</td> <td>創立会員数</td> <td>合計30名</td> </tr> </table>			会 長（理事・役員）	笹田 昌孝	プログラム委員会（理事）	芦田 重信（兼務）	副会長（理事・役員）	橋本 俊和	親睦交流委員会（理事）	佐藤 良治	副会長（理事・役員）	小田 修	知的研修委員会（理事）	北原 達正	幹 事（理事・役員）	香川 晃一	社会奉仕委員会（理事）	山田 実	会 計（理事・役員）	西村 かずみ	会報・広報委員会（理事）	香川 晃一（兼務）	会場監督（理事・役員）	芦田 重信	創立会員数	合計30名
会 長（理事・役員）	笹田 昌孝	プログラム委員会（理事）	芦田 重信（兼務）																								
副会長（理事・役員）	橋本 俊和	親睦交流委員会（理事）	佐藤 良治																								
副会長（理事・役員）	小田 修	知的研修委員会（理事）	北原 達正																								
幹 事（理事・役員）	香川 晃一	社会奉仕委員会（理事）	山田 実																								
会 計（理事・役員）	西村 かずみ	会報・広報委員会（理事）	香川 晃一（兼務）																								
会場監督（理事・役員）	芦田 重信	創立会員数	合計30名																								
  																											
事業予算	266,315 円																										
事業執行額	266,315 円																										

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 永味義國

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	行方不明者捜索システムの検証実験パートⅡ		
実施日	平成29年11月25日(土)		
実施場所	膳所城跡公園		
協力団体	大津市・社会福祉協議会		
参加人数	会員 24 名	→→ 会員参加率	%
	市民 150 名		
	その他 13名 (マスコミ、大津市、その他)		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	目的 ビーコンによる捜索の実証実験を行いながら、地域住民がその場で参加・見学できる訓練として実施する事で、子ども・障がい者・高齢者、これから益々増えるであろう認知症のある方に対しても地域ぐるみで「声掛け」「見守り」ができ、安心して暮らせる地域づくりに活かすため。 内容 『捜索システム』 ビーコン装着の行方不明者が、アプリが起動されたスマートフォン等に近づくと、その情報(位置、時間)が探知され、本部(みつけてnet)に伝達される。本部では、この情報を地図及びデータで確認し、ビーコン装着の行方不明者の位置情報をフェースブック等で更新し発信していく。捜索者は、この位置情報を確認しながら行方不明者を捜索する。		
事業結果	・子供：ビーコンによる位置特定が早かったことと、歩く範囲が狭いことから、捜索開始後すぐに発見された。 ・高齢者：最初の発見は捜索開始後8分で、2人目は14分で見つかった。その後の毎分のように探知はされた。 ・管理画面では5分毎にしか表示されない様に設定しているので $52分 \div 5分 = 10回$ $56分 \div 5分 = 9回$ $60分 \div 5分 = 12回$ 合計31回検知された ※実際には5分以内の探知が有るので、5倍以上は有ると思われる		
新聞、TV等での報道	ロータリーボイス、ロータリー月信 朝日新聞、毎日新聞、中日新聞、京都新聞、BBC TV		
事業予算	1,100,000 円		
事業執行額	1,083,119 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 吉田 錦一郎

担当委員会名 : 社会奉仕委員長

事業名	大津東ロータリーカップ バウンドテニス親善交流会		
実施日	2017年10月15日		
実施場所	瀬田公園体育館		
協力団体	滋賀県バウンドテニス協会 大津市バウンドテニス協会		
参加人数	会員	16 名	→→ 会員参加率 70 %
	市民	80 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	高齢化社会になり、若い世代からご年配まで楽しめて健康維持に繋がっていただきたくバウンドテニスの大会を開催する。 バウンドテニスは、広いスペースがなくても楽しむことができ、しかも十分な運動量が得られるスポーツとして考案されたものです。 今、人々のスポーツの楽しみ方は多種多様で、競技に選手として参加する、観戦する、習う、指導する、大会運営に参加するなど幅広くなっています。 そして、このような、スポーツ活動を通じての素晴らしい出会いと新たなコミュニケーションは、人生に潤いを与え、私たちの生活に欠かせない大切な要素として、大きな役割を果たしています。		
事業結果	AM9:20から開会式 一般市民80名に参加いただきチーム別(10チーム)内、バウンドテニスの経験に応じ、2グループに分けてBTラリー戦・ダブル戦・サバイバル戦を競っていただきました。また、当日は体験コートも設け初めての方にもご指導いただきました。PM4:00閉会式 成績発表・表彰。 参加されている年齢は、30～80代までおられ、大会を通じてコミュニケーションを交わされて、汗を流されていました。 参加者の皆様より感謝の言葉をいただき、素晴らしい大会となりました。 参加者の皆様、大会運営の皆様、RCメンバーの皆様の協力に感謝します。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	200,000 円		
事業執行額	130,000 円		

2017-18年度

大津西

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

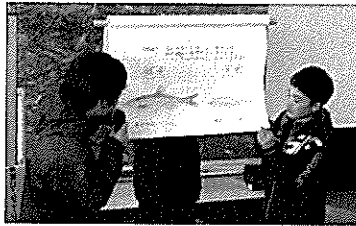
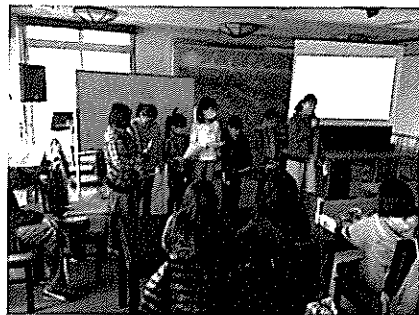
氏 名 : 西村 征二

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	仰木西公園ロータリーの森清掃活動				
実施日	2018年4月19日（木）				
実施場所	大津市仰木の里				
協力団体	(株)大津衛生社				
参加人数	会員	14	名	→→	会員参加率 70 %
	市民		名		
	その他	3名			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	仰木西公園内のロータリーの森の落葉やゴミ等を清掃をする事によって公園を整備する。				
事業結果	(株)大津衛生社さんの協力のもと公園内の落葉やゴミ等を会員みんなで拾い集め無償で処分する事が出来ました。				
新聞、TV等での報道	特になし				
事業予算	0 円				
事業執行額	0 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕・環境保全委員長
 氏 名 : 望月良雄
 担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕・環境保全委員会

事業名	「ワタカ放流事業」				
実施日	2018年2月3日（土）				
実施場所	マイアミランド				
協力団体	栗東市教育委員会				
参加人数	会員	25	名	→→ 会員参加率	50 %
	市民	名			
	その他	小学5年生児童・保護者			50名 講師1名
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	本事業は、5か年(2015～219)計画で実施しているものである。活動内容は、ワタカ飼育のための水槽、水槽置台等の飼育器具等一式を毎年2～3小学校に贈呈する。そして、贈呈校には、ワタカ稚魚150匹程度を贈呈し、環境委員会等の中で継続的な飼育活動と観察による学習を展開してもらい、15cm程度の大くなった時期に、子ども・親・教員と当クラブ員による琵琶湖畔へ放流と活動報告会および講話をする「ワタカ放流活動」を実施している。なお本事業は2014-2015ロータリー財団地区補助金を受けて開始している。				
事業結果	昨年度、ワタカを寄贈した大室 小学校、大宝東小学校、大宝西小学校児童、保護者、先生とともにワタカ放流事業を移動例会として実施致しました。晴天に恵まれ、多数の方のご参加を頂きました。   				
新聞、TV等での報道	朝日新聞に掲載される。				
事業予算	400,000 円				
事業執行額	200,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 岸田 皓介

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	安曇川堤防桜並木清掃活動				
実施日	2018. 3. 28				
実施場所	安曇川町十八川河川敷ロータリー桜並木				
協力団体	岸田建設				
参加人数	会員	33	名	→→	会員参加率 63.5 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	高島市にある安曇川常安橋南詰めの堤防に30年前に高島ロータリークラブが植えたソメイヨシノの桜27本が大きくなり毎年春には市民を喜ばせてくれます。その堤防の掃除を清掃し、環境美化に努めるものです。				
事業結果	ロータリー会員（ゴミ拾い・草刈り等） 又、業者の方にゴミの集配、雑木の伐採、廃棄処分等の活動を行い環境美化また保全となりました。				
新聞、TV等での報道	特になし				
事業予算	80,000 円				
事業執行額	71,040 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕副委員長

氏 名 : 松沢 松治

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

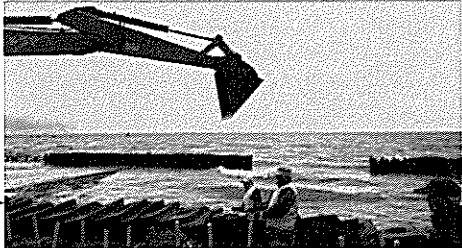
事業名	環境学習会		
実施日	2017年7月6日		
実施場所	中主小学校		
協力団体	中主小学校、びわ湖の水と地域と環境を守る会		
参加人数	会員 10 名 → 会員参加率 25 %		
	市民 5 名		
	その他 中主小学校 5 年生児童130名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	継続事業として、地元小学校の5年生の子どもたちにびわ湖の環境学習として、朝9時より中主小学校でヨシの苗を一人1ポットずつを植えていただきました。これを小学校の池で秋まで育てていただきます。 		
事業結果	一年の事業のスタートとなる事業で、子どもたちに興味を持ってもらえるように努めた結果、皆さん興味深く取り組んでくれたように思います。学校の教職員の皆さんも大変協力的でした。  		
事業予算	0 円		
事業執行額	他団体より	20000	円

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕副委員長

氏 名 : 松沢 松治

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

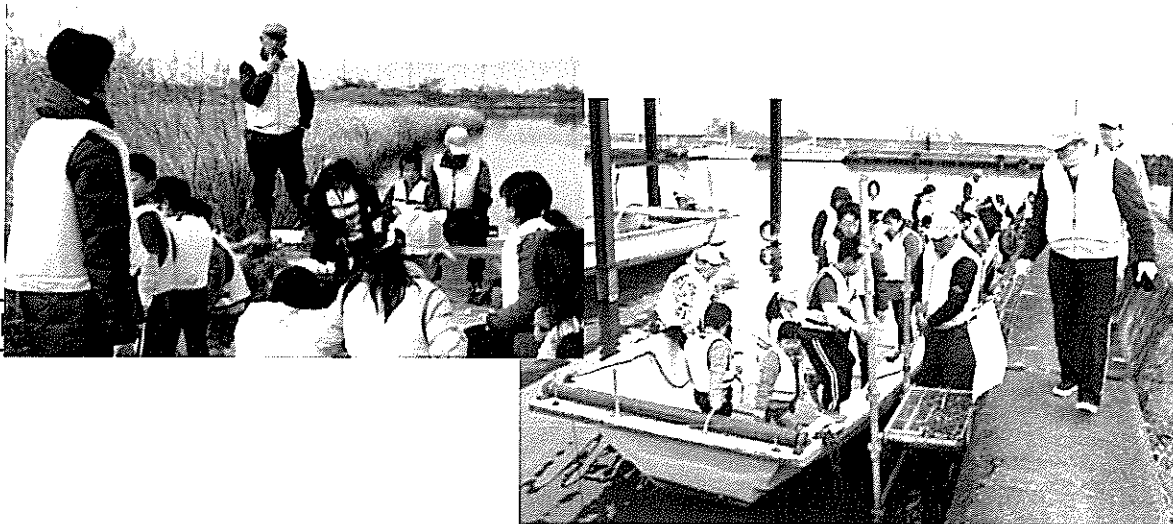
事業名	みんなでヨシ帯をふやそう		
実施日	2017年11月11日		
実施場所	あやめ浜から家棟川		
協力団体	びわ湖野水と地域と環境を守る会、中主漁業協同組合、水環境機構		
参加人数	会員 8 名 →→ 会員参加率 20 % 市民 198 名 その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	多くの琵琶湖湖岸のヨシ帯がなくなり、ヨシの再生を行うものです。 マット苗119枚、ポット苗1005個を湖岸に植え付けました。  		
事業結果	現在までに、あやめ浜から家棟川から河口にかけてのヨシ帯の約6割が再生できた。 この結果、多くの魚たちの生息場所となる。  		
新聞、TV等での	 		
事業予算	626,180 円		
事業執行額	616,180 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕副委員長

氏 名 : 松沢 松治

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	びわ湖の自然体験学習クルーズ 1		
実施日	2017年11月26日		
実施場所	あやめ漁港から家棟川		
協力団体	中主漁業協同組合		
参加人数	会員	14 名	→→ 会員参加率 35 %
	市民	15 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	地元子どもさんを中心に、チラシやHPで広く募集をしびわ湖の自然体験学習クルーズ 1 を実施。あやめ漁港に集合し、社会奉仕・松沢副委員長の漁船で家棟川での自然観察を行いました。小学生が保護者同伴で参加をいただいた。 		
事業結果	身近にあるびわ湖を、普段とは違う角度から、その生態について学んでいただいた。また次回も開催することとした。 		
事業予算	29,000 円		
事業執行額	29,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕副委員長

氏 名 : 松沢 松治

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	あやめ浜 ヨシ植え事業		
実施日	2017年11月30日		
実施場所	あやめ浜		
協力団体	中主小学校		
参加人数	会員 17 名 → 会員参加率 43 % 市民 名 その他 小学生（5年生、引率教員含む）131名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	中主小学校5年生の児童と引率教員の参加をいただき、子どもたちが7月に1ポットずつ植えて、小学校の池で育てたヨシ苗を、全員で浜に増えました。  		
事業結果	7自分たちの手でヨシ苗の再生にかかわれたことが、子どもたちにとっては、大きな環境学習になったと思います。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	0 円		
事業執行額	0 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕副委員長

氏 名 : 松沢 松治

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

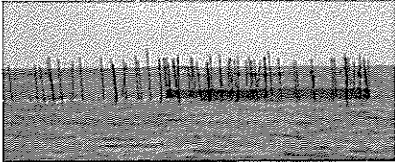
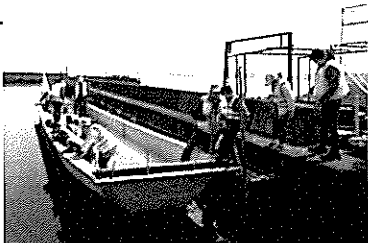
事業名	漁民の森づくり		
実施日	2018年3月10日		
実施場所	大篠原の里山		
協力団体	大篠原森林生産協同組合		
参加人数	会員 4 名	→→ 会員参加率 10 %	
	市民 219 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	びわ湖を守るには、先ず山からきれいにしていこうと、地域の方々と力を合わせ、里山への植樹を行いました。  		
事業結果	今年度は姉妹クラブ交流の行事と重なり、参加が少なかったが、毎年続けている事業を切れ目なく行う事ができ、一定の成果を出せたのではないかと思います。  		
新聞、TV等での報道	びわ湖放送、京都新聞など		
事業予算	203,882 円		
事業執行額	203,882 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕副委員長

氏 名 : 松沢 松治

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

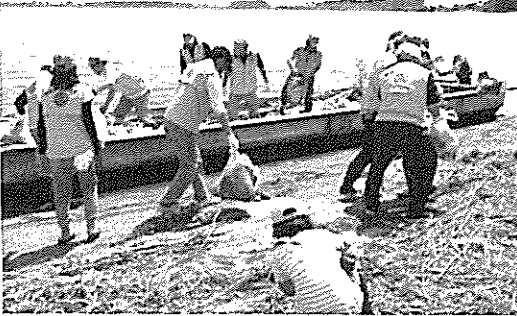
事業名	びわ湖の自然体験クルーズ 2				
実施日	2018年3月25日				
実施場所	あやめ漁港から家棟川				
協力団体	中主漁業協同組合				
参加人数	会員	13	名	→→	会員参加率 33 %
	市民	17	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	11月に続いての体験クルーズ 2。あやめ漁港に集合し、今回も社会奉仕・松沢副委員長の漁船で家棟川にて刺し網漁の体験学習を行いました。えりにも訪れ、子どもたちは松沢副委員長より色々な漁の方法について、詳しく説明を受けました。   				
事業結果	今回は漁の方法まで学び、皆、興味深く話を聞いている様で、琵琶湖の自然観察が出来たのではないかと思います。2回のクルーズの体験を通じて、びわ湖への愛着が強まり、環境保護への意識を持った大人へと育ってくれるのではないかと思います。      				
事業予算	45,000 円				
事業執行額	45,000 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕副委員長

氏 名 : 松沢 松治

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	ごみゼロ大作戦		
実施日	2018年5月27日		
実施場所	あやめ浜周辺		
協力団体			
参加人数	会員 19 名 →→ 会員参加率 47 % 市民 約820 名 その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	全県的に毎年行われている事業ですが、野洲市が行っている地域のごみゼロ大作戦にクラブとして参加。ごみゼロを目指し、地域の方々と汗を流しました。 		
事業結果	他団体と協力しながら作業をすることで交流も深まり、野洲RCがヨシを植えているエリアの清掃もできて、大変良かったと思います。     		
事業予算	0 円		
事業執行額	0 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 高木 一正

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

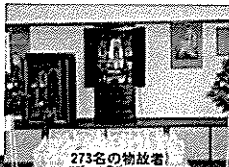
事業名	グリーンふくろう基金 報告会と授賞式														
実施日	2018年3月28日…報告会 2018年5月23日…授与式														
実施場所	八日市商工会議所														
協力団体	無し														
参加人数	会員	41 名	→→ 会員参加率 89.13 %												
	市民	12 名													
	その他														
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他														
事業目的及び事業内容	創立15周年記念事業として設置した「太陽光発電」による売電収益を毎年30万円を限度に地域で奉仕をされている個人・団体の方々に当クラブの社会奉仕の一環として授与しております。昨年度授与された5団体の皆様には、3月28日に例会にて事業等の報告を行って頂きました。今年も2月から3月にかけて募集活動を行い、4月に選考委員会を開催し、授与の決定を致しました。														
事業結果	5月23日例会にて「グリーンふくろう基金」授与式を開催致しました。今年度は12団体への授与。参加頂いた代表者12名の方々に「グリーンふくろう基金」の設立趣旨を説明し理解を深めて頂きました。又、受賞された皆様には、日頃の活動内容をお話して頂きました。 第7回グリーンふくろう基金受賞団体 <table border="0"> <tr> <td>①きぬがさ山「里山に親しむ会」</td> <td>②孫子食堂宮の平</td> </tr> <tr> <td>③朗読 スイトピー</td> <td>④ぼっふ八日市</td> </tr> <tr> <td>⑤ワークスペース喜福</td> <td>⑥建部地区まちづくり協議会</td> </tr> <tr> <td>⑦子どもカフェあおぞら</td> <td>⑧おてんとさん</td> </tr> <tr> <td>⑨ルピナスさんの会</td> <td>⑩地球ハートヴィレッジ</td> </tr> <tr> <td>⑪NPO法人スーブル</td> <td>⑫麦わら帽子</td> </tr> </table>			①きぬがさ山「里山に親しむ会」	②孫子食堂宮の平	③朗読 スイトピー	④ぼっふ八日市	⑤ワークスペース喜福	⑥建部地区まちづくり協議会	⑦子どもカフェあおぞら	⑧おてんとさん	⑨ルピナスさんの会	⑩地球ハートヴィレッジ	⑪NPO法人スーブル	⑫麦わら帽子
①きぬがさ山「里山に親しむ会」	②孫子食堂宮の平														
③朗読 スイトピー	④ぼっふ八日市														
⑤ワークスペース喜福	⑥建部地区まちづくり協議会														
⑦子どもカフェあおぞら	⑧おてんとさん														
⑨ルピナスさんの会	⑩地球ハートヴィレッジ														
⑪NPO法人スーブル	⑫麦わら帽子														
新聞、TV等での報道															
事業予算	300,000 円														
事業執行額	300,000 円														

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 宮倉 靖幸

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	花咲寮慰問事業		
実施日	2017年7月26日		
実施場所	五條市 養護老人ホーム 花咲寮		
協力団体	五條市安心福祉部 養護老人ホーム花咲寮		
参加人数	会員 16 名 → 会員参加率 50 % 市民 50 名 その他 花咲寮の職員の皆様約15名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	養護老人ホーム花咲寮は、「経済的な理由」または「環境上の理由」により在宅での生活が困難な高齢者のための入所施設で、入所されている方が「自立して生活できる」「社会復帰できる」ことを目指し支援しています。当クラブでは①物故者の奉養と②入寮されている高齢者の皆様に楽しんでいただけるアトラクションの実施を約50年に渡り毎年行っております。本年はアトラクションとして演歌歌手の美咲ゆうこさんをお迎えし楽しいひとときを過ごしました。		
事業結果	・物故者法要はしめやかに執り行いました。またアトラクションでは高齢者の皆様も大盛り上がりで楽しいひとときを過ごしました。    		
新聞、TV等での報道	今回は特にございませんでした。		
事業予算	150,000 円		
事業執行額	135,000 円		

2017-18年度

平城京

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 幹事

氏 名 : 佐藤謙一

担当委員会名 : 坂内社会奉仕委員長

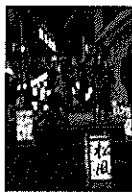
事業名	高齢者のための奉仕プロジェクト「左京の森クリスマスコンサート！！みんな集まれ」				
実施日	2017年12月16日（土）				
実施場所	奈良市総合福祉センター 3F（奈良市左京5丁目3番地の1）				
協力団体	左京グリーンサポート・奈良市				
参加人数	会員	15	名	→→ 会員参加率	60 %
	市民	50	名		
	その他	楽団員20名			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	平城京ロータリークラブのテリトリー内の「左京の森」での奉仕活動、その近隣にあると、「奈良市総合福祉センター」利用の障害のある高齢者を中心としたと歌の合唱と地域の楽団によるクリスマスコンサートとニーズに合った健康医療器具の寄贈を実施				
事業結果					
新聞、TV等での報道					
事業予算	1,239,840 円				
事業執行額	1,239,840 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

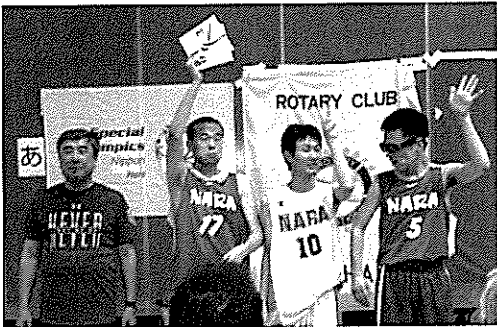
氏 名 : 杉本 昌弘

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	生駒聖天宝山寺参道活性化プロジェクト		
実施日	2017年9月23日（秋分の日）		
実施場所	生駒聖天宝山寺境内		
協力団体	宝山寺青年部		
参加人数	会員	20 名	→→ 会員参加率 100 %
	市民	3500 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	毎年秋分の日に行われる生駒聖天宝山寺の万燈会の際に参道を活性化するイベントを実施する ☐ お子様向けのゲーム（輪投げ）の運営 ☐ 参拝者に配布する紙で作成した輪袈裟の作成支援協賛と当日に生駒RCロゴ入り花の種を添えて配布する ☐ お帰りの際の休憩所であるお抹茶席で記念品配布と交通整理の奉仕 ☐ 当日の幻想的な風景を撮影したフォトコンテストを実施し、生駒RCにホームページに掲載する これらの奉仕活動を通じて、生駒市の観光資源である宝山寺と万燈会開催時の参道の魅力を紹介し、フォトコンテストを通して素晴らしい拡散を行いました。 また会員全員が汗をかって奉仕することで一体感を醸成できました。		
事業結果	当日は沢山の灯籠と蠟燭で灯された宝山寺境内が幻想的な空間になりました。 用意した生駒RCのロゴ入り花の種やうちわ、そして宝山寺青年部の方々と協力して作成した輪袈裟も2時間くらいで3000部を配布できました。お子様向けのゲームコーナーも好評で景品がすべてなくなるくらい盛況でした。会場には生駒RCの幟を設置し認知度向上につなげました。 実施したフォトコンテストには170点の応募があり、前回実施より圧倒的多数の応募がありました。これらの作品の投稿者は、生駒RCのWebサイトをご覧になられており、RCの活動をご覧いただく機会となりました。また最優秀賞、優秀賞、生駒ロータリー会長賞の表彰を行うことで、認知度向上にもなりました。		
	    		
新聞、TV等での報道	生駒市の市報での掲載 宝山寺の会報にフォトコンテストの優秀者写真の紹介		
事業予算	950,000 円		
事業執行額	979,038 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 委員長
氏 名 : 平田博也
担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「スペシャルオリンピックス日本・奈良」 アスリート支援事業		
実施日	2017年7月27日(木)		
実施場所	九条スポーツセンター体育館 奈良県大和郡山市九条町100		
協力団体	スペシャルオリンピックス日本・奈良、バンビシヤス奈良		
参加人数	会員 25 名 → 会員参加率 58 % 市民 74 名 その他 榎原ローターアクト 3名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	スペシャルオリンピックス日本・奈良のアスリートたちに、9月に行われる近畿ブロック大会に向けてプロバスケットボール選手による指導によるスキルアップを図ると共に、ロータリアンも積極的に参加し、理解を深める。また、道具類を買う予算が無いとの相談を受け、地区の補助金を活用し、試合で着るユニフォームやボール等道具類一式を寄贈。プロバスケットボール選手によるサイン会やグッズの無料配布も行った。 		
事業結果	知的障害を持つアスリート達ですが、運動能力の優れている人も多く、プロの指導を熱心に受け、すぐに真似ができることに感嘆した。プロの技術を習得し、ゲーム等も行い、楽しみながらスキルアップが図れたと思う。試合結果は...ロータリアンも一緒に練習やゲームに参加して汗を流し、交流ができ理解を深めることが出来たと思う。これからスポーツを通じて能力や尊厳を示し、社会とのつながりを強め、人間の多様性を尊重する社会になることを早期に実現できるよう考え支援していきたい。  		
新聞、TV等での報道	タウンページ 2018.5 奈良版 に掲載 		
事業予算	900,000 円		
事業執行額	817,559 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 平田博也

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

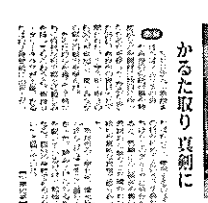
事業名	クリーンアップならキャンペーン				
実施日	2017年9月3日(日)				
実施場所	藤原宮跡				
協力団体	親切美化奈良県民運動推進協議会 「小さな親切」運動奈良県本部 飛鳥橿原ユネスコ協会				
参加人数	会員	11	名	→→	会員参加率 26 %
	市民	176	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	県内20カ所で美化活動、啓蒙活動を行っている「クリーンアップならキャンペーン」に参加。 当クラブのテリトリー内にある藤原宮跡のクリーンアップ活動に参加。 上記団体と共に清掃活動を行いロータリークラブの周知に務める。				
事業結果	心配していた天候も良く（雨天中止）多くの参加者とともに、大変広く、雑草も多く生えている場所ですが、各班に分かれ、皆目を凝らして熱心にゴミを拾い、綺麗に保つことが出来た。 地元の方や観光客の方々に気持ちよく活用してもらえと思う。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	円				
事業執行額	円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 藤井 康誠

担 当 委 員 会 名 : 事業特別委員会

事業名	「奈良こどもソムリエ」育成プロジェクト		
実施日	2017年10月8日～2018年3月4日		
実施場所	奈良市内 5 社寺		
協力団体	唐招提寺・大安寺・薬師寺・春日大社・東大寺・奈良大学・奈良市教育委員会		
参加人数	会員	平均25 名	→→ 会員参加率 平均20 %
	市民	65 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	「奈良の人が奈良のことを知らない」 奈良を訪れる観光客からよく聞かれる言葉です。1300年の歴史も、世界的に希有な文化遺産も、それを当たり前風景として暮らしている私たちにとってはなんら特別なものではなく、心のふるさと「奈良」に住んでいるという幸運を忘れがちです。 そこで私ども奈良ロータリークラブは、次代を担う子供たちが奈良の文化と歴史を知り、蓄積された歴史資産や伝統の価値を再発見出来るプログラムを企画いたしました。 当プログラムは奈良を代表する5社寺を会場として、普段は見られない宝物や入れない場所の見学、聞けない講演等を通して、子供たちが体験しながら奈良についての知識をより一層深められるよう企画いたしました。 		
事業結果	奈良に住む子供たちに、地元の歴史と文化を伝え、蓄積された歴史資産や伝統を再認識するプログラムを実施し、誇りを持って奈良を語れる青少年を育成するための事業を行った。 ①平成29年10月8日唐招提寺②平成29年11月5日大安寺③平成29年12月24日薬師寺④平成30年1月28日春日大社⑤平成30年3月4日東大寺と5回開催し、奈良在住の小学校5年生～中学校3年生35名および保護者30名が参加した。 参加者には毎回感想文を書いていただき、最終回には修了証書と感想文集を配布した。また記録写真はネット上にアップロードし、好きなときに閲覧、ダウンロードできるようになっている。 この事業を通して、自分たちが暮らしている奈良の伝統、文化、現状を親子共々より深く理解し、共通の認識を持って地域をよくしていこうという雰囲気醸成することができたと思う。  		
新聞、TV等での報道	*ならしみんだより9月号 *奈良新聞 平成29年10月9日付 *毎日新聞 平成30年1月29日付   		
事業予算	1,375,000 円		
事業執行額	1,180,339 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 藤井康誠

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

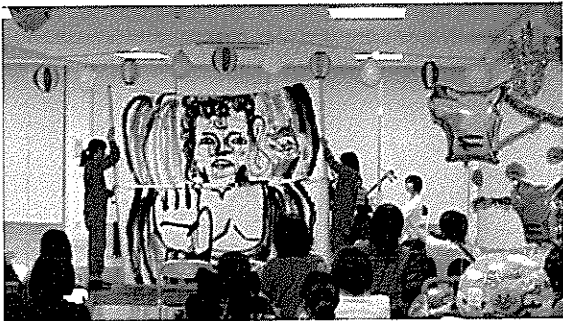
事業名	ふるさと美化運動		
実施日	2017年9月3日		
実施場所	奈良公園		
協力団体	奈良県他多数団体		
参加人数	会員	22 名	→→ 会員参加率 18 %
	市民	多数 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	奈良県が主体となって、クリーンアップならキャンペーンの一環として、集中的な啓発活動及び美化運動を実施します。親切、美化奈良県民運動が目指す美しい郷土づくりは地域を愛し、心豊かに暮らすとともに、奈良を訪れる人々にも、気持ち良く過ごして頂くための取り組みでもあります。実施内容は、奈良公園に集合し、二時間にわたって、県内20コースにおいてポイ捨てゴミの美化活動を実施するとともに、落書きの消去活動も実施します。		
事業結果	多くの企業や、各種団体が、参加し、奈良公園を中心として、広く美化活動が行われた。 		
新聞、TV等での報道			
事業予算	0 円		
事業執行額	0 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 藤井康誠

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	第4回天坊祭り		
実施日	2017年9月16日		
実施場所	東大寺福祉療育病院		
協力団体	奈良ローターアクト、奈良インターアクト、東大寺福祉療育病院納入業者、奈良大学付属高校美術部、津軽三味線部		
参加人数	会員 20 名	→ 会員参加率 16 %	
	市民 若干 名		
	その他 RAC 5名 IAC 10名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	奈良RCが、42年間に渡り継続している事業です。重度障害者の入院、通院施設である東大寺療育病院で一年に一回、障害者やその家族、近隣の住民を招待して、お祭りを致します。お祭りを通して、皆様方と楽しい時間を共有し、相互の交流を図る事を目的としています。また、奈良RCは当病院の（互いの命を照らしあえる福祉環境実現に貢献する。）という理念に共鳴し、毎年、奉仕の精神で支援しております。		
事業結果	数か所の屋台の設置と運営を致しました。また、奈良大学付属高校の美術部と津軽三味線部の皆様の協力をえて、演奏と絵にて、患者の子供達との交遊を図りました。また、食材費、運営費用として、15万円寄付致しました。  		
新聞、TV等での報道	 		
事業予算	150,000 円		
事業執行額	150,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 野口 創

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	献血推進活動																	
実施日	2017年9月24日 (日)																	
実施場所	奈良ファミリー中央駐車場																	
協力団体	奈良赤十字血液センター																	
参加人数	会員	23 名	→→ 会員参加率 64 %															
	市民	74 名																
	その他																	
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他																	
事業目的及び事業内容	血液が不足している、現在の状況をしっかりと訴え、病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため「献血の大切さ」を地域の皆さんに知って頂き、地域の皆さんに協力してもらうこと。																	
事業結果	総受付数 74名 <table border="0"> <tr> <td>献血者</td> <td>200ml</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>400ml</td> <td>52名</td> </tr> <tr> <td>採血総数</td> <td></td> <td>56名</td> </tr> <tr> <td>比重不足</td> <td></td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>2名</td> </tr> </table> 			献血者	200ml	4名		400ml	52名	採血総数		56名	比重不足		16名	その他		2名
献血者	200ml	4名																
	400ml	52名																
採血総数		56名																
比重不足		16名																
その他		2名																
新聞、TV等での報道																		
事業予算	78,953 円																	
事業執行額	78,953 円																	

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 野口 創

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	奈良東RC国際奉仕委員会合同の社会奉仕委員会事業「ラオス住血吸虫撲滅支援」		
実施日	2017年11月12日～16日		
実施場所	ラオス・カンボジア国境 チャンパサック省コン県コン地区		
協力団体	WHO、ラオス保健省・教育省、2650地区国際奉仕委員会、（奈良東RC・八日市南RC）共同事業		
参加人数	会員 7 名 →→ 会員参加率 20 % 市民 100 名 その他 WHO、ラオス保健省・教育省関係者約10名 2650地区ロータリアン14名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	現在、ラオス・カンボジアの国境をまたぐ約250村にだけに蔓延し、下痢や血便、肝硬変や肝癌を引き起こす「住血吸虫」という寄生虫がいる。寄生虫の卵が感染者の糞便とともにトイレを使用しないために河川や湖に排出され、そこで淡水巻貝を中間宿主として感染形に発達し、住民が泳いだり、体を洗ったり、洗濯をしたときに、巻貝の口先から排出された住血吸虫の幼虫が人の皮膚から人体に侵入して、新たな人に感染する。そこで奈良東RCはこの伝染を食い止めるため、全住民への糞便検査を行い感染者に対しては駆虫薬投与。さらに今後は、全ての住民が必ずトイレを使用して頂く為の啓蒙活動を実施し、感染に苦しむ住民の生活や知識の向上に取り組み、撲滅に向けて貢献する。		
事業結果	今回はこの伝染を食い止めるため、住民への糞便検査を行い、感染者には駆虫薬を投与。そして今後は必ずトイレを使用して頂く為の啓蒙活動を実施し、感染に苦しむ住民の生活知識向上に取り組みました。 また、当日、駆虫薬を服用するのを嫌がって泣いていた子供達の小学校に、教育支援として、文具等の寄贈を行い、最後には少し子供達の笑顔に触れ合う事もできました。 事業全体予算2979510円 奈良東RC負担予算1101916円 （※奈良東RC社会奉仕委員会負担予算250000円）		
新聞、TV等での報道	奈良テレビ放送		
事業予算	250,000 円		
事業執行額	250,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 野口 創

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

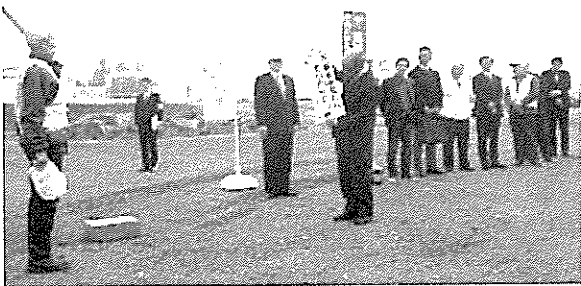
事業名	平成30年春の県民交通安全運動				
実施日	平成30年4月6日(金)13時30分～15時00分(平成30年4月6日～15日)				
実施場所	なら100年会館 中ホール				
協力団体	奈良市交通対策協議会 奈良警察署 交通安全協会など				
参加人数	会員	12	名	→→	会員参加率 30 %
	市民	500	名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	春の交通安全運動の主要行事として各種団体の参加協力を得て、「春の交通安全運動市民決起大会」を開催し、今回のテーマ「交通事故のない やすらぎの 大和路づくり～大和の交通マナーを高めよう～」に基づいて、多くの市民に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けて頂き、交通安全思想の普及・浸透を図る。				
事業結果	今回の運動の基本である、「子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止」を多くの市民に知ってもらい、交通安全の大切さを再確認して頂けた。				
新聞、TV等での報道	春の交通安全運動は、TV各新聞に報道・掲載されました。				
事業予算	0 円				
事業執行額	0 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 幹事

氏 名 : 川野隆祐

担当委員会名 :

事業名	年末特別警戒隊出発式		
実施日	2017年11月30日		
実施場所	奈良西署管内		
協力団体	奈良県警、奈良西警察署、青色パトロール隊、地域安全推進委員会、(一財)奈良県交通安全協会奈良西支部、安全運転管理者協会		
参加人数	会員 15 名	→→ 会員参加率 5 %	
	市民 270 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	年末に向けて多発が懸念される各種犯罪防止と防犯被害防止への取り組みに参加し、地域の安全に貢献できる機会にしたいという思いと、「不審者を見たらその場で110番」の垂れ幕300枚を寄贈、その垂れ幕は各地区で掲示されています。 		
事業結果	 		
新聞、TV等での報道	奈良新聞2017年12月18日掲載		
事業予算	200,000 円		
事業執行額	200,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 幹事

氏 名 : 川野隆祐

担 当 委 員 会 名 :

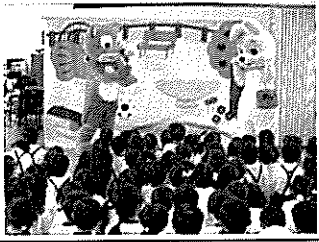
事業名	社会福祉法人中川会の夏祭り・クリスマス会		
実施日	2017年8月26日/12月9日		
実施場所	社会福祉法人中川会		
協力団体	大和会ミュージックサークル		
参加人数	会員	27 名	→→ 会員参加率 2.8 %
	市民	949 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	社会福祉の基本は弱者救済にあります。近年はそれ以外に地域福祉が重視されてきています。奈良西ロータリーはこの中川会の夏祭り・クリスマスパーティに多くの会員で参加しています。特にこのお祭りには周辺地域にお住いの方々はもちろんの事、市内各所からも多くの方がお出でになります。この地域イベントは奈良市に定着しております。年々大きな賑わいになっています。このような事業を通じ、地域の方々との相互理解が深まるものと信じて活動を継続していきます。		
事業結果	 		
新聞、TV等での報道	奈良新聞2017年8月31日掲載、奈良新聞2017年12月24日掲載、奈良日日新聞2017年12月22日掲載		
事業予算	100,000 円		
事業執行額	100,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 幹事

氏 名 : 川野隆祐

担当委員会名:

事業名	西大寺幼稚園社会奉仕事業（豆まき大会と防犯対策人形劇）		
実施日	2018年1月31日		
実施場所	西大寺幼稚園		
協力団体	奈良西警察署		
参加人数	会員 11 名	→→ 会員参加率 2.9 %	
	市民 370 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	笑顔と泣き顔と大真面目！いろんな表情を見せてくれた園児たち。奈良市の西大寺のお寺の中にある西大寺幼稚園の主催する『豆まき大会』と『犯罪被害防止の人形劇』に社会奉仕活動の一環として参加しました。当クラブも初めての試みでしたが、地域の待機児童達もお呼びし、幼稚園の先生と地元警察の方にもご協力頂き実施いたしました。「節分の豆まき」という昔ながらの伝統行事も、現在ではなくなっているご家庭も多くなっています。私達が小さな頃はあたりまえに親がしてくれて、受け継がれて来ていた日本の素晴らしい伝統行事を私達が現代の子供達に語り伝え次世代へと繋いでいって欲しいという思いを込め、当クラブ会長を始め会員や先生方が鬼の役に扮し子供達と触れあいました。後半では「犯罪被害防止の人形劇」を行いました。昨今幼児が凶悪犯罪の被害者になってしまうという悲しい事件が発生しています。子供達を犯罪から守る為、防犯標語である「いかのおすしー人前」の人形劇を当クラブの会員がきぐるみを着て劇で子供達に伝えました。		
事業結果	 		
新聞、TV等での報道	奈良新聞2018年2月1日掲載、産経新聞2018年2月1日掲載、奈良テレビ2018年1月31日 		
事業予算	80,000 円		
事業執行額	80,000 円		

2017-18年度

奈良大宮

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 大塩栄作

担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト委員会

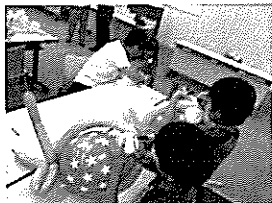
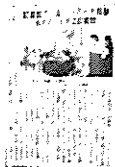
事業名	教育力を科学的に考える『学力の経済学』 中室牧子		
実施日	2017年11月12日		
実施場所	奈良市立 大宮小学校 体育館		
協力団体	奈良市立大宮小学校PTA 奈良市教育委員会 大宮小学校学校運営協議会		
参加人数	会員 15 名 →→ 会員参加率 23,4 % 市民 220 名 その他 20名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	親権者 教育者対象に統計学的見地に基づいた教育学の勉強を行い 子ども達の将来を考えるのに役立てることを目的とする。 		
事業結果	講演後の質疑応答も活発的に行われ有意義な講演会になりました。		
新聞、TV等での報道			
事業予算	463,410 円		
事業執行額	405,240 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 中田 昭弘

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	ロータリー財団地区補助金事業				
実施日	2018年7月30日				
実施場所	桜井市立図書館				
協力団体	桜井市立図書館				
参加人数	会員	19	名	→→ 会員参加率	100 %
	市民	35	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	図書館離れが問題になっている昨今。イベントを当して地域の親子に図書館に足を運んでももらいたいとの目的で企画された事業。講師に埼玉県から世界公認バルーンアーティストのJUNさんをお招きし、桜井市立図書館でバルーンアートイベントを開催。JUNさんは、図書館司書として30年間お務めされていた経歴を持つ、日本でおそらく唯一の図書館司書の資格を持つバルーンアーティスト。このイベントへの参加は無料。バルーンアートを使った絵本の読み聞かせ、そのあと参加者が実際にバルーンでネズミ、ウサギ、剣、金魚を作った。「たまごのあかちゃん」の読み聞かせではたまごに見立てた風船を講師のJUNさんが割ると、風船で作ったいろいろな動物の赤ちゃんが飛び出す趣向であった。				
事業結果	募集定員を上回る申し込みがあり大盛況であった。バルーンアート作りでは、はじめはこわごわ風船に触っていた参加者も次第に慣れて、難しいパーツもスムーズに仕上げていた。自分で作った金魚などの作品に「目」をマジックで書き入れ完成！それぞれの子どもたちの感性が光る世界にたった一つしかないすばらしい作品が出来上がった。帰りには読み聞かせてもらった本や、バルーンアートに関する本を借りて帰る参加者も多く、図書館や本に対する関心を高めてもらえたようで、事業の成果がその場で目に見えた。   				
新聞、TV等での報道	奈良新聞 				
事業予算	75,500 円				
事業執行額	75,536 円				

2017-18年度

桜井

ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 中田 昭弘

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

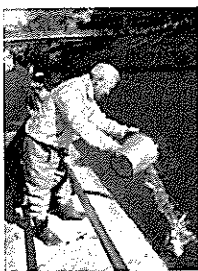
事業名	ロータリー財団地区補助金事業				
実施日	2018年11月4日				
実施場所	桜井市立図書館				
協力団体	桜井市立図書館				
参加人数	会員	19	名	→→ 会員参加率	100 %
	市民	100	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	図書館離れが問題になっている昨今。イベントを通して地域の親子に図書館に足を運んでももらいたいとの目的で企画された事業。 講師に兵庫県から森藤恵子氏（司書・司書教諭）をお招きし、「英語多読のためのマイクロライブラリー」を開催。森藤講師が集めたたくさんの英語の絵本の展示。また、森藤講師による英語絵本の読み聞かせが行われた。				
事業結果	参加者は親子連れが多く、保護者が自身の子どもに絵本を読んでいる様子が会場で見られた。また、14:00-14:30に実施された「英語多読講座」では約30名の親子が森藤講師の英語絵本音読の世界にうっとりしていた。絵本のストーリーもさることながら外国ならではの絵（イラスト）のタッチに大人も子どもも魅惑された。図書館においてある英語絵本の紹介もあり、その本を借りて帰る親子が多くいた。  				
新聞、TV等での報道	特になし				
事業予算	21,500 円				
事業執行額	21,504 円				

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 角野章三

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	大和川の美しい環境を守ろう		
実施日	2017. 11. 25		
実施場所	奈良県竜田公園		
協力団体	斑鳩町		
参加人数	会員 15 名 →→ 会員参加率 31 % 市民 約 100 名 その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	近隣の幼稚園児と小学生たちに竜田川へ鯉の放流をしてもらい、命の大切さを伝えるとともに美しい自然環境を守ることを目的とした。		
事業結果	秋晴れで紅葉が美しい竜田川で鯉逃がしの行事を行い「大和川の美しい環境を守ろう」のスローガンのもと斑鳩町長はじめ多数の関係者と子供たちになが「大きく育て」との願いを込め元気な鯉を放流しました。  		
新聞、TV等での報道			
事業予算	30,000 円		
事業執行額	24,000 円		

2017-18年度

やまとまほろば

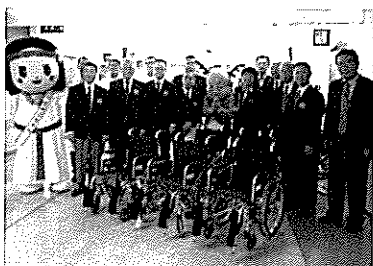
ロータリークラブ

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 福岡成佳

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

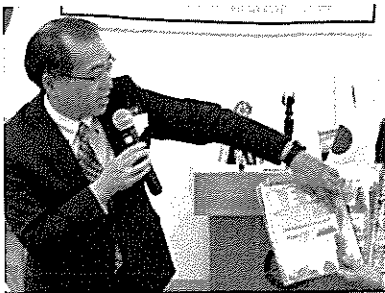
事業名	済生会中和病院「健康フェア」		
実施日	2017年 10月 29日(日)		
実施場所	恩賜財団 済生会中和病院 ロビー		
協力団体			
参加人数	会員 10 名 →→ 会員参加率 31.25 % 市民 約500 名 その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	桜井市阿部の済生会中和病院で行われた第13回「健康フェア」に参加。 開会セレモニーで車椅子5台を寄贈。病院内のイベント会場で、ロータリー活動を紹介するパネルを 展示した。		
事業結果	当日は、雨が降り、病院内のロビーにて「健康フェア」が行われました。健康チェック、健康づくりコーナー、模擬店等健康増進の意識を高める為に大勢の病院勤務者、関係者の方々が活動されていました。又、今年も市内幼稚園児によるマーチングバンドの参加で、イベントも大変盛り上がりしました。   		
新聞、TV等での報道	奈良新聞		
事業予算	190,000 円		
事業執行額	190,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 福岡成佳

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	桜井市図書館への本の寄贈		
実施日	2018年 4月 1日		
実施場所	桜井市 図書館		
協力団体			
参加人数	会員 17 名 →→ 会員参加率 54.84 % 市民 名 その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	図書館で収集する雑誌を充実することで、市民に対するサービスの向上を図ります。		
事業結果	図書を通じて、市民の方々にRCの活動を理解してもらい、この事業を継続する事により、市民に親しみを持ってもらえるであろう。  		
新聞、TV等での報道	ブックカバーに「やまとまほろばRC」の名前を入れる事によって、知名度と貢献度を認知してもらえるであろう。新聞等の報道はありません。		
事業予算	50,000 円		
事業執行額	50,000 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 福岡成佳

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

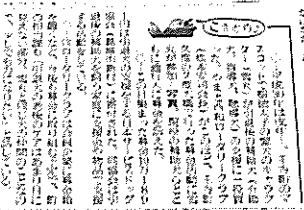
事業名	第4回やまとまほろばRC会長杯 少年サッカー大会		
実施日	2018年 4月 29日(日・祝)		
実施場所	奈良県フットボールセンター		
協力団体	奈良県サッカー協会、奈良新聞社		
参加人数	会員 16 名 →→ 会員参加率 50 % 市民 約400 名 その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	地域の少年サッカーチームの交流と青少年の健全育成に寄与する。 		
事業結果	今回も、奈良県下より12チームが参加。サッカーを通じて参加各チーム間の親睦及び交流を深め、礼儀、礼節を学び年少の健全育成を図った。  		
新聞、TV等での報道	大会前の26、27、28日の3回に分けて参加チームの紹介を奈良新聞に掲載。 当日は、奈良新聞社の取材があり、30日には、成績の掲載がされました。 奈良新聞の全紙一面に当日の写真と会長挨拶及び奈良県下RC名を掲載しました。		
事業予算	600,000 円		
事業執行額	628,642 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 北之坊 和代

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	引退盲導犬募金活動		
実施日	2017年12月16日・2018年4月14日		
実施場所	奈良県王寺町JR駅歩道橋・だるま寺		
協力団体	NPO日本サービスドッグ協会		
参加人数	会員 10 名	→→ 会員参加率 35 %	
	市民 3,000 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	「引退盲導犬の募金活動」 一般的には余り知られていませんが、引退補助犬については補助金は一切でません。リタイアした補助犬も人間と同じく高齢・障害等で歩行が困難になったり、病気になったりします。高額医療費の支援や介護に使用する、床ずれ予防マット、紙オムツ、タンカ、カートなどその他色々な介護道具が必要なのです。私共のクラブは盲導犬達と一緒にJR王寺駅の歩道橋で募金活動を行いました。行政にも協力をして頂き、王寺町のゆるキャラである「雪丸」にも登場して頂きました。また、4月には王寺町にある達磨寺の会式に参加をして募金活動を行いました。		
事業結果	JR王寺駅の歩道橋では、私共クラブメンバー及び日本サービスドッグ協会の方々や現役盲導犬のワンちゃん達、そして行政にもお手伝いをして頂き、王寺町のゆるキャラである「雪丸」にも登場して頂きました。橋を歩く人達は盲導犬に興味を示して頂き、多くの方が募金をして頂きました。また、雪丸君の登場で子供達からも多くの募金をして頂き、また、地元新聞社にも取材を受け、お陰様で130,000円の募金して頂きました。また、達磨会式では、引退盲導犬の現状を説明する場を設けて頂き、より町民の方々に引退盲導犬並びに現役盲導犬の情報を発信できました。  		
新聞、TV等での報道	地元奈良新聞、読売新聞に掲載して頂きました。  		
事業予算	0 円		
事業執行額	0 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 西田陽昭

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	読書のバリアフリー化		
実施日	2017年11月2日		
実施場所	大和高田市立図書館		
協力団体	大和高田市立図書館		
参加人数	会員 84(例会) 名 → 会員参加率 85.7 % 市民 利用者多数名 その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	読書のバリアフリー化を推し進め、読書が困難になっている高齢者や視覚障害者らに気軽に図書館を利用して本に親しんでいただくために、大和高田市立図書館に次の品を寄贈しました。また、全会員が事業の主旨をより理解するため図書館館長に例会卓話「読書のバリアフリー化」について講演いただきました。 寄贈品 大活字本 153タイトル(307冊)、卓上型拡大読書器 1台、車椅子 1台、ブックカート 2台、踏み台 2台		
事業結果	寄贈品のいずれもが図書館利用者にはとても大きな好評をいただいています。中でも大活字本については貸出比率が高く、常に半数くらいが貸出されていて、その需要度の高さを改めて感じています。高齢のために読書が困難であったり、読書をあきらめかけていた人々が再び本を手にすることができ、余暇を充実させ、意義ある老後を過ごすことができるようになりました。視覚障害者の特に子供たちは本を読むことで思考力、想像力、忍耐力を養い、考える力を持った大人に育つことができます。 この様に本事業を通じ、地域社会の人たちの人生に大いに変化をもたらすことができるものと考えています。また、事業の協力団体でもある図書館館長やスタッフの皆様は当クラブの事業主旨を理解いただき、積極的に読書のバリアフリー化の推進と共にそのアピールに努めていただき、本事業の利用者が日を追うごとに増えていますし、ロータリークラブ公共イメージの向上にも繋がっています。		
新聞、TV等での報道	毎日新聞、産経新聞、奈良新聞、中和新聞の4紙に掲載いただきました。  大和高田RC 読む喜びを再び 図書館に寄贈 大和高田ロータリークラブは、大和高田市立図書館に、大活字本153タイトル(307冊)、卓上型拡大読書器1台、車椅子1台、ブックカート2台、踏み台2台を寄贈しました。		
事業予算	1,228,000 円		
事業執行額	1,262,544 円		

社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 幹事

氏 名 : 中筋 正浩

担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	飛鳥歴史ウォーク（地区補助金対象）		
実施日	2018年4月21日		
実施場所	奈良県高市郡明日香村全域		
協力団体	明日香村教育委員会 / 奈良県橿原考古学研修所/ 奈良県立万葉文化館/ 公益財団法人 古都飛鳥保存財団 / 飛鳥京観光協会/ 一般財団法人 明日香村地域振興公社		
参加人数	会員	48 名	→ 会員参加率 100 %
	市民	180 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	目が不自由な方々に、ロータリアンと明日香村周辺の各種団体と共に、日本有数の史跡を歩き、手に触れ・音・風や空気を感じ、また、健常者のボランティアが目の不自由な方に代わって今その状況を見えない方へどういう風に伝えたら良いかを考え詳しく説明することで、視覚以外の四感でその場の色や風景を感じ取ってもらうことを目指します。また逆に、目の不自由な方々からも、どういうふうに感じているのかを教えてください、目が不自由な方の世界を垣間見るきっかけとなればよいと考えます。そして、この趣旨を踏まえて一般の方々の参加もHP・SNS・ポスター・チラシをEクラブの特性を活かし広範囲での募集をし、よりたくさんの方々に、障がいのある方々との共生・共存の大切さを一層深め、「奉仕の心を育てる」という気持ちを今以上に大きく育てるお手伝いをさせていただきたい。		
事業結果	障がい者（盲老人）の方々との交流を深めたことはもちろん、目が不自由な方々でも史跡を楽しみ、明日香村への愛着を感じていただくことで、大切な文化遺産への理解を深めていただくことが期待できます。また、歩く喜びを体験された方の老後の楽しみの一つをご提案できました。そして、一般の方々なども、「皆で奉仕を！」、という人道的支援事業としても、貧困からの救済や障がいをもつ方々（盲老人など）への様々な理解や支援の大切さ、外国人との交わりを通じては国際理解・親善・平和達成の推進に理解をいただくことで、Eクラブの特徴でもあるワールドワイドな視点に沿った奉仕活動への輪が広がっていくことが期待できます。    		
新聞、TV等での報道	実施前に、読売新聞・朝日新聞にて広報されました。		
事業予算	1,300,000 円		
事業執行額	762,390 円		

まちづくり基金のまとめ

まちづくり基金のまとめ

国際ロータリー第2650地区の社会奉仕の歴史の中で、当地区独特の活動に「まちづくり基金」からの奨励金助成制度があります。当基金は2008年3月に当時ガバナーの川端五兵衛氏が地域社会のまちづくりに寄与する活動に対しこれを支援するために基金の設立を提唱し、2010年4月15日に5百万円の基金が設立され、さらに2012年度（富田ガバナー）に9百万円の上乗せを地区諮問委員会で決定されました。選考は地区社会奉仕委員会が受託し、2010年から2017年まで延べ130クラブ136件に対し年度ごとに最優秀賞50万円（1クラブ）、優秀賞25万円（10クラブ以内）、奨励賞5万円（3クラブ以内）、総額約1千4百万円（受賞クラブ一覧表参照）が助成されました。（表彰クラブ数は年度により異なります）

川端パストガバナーによる「基金の目指すまちづくり」は①次の世代にどんな環境を残すかについて考え行動することである ②その環境とは次の世代が心ときめかすことができるものを指す ③そして住民をして生涯をここで終えてもよいとする「死に甲斐の有る終の栖」をつくることである ④こんなまちを、国を、世界をつくるのが今を生きる私たちの使命である

それでは私たちは「まちづくり」にどのような形で参画することができるか

- 1) お金のある人は、お金を出して下さい。
- 2) 体力のある人は、汗を流して下さい。
- 3) 知恵のある人は、知恵をお貸し下さい。
- 4) そして、そのどれもが難しい人は、皆と一緒に「どうかこのまちが良くなりますように」と祈って下さい。

ロータリアンの皆様には、このどれも可能です。（川端五兵衛パストガバナー「まちづくり基金について」より抜粋）

私達地区社会奉仕委員会では、川端パストガバナーのご意向をうけ、池田、田中、岩井、北野各委員長の7年間に地区内各クラブに対して①応募資格：各年度内に行われたロータリークラブの全ての事業が対象 ②評価と申請：いくつかのまちづくりの視点に立って見直し、成果がこれらまちづくりのいずれの基準を満たしているか自己評価して申請 ③ロータリアンの皆さんのまたクラブのまちづくりに対するコンセプトに従って自己評価し、解説され応募の基準で募集し選考して参りました。

具体的な選考の評価は①基金の趣旨に合っているか ②事業費用と評価 ③クラブ会員の参加人数 ④市民、児童などクラブ会員以外の参加人数 ⑤クラブの主催か否か ⑥マスコミの報道の有無 ⑦社会的弱者、青少年への配慮 ⑧まちづくりの機会になっているか ⑨地域のニーズに合っているか ⑩継続性 ⑪アイデアやタイムリー ⑫申請書の表現力 の基準で行い、各年度地区社会奉仕委員会委員全員で選定いたしました。

尚、補助金が一つのクラブに偏らないように財団地区補助金受賞事業は表彰から外させていただきます。

各年度とも応募の活動は素晴らしいもので、とりわけ2011年度の「スーパー打ち水大作戦（福井北）」、2012年度の「守ろう東山の景観を、取り組もう植樹と森林の育成（京都洛東）」2014年度の「君たちは五條の宝物（五條）」、2015年度の「社会福祉事業 障害者に安心と安全を（京都朱雀）」、「平城京条坊重ね図 “タイムトリップマップ” の作成とタイムトリップウォーキング（奈良）」、2016年度の「安心・安全の街づくりのための徘徊高齢者搜索システムの検証実験（大津中央）」、「嵯峨嵐山特別保存地域竹林整備事業（京都洛西）」などは基金の趣旨に合致したものと高く評価されました。

2016年度で基金は全額有効に使われ、目的は達成されましたので当該「まちづくり基金」は解散となりましたが、地区内各ロータリークラブでは社会奉仕事業として過去・現在ともに川端パストガバナーが提唱されたまちづくりへの支援活動がなされ続けており、未来においてさらに充実した活動がなされるものと期待しています。

7年間の「まちづくり基金」活動へのご支援ご協力ありがとうございました。

まちづくり助成金表彰クラブ

単位：円

賞	奨励金	2010-11 池田委員長	2011-12 田中委員長	2012-13 田中委員長	2013-14 岩井委員長	2014-15 岩井委員長	2015-16 北野委員長	2016-17 北野委員長
最優秀賞	50万円	該当なし	福井北	京都洛東	該当なし	五條	京都朱雀	大津中央
優秀賞	25万円	三国 あすか 平城京 宮津	福知山西南 長浜東	あすか 京都西南 長浜東 奈良東 鯖江 京都乙訓 舞鶴東 長浜北	京都中 福知山 京都南 鯖江	奈良 長浜北 鯖江 京都乙訓 丸岡 京都洛西 福井 京丹後 生駒 京都	京都乙訓 京都洛中 京都西北 京都西南 大津東 栗東 奈良	奈良 京都洛西 舞鶴東 奈良大宮 生駒 京都西北 福井北
奨励賞他	3万円 ～5万円			3万円× 15RC※	生駒 5万円 高島 5万円	京都洛中 5万円 福知山 5万円 橿原 5万円	京都南 5万円 舞鶴東 5万円 福井 5万円	やまと西和 鯖江
合 計		100万	100万	24クラブ 295万円	6クラブ 110万円	14クラブ 315万円	11クラブ 240万円	10クラブ 235万円

※京都洛北 京都洛西 京都市陽 京都八幡 橿原 平城京 大和郡山
生駒 ひわ湖八幡 彦根南 近江八幡 長浜 武生府中 敦賀 福井あじさい

2017-18 年度
国際ロータリー第 2650 地区
第2回社会奉仕委員長会議

社会奉仕事業の継続性について
アンケート結果報告

平成30年2月

1. アンケート調査の目的

ロータリークラブにおける社会奉仕事業については、元来、単年度にて計画すべきであるという考えがあったと思います。ただし近年、社会や地域のニーズによってより具体的な行動を伴う事業が増加し、継続的に奉仕事業に取り組まれる事例が増えてきています。そこで各クラブに継続事業についてアンケートを徴収させていただき、これからの継続事業について、どうお考えなのかを把握する為にアンケートを実施しました。

2. アンケート調査概要

調査対象: 2650地区97クラブの社会奉仕委員長

調査時期: 平成29年11月

回収数 : 97件

回収率 : 100%

3. アンケート結果報告

設問 1 貴クラブでの継続事業についての考え方について教えてください。

- | | |
|---------------------------------------|-----|
| 1. 地域のニーズがある限り継続しても問題はない。 | 58% |
| 2. 数年間の継続事業はよいがある一定の期間をもって終了させるべきである。 | 25% |
| 3. ロータリークラブでの社会奉仕事業は単年度にするべきである。 | 7% |
| 4. 継続事業は別の移管先へ移すべきである。 | 5% |
| 5. その他 | 5% |

□「ニーズがある限り継続してもよい」が58%、「一定の期間をもって終了させるべき」が25%で、継続事業に肯定的な意見は80%を超えている。

設問 2 継続事業の期間は何年ぐらいが適正と考えますか？

- | | |
|-----------------|-----|
| 1. 3年以内 | 19% |
| 2. 3～5年 | 16% |
| 3. 必要なら5年以上でもよい | 65% |

☐ 「必要なら5年以上でもよいが65%を占めている」

設問 3 継続事業の移管先はどのような形が適切と考えますか？

- | | |
|--------------------------------------|-----|
| 1. 行政関連が良い | 17% |
| 2. 他のロータリークラブ、ローターアクトなどのロータリー関連団体が良い | 16% |
| 3. 引き受けて頂けるなら民間団体(NPO等)でも良い | 65% |
| 4. その他 | 16% |

☐ 「引き受けて頂けるなら民間団体でも良い」が65%で、信頼関係が結べるならば行政、ロータリー関連団体にはこだわらないクラブが多い。またその他の意見として「商工会議所・青年会議所」もありました。あとは、「移管を前提として事業をしていない。」などそもそも移管を考えていないクラブのご意見もありました。

設問 4 貴クラブでは3年以上継続して取り組まれている社会奉仕事業はありますか？
該当する事業がございましたら事業名と継続年数を教えて下さい。

ある 72%
ない 28%

継続年数(件数)	
・ 3～5年	22件
・ 5～10年	24件
・ 10～20年	13件
・ 20～30年	14件
・ 30年以上	11件

□ 継続年数については3～10年が46件、10年以上継続が38件となっている。
また50年以上継続されている事業もあった。

設問 5 継続されている事業について、今後の取り組み方についてどうお考えになって
おられますか？

- | | |
|--|---|
| 1. 今後も地域のニーズがある限り継続する | 53% |
| 2. しばらくは継続していくが期限を決めて他の奉仕事業に取り組むつもりである | 8% |
| 3. 他の事業も検討したいが今の継続事業を打ち切ることができない | 17% |
| 4. その他 | 22% |

□ 「ニーズがある限り継続する」が53%で過半数を占めている。

設問 6 設問5で「他の事業も検討したいが今の継続事業を打ち切ることができない」と記入された方にお伺いします。その理由についてお答え下さい。

1. 地域からの要望や期待が大きく、クラブ支援が無いと事業が継続できない 9件
2. 今のところ他に有用な社会奉仕事業のニーズが無く継続している 8件
3. その他 5件

□「地域からの要望やニーズが大きく、クラブ支援が無いと事業が継続できない」が9クラブ、「今のところ他に有用な社会奉仕事業のニーズが無い」との回答が8クラブありました。少数ではありますが、奉仕事業の継続に悩んでおられるクラブもあります。

4. 総評

アンケート調査の結果、83%のクラブが継続事業に肯定的であり、実際に72%のクラブが継続事業に取り組まれています。また今後も「地域のニーズがある限り継続する。」とされているクラブが65%あり、多くのクラブが地域の方のニーズに答え継続して社会奉仕事業に取り組まれていることがわかります。ただ、「他の事業も検討したいが今の継続事業を打ち切ることができない」と記入されたクラブも17%存在し、その理由としては、「地域からの要望や期待が大きくクラブが支援しないと継続できない。」、「今のところ他に有用な社会奉仕事業のニーズが無い。」との回答がありました。

当委員会としては、このような意見を参考に、第2回社会奉仕委員長会議では、NPO法人京都割れ窓理論実践委員会の代表理事であり、京都南ロータリークラブに所属されている小池英信氏を講師にむかえ、割れ窓理論の実践として京都市内の落書きを消す等の環境美化活動をクラブ主導からNPO法人を立ち上げ、行政、地域、その他ボランティア団体と連携し継続事業として確立された事例を発表していただきました。

また、この第2回委員長会議において、このアンケート結果を参考に「継続事業について」をテーマにパネルディスカッションを行ないました。

北野委員長をコーディネーターとして、パネラーに田中誠二ガバナー、講演会の講師である小池英信氏、そして京都洛西RCの桐木孝和氏、三国RCの安田一英氏をむかえ継続事業についての考え方や報告性について議論していただきました。

ディスカッションでは「地域のニーズに合って継続しているのはよいが、継続し過ぎてニーズから外れたり、他にもっと有用な事業があるのにできないということではおかしいのでは。」という意見や、「クラブだけでやり続けるよりも他を巻き込み広げていけば本来の目的に合うと思う。」、「継続事業は停滞してはいけない。年毎にレベルアップして続けていきたい。」との継続

事業をいかに前向きに進めるかという意見もありました。

最後のまとめとして、田中ガバナーより、「イアンH. S. ライズリーRI会長はロータリーの発展、クラブの発展にはクラブの自治があってこそであり、より柔軟性を持たせてきた。よって自らの構想でクラブが決断し決めて欲しいとのこと。ただ、RI会長は奉仕活動を通じて地域に国に世界に、やがては私たちにプラスの変化をもたらす事が重要である、と言われておりその奉仕事業がすべからず地域あるいは世界に対してプラスをもたらす事業になっているかを常に考えることが大事。そこが継続するかで迷った時に立ち返るべき判断ではないか。」と話していただきました。

今年度の委員会としては、奉仕事業の継続についてはクラブが判断してもらいたい。ただし漫然と継続するのではなく、地域や社会にプラスになっているか、ニーズに合っているかを検証し、毎年進化し続けてよりよい奉仕事業を進めていただきたい、ということでまとめさせていただきます。各クラブの皆様にはアンケート調査にご協力いただき感謝申し上げます、ありがとうございました。

国際ロータリー第2650地区

2017-18年度社会奉仕委員会

諮問委員 パストガバナー	河本 英典	(大津ロータリークラブ)
委員長	北野 加代子	(栗東ロータリークラブ)
副委員長	宮倉 靖幸	(五條ロータリークラブ)
副委員長	竹内 順子	(福井フェニックスロータリークラブ)
委員	岩井 美晴	(京都南ロータリークラブ)
委員	岩崎 新	(福井ロータリークラブ)
委員	影近 義之	(京都東ロータリークラブ)
委員	柿木 博幸	(長浜東ロータリークラブ)
委員	久保 和子	(京都洛西ロータリークラブ)
委員	大島 國裕	(奈良ロータリークラブ)
委員	澤村 富哉	(大津東ロータリークラブ)

